

在宅の身体障がい者・知的障がい者  
・精神障がい者調査結果



# ■ 在宅の身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者調査結果 ■

## 1. 基本的なことについて

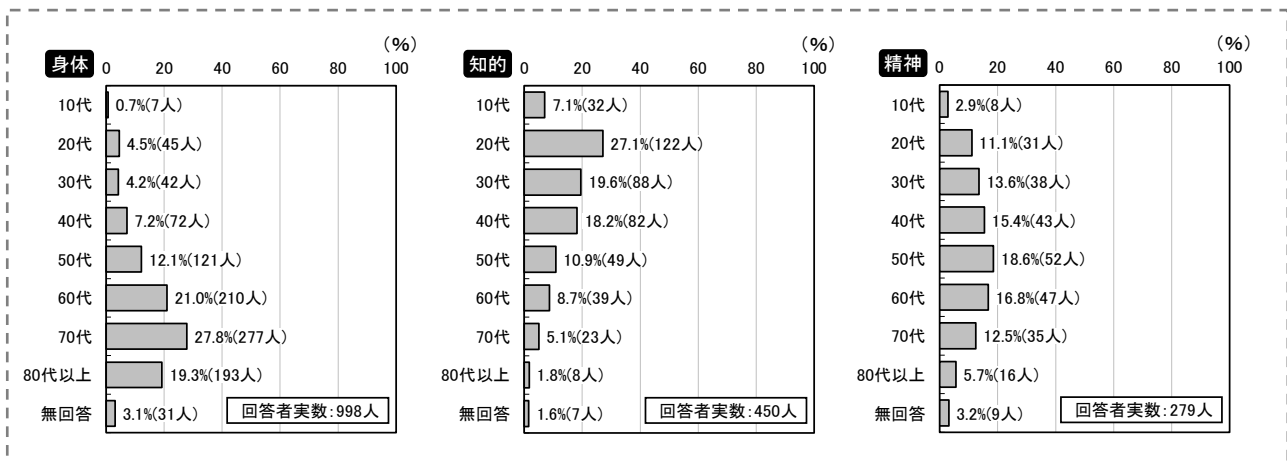
### (1) 年齢

身体障がい者では、「70代」が最も多く27.8%(277人)、次いで「60代」の21.0%(210人)となっています。「80代以上」も19.3%(193人)あり、60代以上が約7割を占めています。

知的障がい者では、「20代」が27.1%(122人)で最も多く、「30代」が19.6%(88人)、「40代」が18.2%(82人)で、20代から40代までが6割余りを占めています。

精神障がい者では、「50代」が18.6%(52人)で最も多く、「60代」が16.8%(47人)、「40代」が15.4%(43人)で、40代から60代までが5割余りを占めています。

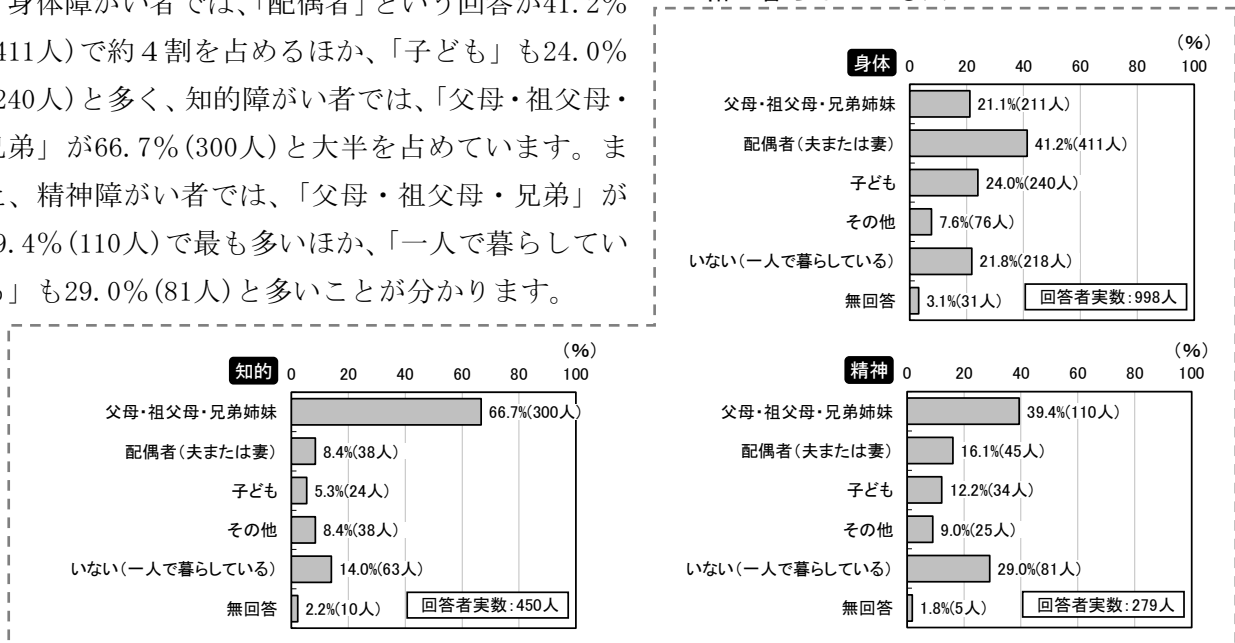
### 年齢



### (2) 一緒に暮らしている人（複数回答）

身体障がい者では、「配偶者」という回答が41.2%(411人)で約4割を占めるほか、「子ども」も24.0%(240人)と多く、知的障がい者では、「父母・祖父母・兄弟」が66.7%(300人)と大半を占めています。また、精神障がい者では、「父母・祖父母・兄弟」が39.4%(110人)で最も多いほか、「一人で暮らしている」も29.0%(81人)と多いことが分かります。

### 一緒に暮らしている人



身体障がい者が一緒に暮らしている人を年代別にみると、60代以上では、「配偶者」という回答が最も多く、また60代と80代以上では、「いない（一人で暮らしている）」が次いで多いです。50代以下では、他と比較して「父母・祖父母・兄弟」が最も高くなっています。

一緒に暮らしている人（年代別）

身体	回答者 実数	父母・祖父母・ 兄弟姉妹	配偶者 (夫または妻)	子ども	その他	いない（一人で 暮らしている）	無回答
10代	7人	71.4% (5人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	14.3% (1人)	0.0% (0人)	14.3% (1人)
20代	45人	82.2% (37人)	6.7% (3人)	4.4% (2人)	2.2% (1人)	11.1% (5人)	0.0% (0人)
30代	42人	76.2% (32人)	11.9% (5人)	7.1% (3人)	7.1% (3人)	4.8% (2人)	0.0% (0人)
40代	72人	43.1% (31人)	27.8% (20人)	29.2% (21人)	6.9% (5人)	15.3% (11人)	1.4% (1人)
50代	121人	41.3% (50人)	28.9% (35人)	19.0% (23人)	8.3% (10人)	24.0% (29人)	0.8% (1人)
60代	210人	17.1% (36人)	41.0% (86人)	22.4% (47人)	9.0% (19人)	31.9% (67人)	0.0% (0人)
70代	277人	5.4% (15人)	62.5% (173人)	24.9% (69人)	6.9% (19人)	18.1% (50人)	0.4% (1人)
80代以上	193人	0.5% (1人)	46.1% (89人)	38.9% (75人)	9.3% (18人)	27.5% (53人)	0.5% (1人)

知的障がい者が一緒に暮らしている人を年代別にみると、50代以下では「父母・祖父母・兄弟」が最も多く6割以上を占め、年代が低いほど割合が高くなる傾向が見られます。また、60代、70代では他の年代と比べて一人で暮らしている方の割合が高くなっています。

一緒に暮らしている人（年代別）

知的	回答者 実数	父母・祖父母・ 兄弟姉妹	配偶者 (夫または妻)	子ども	その他	いない（一人で 暮らしている）	無回答
10代	32人	90.6% (29人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	6.3% (2人)	3.1% (1人)	3.1% (1人)
20代	122人	83.6% (102人)	4.9% (6人)	1.6% (2人)	5.7% (7人)	5.7% (7人)	0.8% (1人)
30代	88人	77.3% (68人)	6.8% (6人)	1.1% (1人)	8.0% (7人)	6.8% (6人)	1.1% (1人)
40代	82人	64.6% (53人)	6.1% (5人)	4.9% (4人)	9.8% (8人)	17.1% (14人)	1.2% (1人)
50代	49人	65.3% (32人)	8.2% (4人)	8.2% (4人)	10.2% (5人)	18.4% (9人)	4.1% (2人)
60代	39人	23.1% (9人)	12.8% (5人)	20.5% (8人)	15.4% (6人)	43.6% (17人)	0.0% (0人)
70代	23人	17.4% (4人)	34.8% (8人)	4.3% (1人)	13.0% (3人)	34.8% (8人)	0.0% (0人)
80代以上	8人	0.0% (0人)	50.0% (4人)	50.0% (4人)	0.0% (0人)	12.5% (1人)	0.0% (0人)

精神障がい者が一緒に暮らしている人を年代別にみると、30代以下では「父母・祖父母・兄弟」が7割以上と高くなっており、40代から70代にかけては「一人で暮らしている」の割合が3割以上と比較的高くなっています。なお、80代以上では「配偶者」や「子ども」の割合が他の年代と比較して高くなっています。

一緒に暮らしている人（年代別）

精神	回答者 実数	父母・祖父母・ 兄弟姉妹	配偶者 (夫または妻)	子ども	その他	いない（一人で 暮らしている）	無回答
10代	8人	87.5% (7人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	12.5% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)
20代	31人	83.9% (26人)	0.0% (0人)	3.2% (1人)	3.2% (1人)	12.9% (4人)	0.0% (0人)
30代	38人	76.3% (29人)	5.3% (2人)	2.6% (1人)	7.9% (3人)	10.5% (4人)	0.0% (0人)
40代	43人	39.5% (17人)	7.0% (3人)	9.3% (4人)	7.0% (3人)	37.2% (16人)	2.3% (1人)
50代	52人	34.6% (18人)	15.4% (8人)	9.6% (5人)	15.4% (8人)	32.7% (17人)	0.0% (0人)
60代	47人	12.8% (6人)	27.7% (13人)	21.3% (10人)	10.6% (5人)	44.7% (21人)	0.0% (0人)
70代	35人	11.4% (4人)	31.4% (11人)	11.4% (4人)	5.7% (2人)	45.7% (16人)	0.0% (0人)
80代以上	16人	0.0% (0人)	43.8% (7人)	43.8% (7人)	12.5% (2人)	18.8% (3人)	0.0% (0人)

身体障がい者が一緒に暮らしている人を地域別にみると、各地域とも「配偶者」が最も多く、具志川地域と石川地域では次に「子ども」が、勝連地域と与那城地域では次に「父母・祖父母・兄弟姉妹」が多くなっています。また、与那城地域では、「一人で暮らしている」の割合が他の地域に比べてやや低くなっています。

一緒に暮らしている人（地域別）

身体	回答者 実数	父母・祖父母・ 兄弟姉妹	配偶者 (夫または妻)	子ども	その他	いない（一人で 暮らしている）	無回答
具志川地域	557人	19.0% (106人)	44.0% (245人)	25.3% (141人)	8.1% (45人)	22.6% (126人)	0.4% (2人)
石川地域	167人	19.8% (33人)	47.3% (79人)	24.0% (40人)	4.8% (8人)	22.8% (38人)	1.2% (2人)
勝連地域	123人	26.0% (32人)	37.4% (46人)	25.2% (31人)	9.8% (12人)	22.8% (28人)	0.0% (0人)
与那城地域	116人	33.6% (39人)	34.5% (40人)	22.4% (26人)	7.8% (9人)	18.1% (21人)	0.9% (1人)

知的障がい者が一緒に暮らしている人を地域別にみると、各地域とも「父母・祖父母・兄弟」が最も多く、特に具志川、勝連、与那城の3地域では7割前後となっています。また、石川地域では「一人で暮らしている」の割合が他の地域よりやや高くなっています。

一緒に暮らしている人（地域別）

知的	回答者 実数	父母・祖父母・ 兄弟姉妹	配偶者 (夫または妻)	子ども	その他	いない（一人で 暮らしている）	無回答
具志川地域	280人	69.6% (195人)	8.9% (25人)	5.0% (14人)	7.1% (20人)	13.6% (38人)	1.4% (4人)
石川地域	70人	54.3% (38人)	8.6% (6人)	8.6% (6人)	4.3% (3人)	28.6% (20人)	0.0% (0人)
勝連地域	46人	73.9% (34人)	6.5% (3人)	0.0% (0人)	13.0% (6人)	6.5% (3人)	0.0% (0人)
与那城地域	44人	68.2% (30人)	9.1% (4人)	6.8% (3人)	18.2% (8人)	2.3% (1人)	2.3% (1人)

精神障がい者が一緒に暮らしている人を地域別にみると、具志川、与那城の2地域では「父母・祖父母・兄弟」が最も多く4割台半ばとなっています。また、石川、勝連の2地域では「一人で暮らしている」の割合が最も高く、「父母・祖父母・兄弟」が続いています。

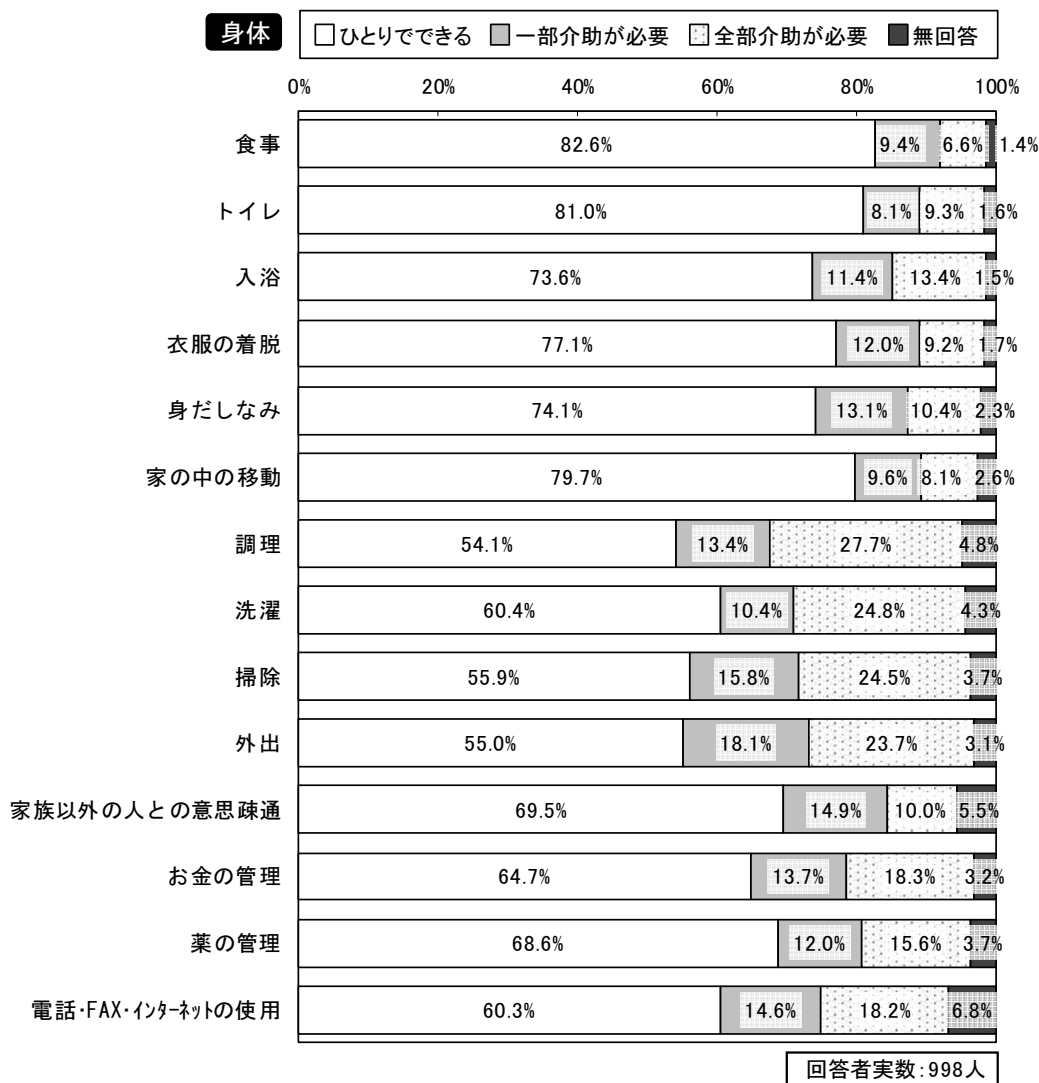
一緒に暮らしている人（地域別）

精神	回答者 実数	父母・祖父母・ 兄弟姉妹	配偶者 (夫または妻)	子ども	その他	いない（一人で 暮らしている）	無回答
具志川地域	151人	45.0% (68人)	15.9% (24人)	10.6% (16人)	9.3% (14人)	27.2% (41人)	0.0% (0人)
石川地域	57人	31.6% (18人)	21.1% (12人)	15.8% (9人)	0.0% (0人)	40.4% (23人)	0.0% (0人)
勝連地域	33人	30.3% (10人)	12.1% (4人)	12.1% (4人)	15.2% (5人)	33.3% (11人)	0.0% (0人)
与那城地域	30人	46.7% (14人)	16.7% (5人)	13.3% (4人)	16.7% (5人)	13.3% (4人)	0.0% (0人)

### (3) 日常生活動作

食事やトイレ、入浴などの日常生活動作についてみると、身体障がい者では、「ひとりでできる」と回答した割合が高いのは「食事」、「トイレ」、「家の中の移動」で、いずれも8割近くに達しています。また「衣服の着脱」、「身だしなみ」、「入浴」、「家族以外の人との意思疎通」も約7割前半となっています。一方、「ひとりでできる」の割合が低いのは、「調理」の54.1%、「外出」の55.0%、「掃除」の55.9%で、6割を下回っています。

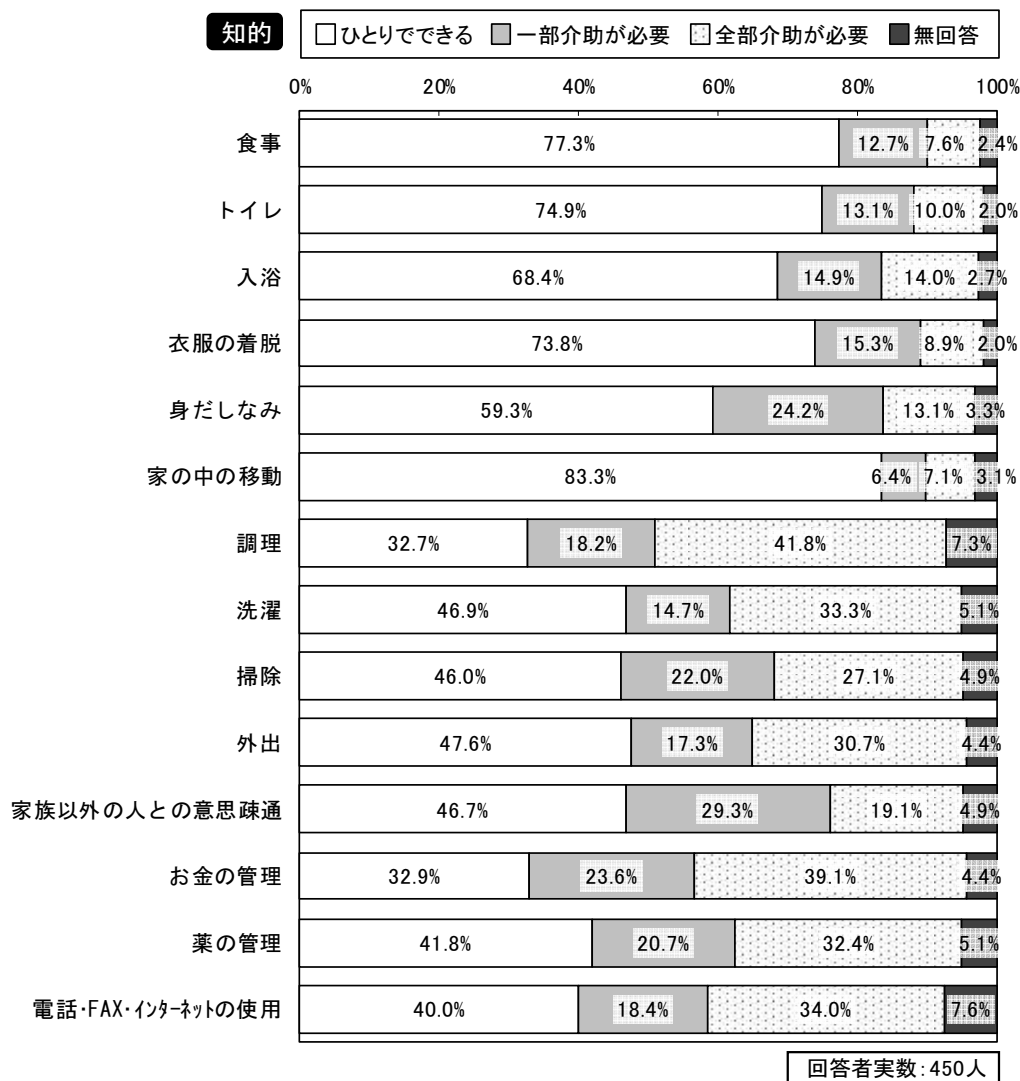
日常生活動作



知的障がい者が「ひとりでできる」と回答した割合が高いのは、「家の中の移動」83.3%で唯一8割を超えています。「食事」、「トイレ」、「衣服の着脱」も約7割の方が「ひとりでできる」と回答していますが、それ以外では、「入浴」が7割弱と「身だしなみ」が6割弱で、多くの項目が5割未満に止まる結果となり全体的に「ひとりでできる」割合が低くなっています。

中でも「お金の管理」と「調理」が「ひとりでできる」のは3割程度と低い状況です。

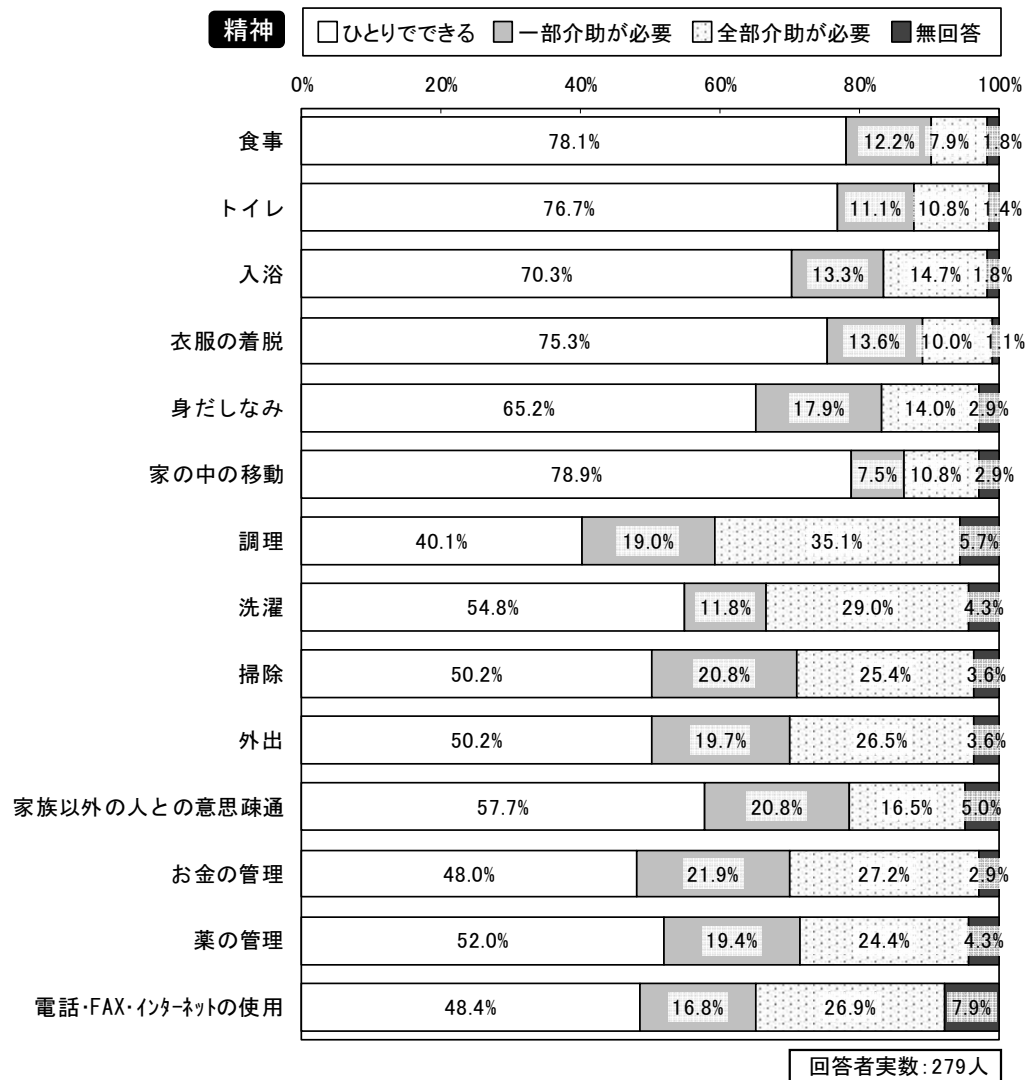
### 日常生活動作





精神障がい者が「ひとりでできる」と回答した割合が高いのは「食事」、「家の中の移動」で約8割、次に「トイレ」、「衣服の着脱」で、いずれも7割台半ばとなっています。一方、「ひとりでできる」割合が低いのは、「調理」、「お金の管理」、「電話・FAX・インターネットの使用」で、いずれも4割台となっています。

### 日常生活動作



「ひとりできる」日常生活動作を、身体障がいの部位別にみると、内部機能障がいでは、全ての動作が7割以上となっており、日常生活動作を問題なくできている人が非常に多くなっています。視覚障がいと聴覚障がいでは、多くの項目が概ね7割となっていますが、「電話・FAX・インターネットの使用」は共に6割を下回っています。視覚障がいでは、「外出」と「調理」が低いのが分かります。

肢体不自由(下肢)では、「食事」が8割弱、「トイレ」、「家の中の移動」、「家族以外の人との意思疎通」、が約7割となっていますが、「掃除」、「外出」、「調理」、「洗濯」が低く、いずれも5割を下回っています。また、肢体不自由(上肢)でも、ほとんどの項目が7割以上ですが、「掃除」、「調理」、「外出」がやや低くそれぞれ6割を下回る水準です。

音声・言語・そしゃく機能障がいでは、「トイレ」、「食事」、「入浴」など基本的な屋内での動作は「ひとりできる」割合が概ね7割前後となっていますが、その他の項目は全般的に低く5割を下回るものが多い結果となりました。

肢体不自由(体幹)と脳病変による運動機能障がいでは、「一人でできる」の割合が多く項目で5割未満となっています。

#### 「ひとりできる」日常生活動作（身体障がいの部位別）

身体		回答者 実数	食事	トイレ	入浴	衣服の 着脱	身だし なみ	家の中 の移動	調理	洗濯	掃除	外出	家族以 外の人 との意 思疎通	お金の 管理	薬の管 理	電話・ FAX・イ ンター ネット の使用
視覚障がい		60人	85.0% (51人)	90.0% (54人)	85.0% (51人)	91.7% (55人)	80.0% (48人)	83.3% (50人)	36.7% (22人)	61.7% (37人)	45.0% (27人)	33.3% (20人)	70.0% (42人)	58.3% (35人)	68.3% (41人)	50.0% (30人)
聴覚又は平衡機能の障 がい		91人	92.3% (84人)	93.4% (85人)	90.1% (82人)	91.2% (83人)	87.9% (80人)	90.1% (82人)	73.6% (67人)	72.5% (66人)	75.8% (69人)	70.3% (64人)	68.1% (62人)	74.7% (68人)	78.0% (71人)	53.8% (49人)
音声・言語・そしゃく機 能障がい		29人	82.8% (24人)	89.7% (26人)	69.0% (20人)	75.9% (22人)	72.4% (21人)	86.2% (25人)	34.5% (10人)	44.8% (13人)	41.4% (12人)	44.8% (13人)	34.5% (10人)	41.4% (12人)	55.2% (16人)	34.5% (10人)
肢体不 自由	上肢	39人	89.7% (35人)	87.2% (34人)	74.4% (29人)	74.4% (29人)	76.9% (30人)	76.9% (30人)	56.4% (22人)	64.1% (25人)	53.8% (21人)	56.4% (22人)	66.7% (26人)	79.5% (31人)	79.5% (31人)	71.8% (28人)
	下肢	126人	77.8% (98人)	69.8% (88人)	61.9% (78人)	64.3% (81人)	65.9% (83人)	69.8% (88人)	42.9% (54人)	47.6% (60人)	42.1% (53人)	42.1% (53人)	67.5% (85人)	58.7% (74人)	61.1% (77人)	63.5% (80人)
	体幹	49人	55.1% (27人)	51.0% (25人)	30.6% (15人)	44.9% (22人)	40.8% (20人)	53.1% (26人)	22.4% (11人)	26.5% (13人)	26.5% (13人)	22.4% (11人)	55.1% (27人)	36.7% (18人)	44.9% (22人)	40.8% (20人)
	乳幼児期以前の非進行性の脳 病変による運動機能障がい	46人	43.5% (20人)	43.5% (20人)	41.3% (19人)	45.7% (21人)	30.4% (14人)	47.8% (22人)	17.4% (8人)	32.6% (15人)	21.7% (10人)	26.1% (12人)	32.6% (15人)	32.6% (15人)	34.8% (16人)	28.3% (13人)
内部機能障がい		380人	91.3% (347人)	91.1% (346人)	85.0% (323人)	88.2% (335人)	88.4% (336人)	90.5% (344人)	71.1% (270人)	73.4% (279人)	70.0% (266人)	71.8% (273人)	85.3% (324人)	78.4% (298人)	82.9% (315人)	76.3% (290人)

「ひとりでできる」日常生活動作を、身体障がいの等級別にみると、3級～6級は概ね同様の傾向が見られ、「食事」、「トイレ」、「入浴」、「衣服の着脱」、「身だしなみ」、「家の中の移動」が概ね8割を超えているほか、その他項目でも全般的に高く6割を下回るものはわずかです。

1級、2級でも「食事」、「トイレ」、「家の中の移動」がそれぞれ7割を超えていて、基礎的な日常生活動作は「ひとりでできる」人が多いと言えます。

#### 「ひとりでできる」日常生活動作（身体障がいの等級別）

身体	回答者 実数	食事	トイレ	入浴	衣服 の着脱	身だし なみ	家の中 の移動	調理	洗濯	掃除	外出	家族以外 の人との 意思疎通	お金 の管理	薬の管理	電話・FAX・ インターネットの 使用
1級	356人	73.6% (262人)	72.5% (258人)	65.2% (232人)	68.0% (242人)	67.1% (239人)	73.0% (260人)	48.0% (171人)	53.7% (191人)	50.3% (179人)	46.6% (166人)	65.7% (234人)	58.1% (207人)	60.7% (216人)	57.3% (204人)
2級	198人	82.3% (163人)	82.8% (164人)	71.7% (142人)	76.8% (152人)	68.7% (136人)	77.8% (154人)	41.4% (82人)	56.6% (112人)	47.5% (94人)	50.0% (99人)	62.1% (123人)	56.6% (112人)	63.1% (125人)	49.5% (98人)
3級	194人	91.2% (177人)	87.1% (169人)	80.9% (157人)	84.5% (164人)	82.5% (160人)	86.6% (168人)	63.4% (123人)	66.5% (129人)	64.4% (125人)	64.9% (126人)	78.9% (153人)	75.3% (146人)	77.3% (150人)	66.0% (128人)
4級	149人	89.9% (134人)	87.2% (130人)	82.6% (123人)	84.6% (126人)	83.2% (124人)	84.6% (126人)	67.8% (101人)	69.1% (103人)	63.8% (95人)	64.4% (96人)	76.5% (114人)	73.8% (110人)	79.9% (119人)	72.5% (108人)
5級	36人	88.9% (32人)	83.3% (30人)	77.8% (28人)	86.1% (31人)	80.6% (29人)	91.7% (33人)	55.6% (20人)	69.4% (25人)	61.1% (22人)	52.8% (19人)	75.0% (27人)	69.4% (25人)	69.4% (25人)	66.7% (24人)
6級	65人	86.2% (56人)	87.7% (57人)	81.5% (53人)	83.1% (54人)	80.0% (52人)	83.1% (54人)	66.2% (43人)	66.2% (43人)	66.2% (43人)	66.2% (43人)	66.2% (43人)	70.8% (46人)	76.9% (50人)	61.5% (40人)

「ひとりでできる」日常生活動作を、療育手帳の判定別にみると、B2ではほとんどの項目で7割を超えているのに対して、B1では「食事」、「トイレ」、「入浴」、「衣服の着脱」、「身だしなみ」、「家の中の移動」の6項目、A2では「家の中の移動」のみ7割を超えており、A1では全項目で6割を下回っています。

#### 「ひとりでできる」日常生活動作（知的障がいの判定別）

知的	回答者 実数	食事	トイレ	入浴	衣服 の着脱	身だし なみ	家の中 の移動	調理	洗濯	掃除	外出	家族以外 の人との 意思疎通	お金 の管理	薬の管理	電話・FAX・ インターネットの 使用
A1	77人	41.6% (32人)	32.5% (25人)	26.0% (20人)	35.1% (27人)	24.7% (19人)	57.1% (44人)	15.6% (12人)	20.8% (16人)	20.8% (16人)	19.5% (15人)	20.8% (16人)	19.5% (15人)	22.1% (17人)	16.9% (13人)
A2	106人	64.2% (68人)	56.6% (60人)	39.6% (42人)	52.8% (56人)	28.3% (30人)	75.5% (80人)	4.7% (5人)	16.0% (17人)	12.3% (13人)	10.4% (11人)	18.9% (20人)	6.6% (7人)	6.6% (7人)	10.4% (11人)
B1	97人	92.8% (90人)	94.8% (92人)	91.8% (89人)	94.8% (92人)	79.4% (77人)	95.9% (93人)	35.1% (34人)	57.7% (56人)	61.9% (60人)	62.9% (61人)	54.6% (53人)	35.1% (34人)	48.5% (47人)	46.4% (45人)
B2	170人	92.9% (158人)	94.1% (160人)	92.4% (157人)	92.4% (157人)	82.9% (141人)	92.9% (158人)	56.5% (96人)	71.8% (122人)	69.4% (118人)	74.7% (127人)	71.2% (121人)	54.1% (92人)	68.8% (117人)	65.3% (111人)

「ひとりでできる」日常生活動作を、精神障がい者の等級別及び精神通院公費負担制度利用者別にみると、3級では多くの項目で7割以上となっていますが、2級では「お金の管理」、「電話・FAX・インターネットの使用」が6割を下回っています。また、1級では5割を下回るものが約半数近くになり、7割を超えているのは「家の中の移動」のみでした。精神通院公費負担制度利用者についても、全体的に「ひとりでできる」と回答した割合は低く、多くの項目で5割を下回っています。

「ひとりでできる」日常生活動作（精神障がいの等級別）

精神	回答者 実数	食事	トイレ	入浴	衣服の着 脱	身だしな み	家の中の 移動	調理	洗濯	掃除	外出	家族以外 の人との 意思疎通	お金の管 理	薬の管理	電話・FAX・ ネットの 使用
1級	59人 (40人)	67.8% (40人)	67.8% (40人)	61.0% (36人)	67.8% (40人)	59.3% (35人)	74.6% (44人)	37.3% (22人)	49.2% (29人)	45.8% (27人)	44.1% (26人)	49.2% (29人)	50.8% (30人)	50.8% (30人)	42.4% (25人)
2級	93人 (82人)	88.2% (82人)	89.2% (83人)	83.9% (78人)	82.8% (77人)	76.3% (71人)	83.9% (78人)	52.7% (49人)	67.7% (63人)	60.2% (56人)	61.3% (57人)	71.0% (66人)	57.0% (53人)	61.3% (57人)	58.1% (54人)
3級	21人 (17人)	81.0% (17人)	81.0% (17人)	76.2% (16人)	81.0% (17人)	81.0% (17人)	85.7% (18人)	52.4% (11人)	66.7% (14人)	66.7% (14人)	76.2% (16人)	76.2% (16人)	71.4% (15人)	76.2% (16人)	57.1% (12人)
精神通院	112人 (82人)	73.2% (82人)	69.6% (78人)	62.5% (70人)	69.6% (78人)	55.4% (62人)	74.1% (83人)	25.9% (29人)	44.6% (50人)	38.4% (43人)	37.5% (42人)	46.4% (52人)	30.4% (34人)	39.3% (44人)	42.9% (48人)

#### (4) 介助者について（複数回答）

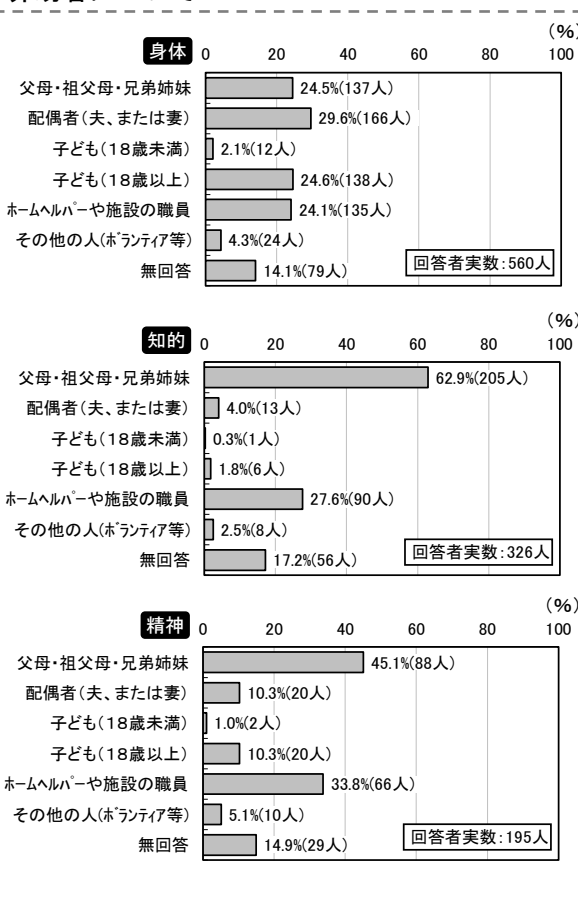
介助を必要としている人に対して、介助者の状況を尋ねたところ、身体障がい者では、「配偶者（夫または妻）」29.6%（166人）が最も多く、次いで「子ども（18歳以上）」24.6%（138人）、「父母・祖父母・兄弟姉妹」24.5%（137人）の順となっています。

知的障がい者では、「父母・祖父母・兄弟姉妹」62.9%（205人）が圧倒的に多く、次いで「ホームヘルパーや施設の職員」27.6%（90人）の順となりました。

精神障がい者では、「父母・祖父母・兄弟姉妹」45.1%（88人）が最も多く、次いで「ホームヘルパーや施設の職員」33.8%（66人）の順となりました。

なお、「子ども（18歳未満）」という回答が身体障がい者で2.1%（12人）、知的障がい者で0.3%（1人）、精神障がい者で1.0%（2人）あり、未成年での介助者の存在が伺えます。

介助者について



介助者の状況を身体障がいの等級別にみると、「配偶者（夫、または妻）」、「子ども（18歳以上）」、「ホームヘルパーや施設の職員」の割合は各等級に共通して高いほか、1級、2級、5級では「父母・祖父母・兄弟姉妹」の割合も相対的に高い傾向となっています。

介助者について（身体障がいの等級別）

身体	回答者実数	父母・祖父母・兄弟姉妹	配偶者(夫、または妻)	子ども(18歳未満)	子ども(18歳以上)	ホームヘルパーや施設の職員	その他の人(ボランティア等)	無回答
1級	219人	29.2% (64人)	22.4% (49人)	0.0% (0人)	24.7% (54人)	30.1% (66人)	3.2% (7人)	17.4% (38人)
2級	141人	27.0% (38人)	32.6% (46人)	2.1% (3人)	22.0% (31人)	20.6% (29人)	5.7% (8人)	11.3% (16人)
3級	94人	17.0% (16人)	35.1% (33人)	4.3% (4人)	29.8% (28人)	17.0% (16人)	4.3% (4人)	12.8% (12人)
4級	60人	18.3% (11人)	31.7% (19人)	5.0% (3人)	18.3% (11人)	21.7% (13人)	1.7% (1人)	13.3% (8人)
5級	19人	36.8% (7人)	36.8% (7人)	0.0% (0人)	26.3% (5人)	26.3% (5人)	0.0% (0人)	5.3% (1人)
6級	27人	3.7% (1人)	44.4% (12人)	7.4% (2人)	33.3% (9人)	22.2% (6人)	14.8% (4人)	14.8% (4人)

介助者の状況を知的障がいの判定別にみると、各判定で「父母・祖父母・兄弟姉妹」の割合が最も高く、次いで「ホームヘルパーや施設の職員」の順となっています。

介助者について（知的障がいの判定別）

知的	回答者 実数	父母・祖父母・ 兄弟姉妹	配偶者 (夫、または妻)	子ども (18歳未満)	子ども (18歳以上)	ホームヘルパーや 施設の職員	その他の人 (ボランティア等)	無回答
A 1	65人	63.1% (41人)	6.2% (4人)	0.0% (0人)	3.1% (2人)	44.6% (29人)	1.5% (1人)	13.8% (9人)
A 2	100人	65.0% (65人)	2.0% (2人)	1.0% (1人)	2.0% (2人)	34.0% (34人)	2.0% (2人)	15.0% (15人)
B 1	70人	54.3% (38人)	5.7% (4人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	21.4% (15人)	4.3% (3人)	21.4% (15人)
B 2	91人	67.0% (61人)	3.3% (3人)	0.0% (0人)	2.2% (2人)	13.2% (12人)	2.2% (2人)	18.7% (17人)

介助者の状況を精神障がい者の手帳等級及び精神通院公費負担制度利用者別にみると、各等級及び精神通院で「父母・祖父母・兄弟姉妹」の割合が最も高いです。また、これに次いで多いのは、1級、2級及び精神通院は「ホームヘルパーや施設の職員」、3級は「配偶者（夫、または妻）」となっています。

介助者について（精神障がいの等級別）

精神	回答者 実数	父母・祖父母・ 兄弟姉妹	配偶者 (夫、または妻)	子ども (18歳未満)	子ども (18歳以上)	ホームヘルパーや 施設の職員	その他の人 (ボランティア等)	無回答
1級	36人	44.4% (16人)	8.3% (3人)	0.0% (0人)	13.9% (5人)	38.9% (14人)	8.3% (3人)	19.4% (7人)
2級	62人	38.7% (24人)	14.5% (9人)	1.6% (1人)	11.3% (7人)	24.2% (15人)	6.5% (4人)	19.4% (12人)
3級	12人	41.7% (5人)	33.3% (4人)	0.0% (0人)	8.3% (1人)	8.3% (1人)	0.0% (0人)	8.3% (1人)
精神通院	94人	50.0% (47人)	5.3% (5人)	1.1% (1人)	9.6% (9人)	42.6% (40人)	4.3% (4人)	9.6% (9人)

## (5) 介助者の年齢

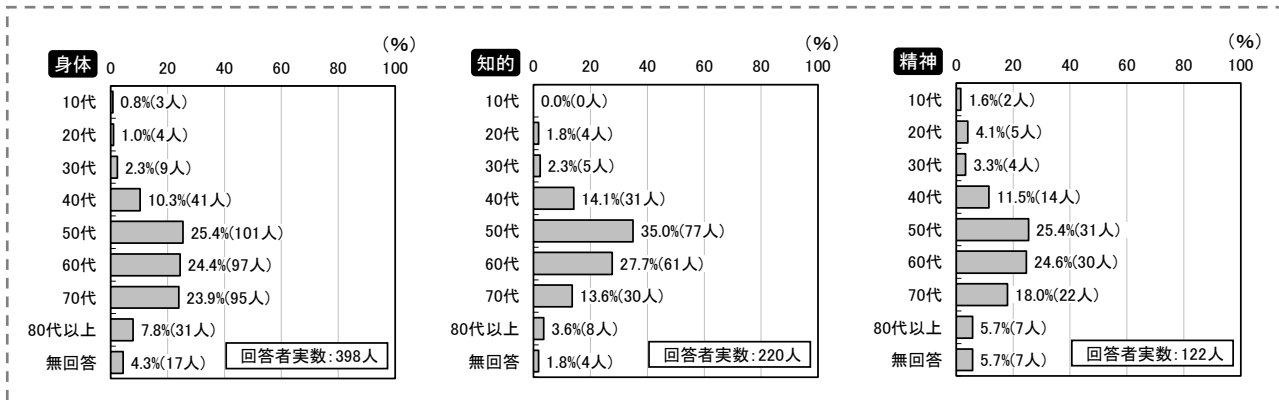
自身の介助者について「父母・祖父母・兄弟姉妹」、「配偶者」、「子ども」と回答した人に対し、主な介助者の年齢を尋ねました。

身体障がい者では、「50代」25.4%(101人)が最も多く、これに「60代」24.4%(97人)、「70代」23.9%(95人)が続き、「50代」以上の介助者の割合は7割を超えています。特に、「70代」と「80代以上」を合わせると31.7%(126人)と3割を超え、高齢の介助者が多くなっています。

知的障がい者では、「50代」35.0%(77人)が最も多く、次いで「60代」27.7%(61人)、70代13.6%(30人)の順となっており、身体障がい者の介助者と概ね同様の傾向が見られます。

精神障がい者でも、身体障がい者、知的障がい者と同様に、「50代」から「70代」の割合が高く、全体の68%を占めています。

### 介助者の年齢



## 2. 障がい状況について

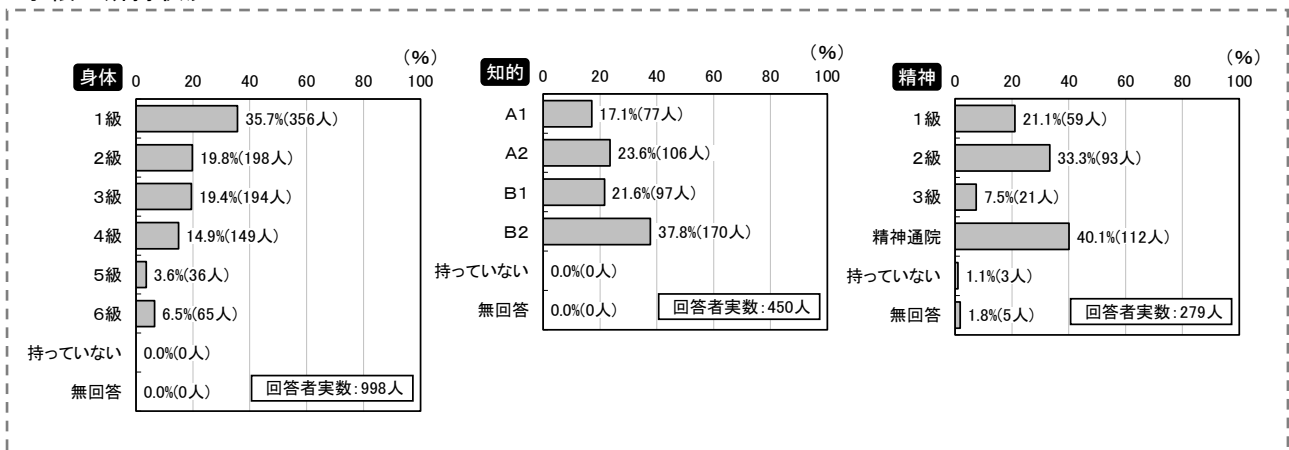
### (1) 手帳の所持状況

回答者の手帳の所持状況をみると、身体障害者手帳の等級は、「1級」35.7%(356人)が最も多く、「2級」19.8%(198人)との合計は55.5%となり、5割以上が重度障がい者であることがわかります。

療育手帳所持者の判定は、「B2」37.8%(170人)が最も多く、次に「A2」23.6%(106人)、「B1」21.6%(97人)の順で、B判定が全体の6割近くを占めています。

精神障害者保健福祉手帳の等級は、「2級」が33.3%(93人)で3分の1を占めています。また、手帳を持っていない通院公費負担制度利用者が40.1%(112人)と、約4割を占めています。

### 手帳の所持状況





身体障がい の部位別に身体障害者手帳の等級をみると、「肢体不自由(体幹)」、「脳病変による運動機能障がい」、「内部機能障がい」では「1級」が最も多く、また「視覚障がい」では「2級」、「音声・言語・そしゃく機能障がい」、「肢体不自由(上肢)」では「3級」、「肢体不自由(下肢)」では「4級」、「聴覚又は平衡機能の障がい」では6級がそれぞれ最も高い割合となっています。

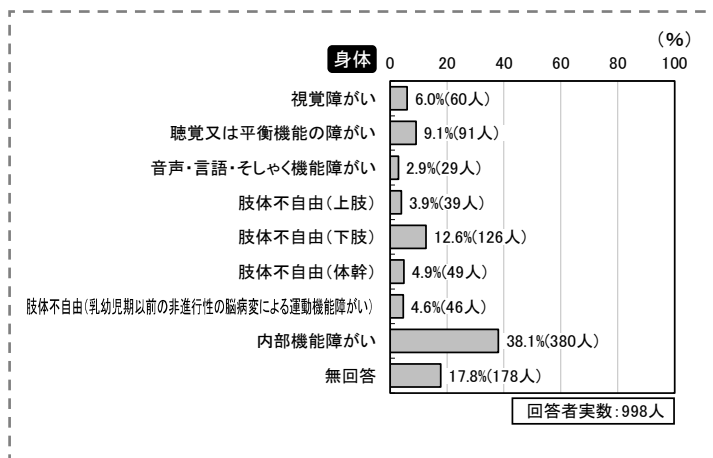
身体障害者手帳の等級（身体障がいの部位別）

身体		回答者 実数	1級	2級	3級	4級	5級	6級
視覚障がい		60人	33.3% (20人)	43.3% (26人)	1.7% (1人)	5.0% (3人)	11.7% (7人)	5.0% (3人)
聴覚又は平衡機能の障がい		91人	8.8% (8人)	27.5% (25人)	17.6% (16人)	11.0% (10人)	0.0% (0人)	35.2% (32人)
音声・言語・そしゃく機能障がい		29人	27.6% (8人)	24.1% (7人)	31.0% (9人)	10.3% (3人)	0.0% (0人)	6.9% (2人)
肢体不自由	上肢	39人	10.3% (4人)	30.8% (12人)	35.9% (14人)	10.3% (4人)	2.6% (1人)	10.3% (4人)
	下肢	126人	15.1% (19人)	15.1% (19人)	17.5% (22人)	35.7% (45人)	11.9% (15人)	4.8% (6人)
	体幹	49人	30.6% (15人)	26.5% (13人)	22.4% (11人)	0.0% (0人)	10.2% (5人)	10.2% (5人)
	乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障がい	46人	50.0% (23人)	15.2% (7人)	8.7% (4人)	15.2% (7人)	4.3% (2人)	6.5% (3人)
内部機能障がい		380人	51.6% (196人)	6.6% (25人)	25.3% (96人)	15.3% (58人)	0.5% (2人)	0.8% (3人)

## (2) 身体障がい者の障がい部位

身体障がい者の障がい部位についてみると、「内部機能障がい」が38.1%(380人)で圧倒的に多く、肢体不自由については、「上肢」3.9%(39人)、「下肢」12.6%(126人)、「体幹」4.9%(49人)、「脳病変による運動機能障がい」4.6%(46人)を合わせると26.0%と、全体の4分の1程度を占めています。

身体障がい者の障がい部位



年代別にみると、「内部機能障がい」は年齢が高いほど多い傾向があり、「40代」までは概ね2割以下の水準であったものが、「70代」「80代以上」では4割台半ばに増加しています。

「肢体不自由(上肢)」、「肢体不自由(下肢)」、「肢体不自由(体幹)」については、年代による差異があまり見られませんが、いずれも60代で少し増加する傾向があります。

「視覚障がい」、「聴覚障がい」など上記以外の障がい部位に関しては、年代による顕著な傾向は見られません。

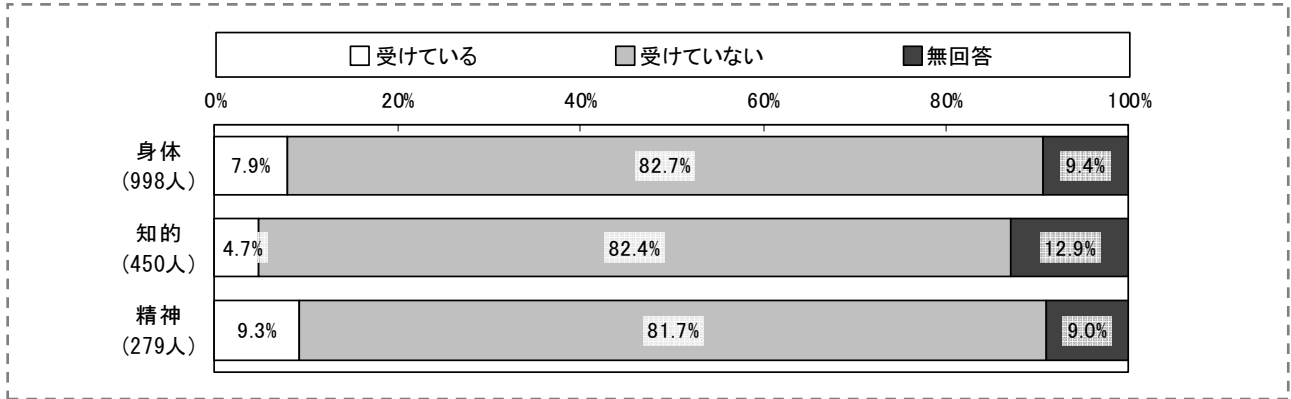
身体障がい者の障がい部位 (年代別)

身体	回答者実数	視覚障がい	聴覚又は平衡機能の障がい	音声・言語・そしゃく機能障がい	肢体不自由				内部機能障がい	無回答
					上肢	下肢	体幹	乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障がい		
10代	7人	14.3% (1人)	0.0% (0人)	14.3% (1人)	0.0% (0人)	14.3% (1人)	0.0% (0人)	42.9% (3人)	14.3% (1人)	0.0% (0人)
20代	45人	4.4% (2人)	2.2% (1人)	0.0% (0人)	4.4% (2人)	11.1% (5人)	2.2% (1人)	35.6% (16人)	15.6% (7人)	24.4% (11人)
30代	42人	4.8% (2人)	11.9% (5人)	4.8% (2人)	0.0% (0人)	4.8% (2人)	2.4% (1人)	21.4% (9人)	21.4% (9人)	28.6% (12人)
40代	72人	2.8% (2人)	5.6% (4人)	6.9% (5人)	5.6% (4人)	12.5% (9人)	11.1% (8人)	6.9% (5人)	22.2% (16人)	26.4% (19人)
50代	121人	6.6% (8人)	9.9% (12人)	5.8% (7人)	5.8% (7人)	10.7% (13人)	3.3% (4人)	4.1% (5人)	33.1% (40人)	20.7% (25人)
60代	210人	7.6% (16人)	8.1% (17人)	1.4% (3人)	5.7% (12人)	11.9% (25人)	6.2% (13人)	1.4% (3人)	39.5% (83人)	18.1% (38人)
70代	277人	5.8% (16人)	5.8% (16人)	1.4% (4人)	3.2% (9人)	17.0% (47人)	4.7% (13人)	0.7% (2人)	46.6% (129人)	14.8% (41人)
80代以上	193人	6.2% (12人)	17.1% (33人)	2.1% (4人)	1.6% (3人)	10.9% (21人)	4.1% (8人)	0.5% (1人)	45.6% (88人)	11.9% (23人)

### (3) 難病(特定疾患)の状況

難病(特定疾患)の認定状況をみると、認定を「受けている」人は、身体障がい者で7.9%、知的障がい者で4.7%、精神障がい者で9.3%とそれぞれ低率です。

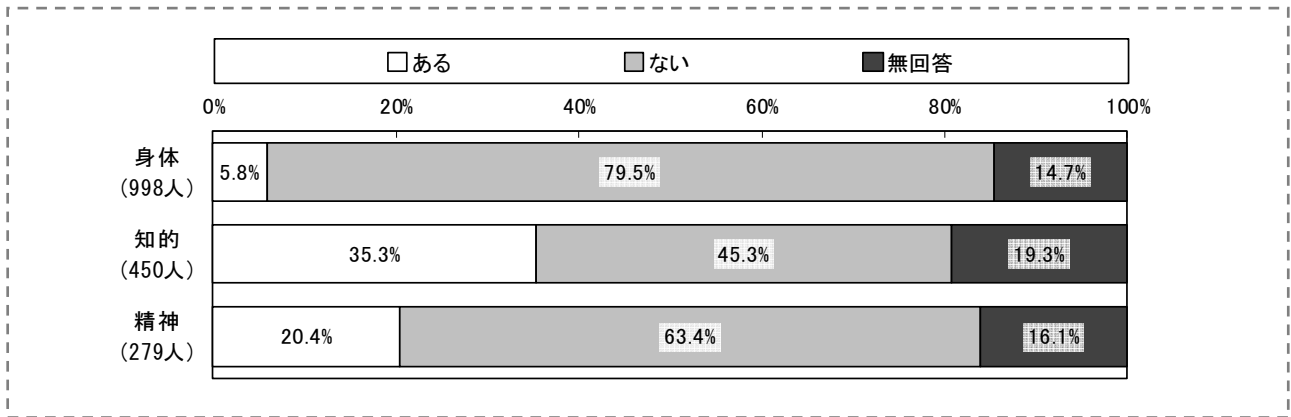
難病(特定疾患)の状況



### (4) 発達障がいの状況

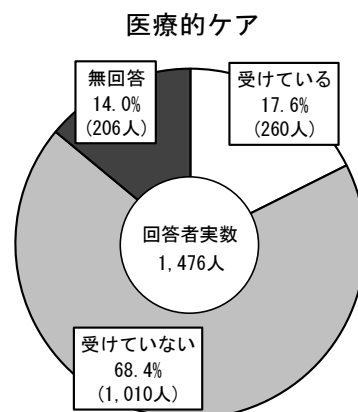
発達障がいと診断されたことがあるかを尋ねたところ、「ある」と答えた人が、知的障がい者35.3%で3割以上を占めており、身体障がい者5.8%、精神障がい者20.4%と比較して高くなっています。

発達障がいの状況

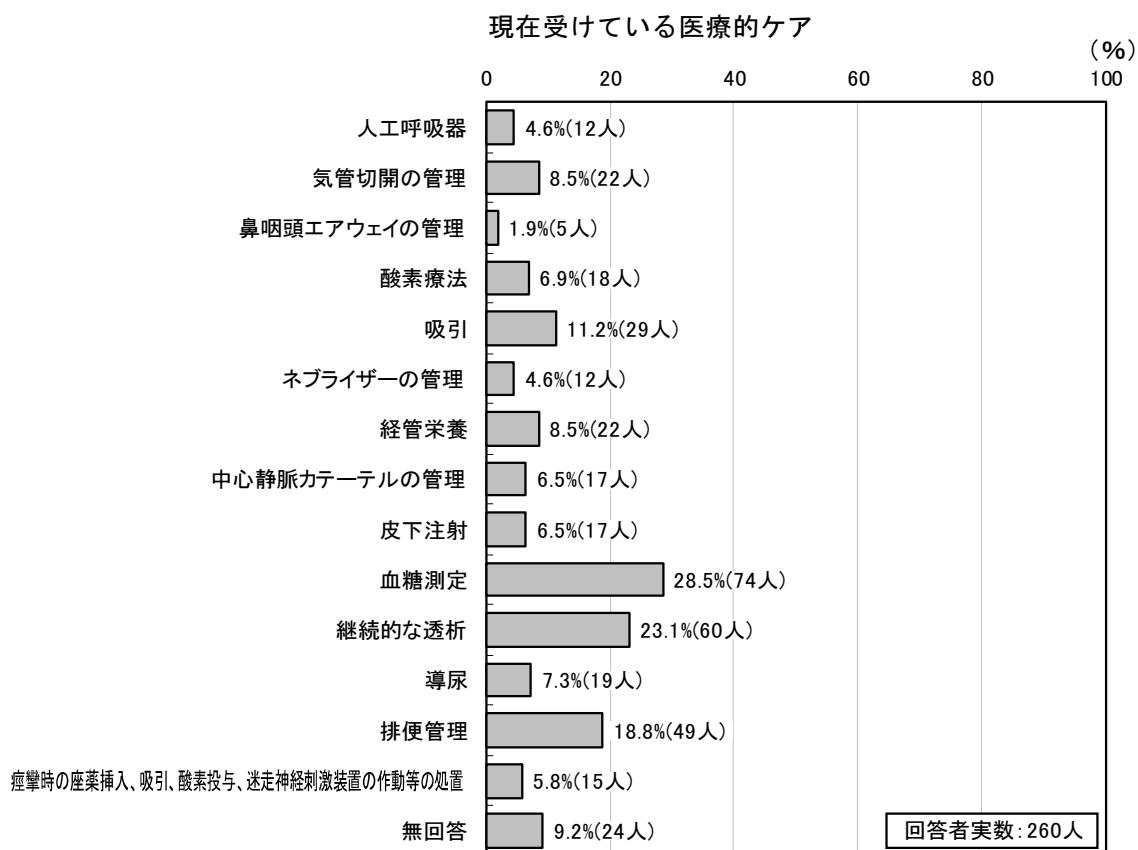


(5) 現在受けている医療的ケア

日常的に医療的ケアを受けているかを尋ねたところ、「受けている」と答えた人は、17.6%（260人）となっています。



現在受けている医療的ケア（複数回答）について尋ねたところ、「血糖測定」が最も多くなっています。「継続的な透析」や「排便管理」など一部の医療的ケアでは2割前後ですが、そのほかは概ね1割を下回っています。



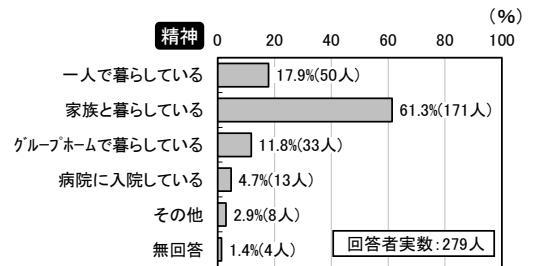
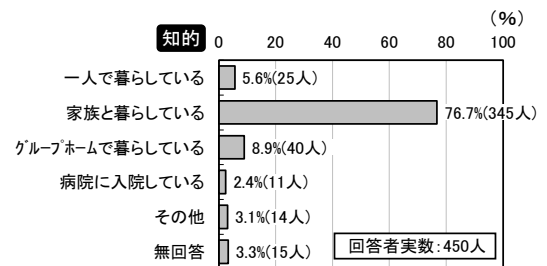
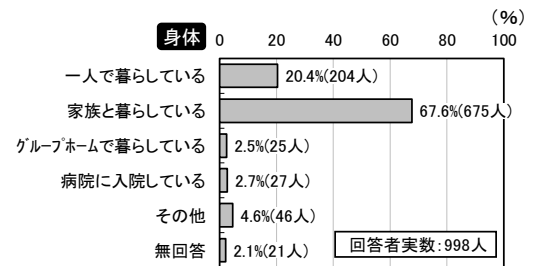
### 3. 住まいや暮らしについて

#### (1) 現在の暮らし

現在の暮らしについて尋ねたところ、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者で顕著な違いは見られず、いずれも、「家族と暮らしている」人が最も多くなっています。

次に多いのは、身体障がい者と精神障がい者では「一人で暮らしている」ですが、知的障がい者では「グループホームで暮らしている」8.9%(40人)となっています。

#### 現在の暮らし



年代別にみると、身体障がい者では、全ての年代で「家族と暮らしている」と答えた人が最も多く、50代以上では「一人で暮らしている」人の割合が増加しています。

#### 現在の暮らし（年代別）

身体	回答者実数	一人で暮らしている	家族と暮らしている	グループホームで暮らしている	病院に入院している	その他	無回答
10代	7人	0.0% (0人)	85.7% (6人)	14.3% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)
20代	45人	4.4% (2人)	86.7% (39人)	4.4% (2人)	0.0% (0人)	2.2% (1人)	2.2% (1人)
30代	42人	4.8% (2人)	83.3% (35人)	0.0% (0人)	4.8% (2人)	7.1% (3人)	0.0% (0人)
40代	72人	11.1% (8人)	76.4% (55人)	1.4% (1人)	2.8% (2人)	4.2% (3人)	4.2% (3人)
50代	121人	23.1% (28人)	66.1% (80人)	0.8% (1人)	5.0% (6人)	2.5% (3人)	2.5% (3人)
60代	210人	28.1% (59人)	58.6% (123人)	2.9% (6人)	3.8% (8人)	3.8% (8人)	2.9% (6人)
70代	277人	18.1% (50人)	71.8% (199人)	2.2% (6人)	2.2% (6人)	4.0% (11人)	1.8% (5人)
80代以上	193人	23.3% (45人)	62.2% (120人)	3.6% (7人)	1.6% (3人)	7.8% (15人)	1.6% (3人)

知的障がい者では、ほとんどの人が「家族と暮らしている」と答えており、30代以下の年代では8割以上を占めています。

現在の暮らし（年代別）

知的	回答者 実数	一人で 暮らしている	家族と 暮らしている	グループホーム で暮らしている	病院に 入院している	その他	無回答
10代	32人	0.0% (0人)	90.6% (29人)	6.3% (2人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	3.1% (1人)
20代	122人	0.0% (0人)	91.0% (111人)	5.7% (7人)	0.0% (0人)	1.6% (2人)	1.6% (2人)
30代	88人	2.3% (2人)	81.8% (72人)	5.7% (5人)	2.3% (2人)	3.4% (3人)	4.5% (4人)
40代	82人	3.7% (3人)	74.4% (61人)	11.0% (9人)	2.4% (2人)	6.1% (5人)	2.4% (2人)
50代	49人	4.1% (2人)	73.5% (36人)	10.2% (5人)	8.2% (4人)	0.0% (0人)	4.1% (2人)
60代	39人	23.1% (9人)	41.0% (16人)	17.9% (7人)	5.1% (2人)	7.7% (3人)	5.1% (2人)
70代	23人	21.7% (5人)	43.5% (10人)	17.4% (4人)	4.3% (1人)	4.3% (1人)	8.7% (2人)
80代以上	8人	25.0% (2人)	62.5% (5人)	12.5% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)

精神障がい者でも、多くの人が「家族と暮らしている」と答えていますが、40代から70代は他の年代と比較して少ない傾向があり、あわせて「一人で暮らしている」の割合が高くなっています。また、「一人で暮らしている」の割合は、「70代」31.4%(11人)が最も高く、次いで「50代」28.8%(15人)の順でした。

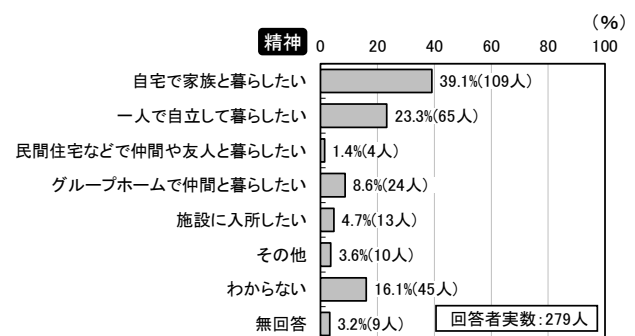
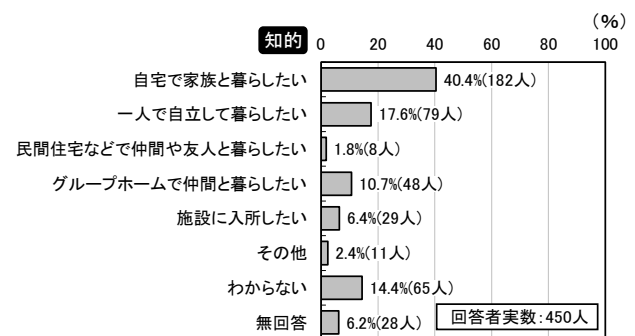
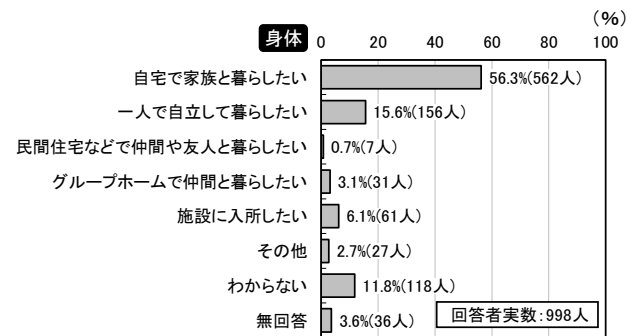
現在の暮らし（年代別）

精神	回答者 実数	一人で 暮らしている	家族と 暮らしている	グループホーム で暮らしている	病院に 入院している	その他	無回答
10代	8人	0.0% (0人)	100.0% (8人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)
20代	31人	0.0% (0人)	87.1% (27人)	12.9% (4人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)
30代	38人	2.6% (1人)	78.9% (30人)	7.9% (3人)	2.6% (1人)	5.3% (2人)	2.6% (1人)
40代	43人	18.6% (8人)	58.1% (25人)	16.3% (7人)	2.3% (1人)	2.3% (1人)	2.3% (1人)
50代	52人	28.8% (15人)	51.9% (27人)	9.6% (5人)	7.7% (4人)	1.9% (1人)	0.0% (0人)
60代	47人	23.4% (11人)	46.8% (22人)	17.0% (8人)	8.5% (4人)	2.1% (1人)	2.1% (1人)
70代	35人	31.4% (11人)	40.0% (14人)	11.4% (4人)	8.6% (3人)	5.7% (2人)	2.9% (1人)
80代以上	16人	18.8% (3人)	68.8% (11人)	6.3% (1人)	0.0% (0人)	6.3% (1人)	0.0% (0人)

## (2) 将来の地域生活の意向

将来の地域生活の意向を尋ねたところ、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、いずれも「自宅で家族と暮らしたい」という回答が圧倒的に多く、身体障がい者の56.3% (562人)、知的障がい者の40.4% (182人)、精神障がい者の39.1% (109人)を占めています。次いで多いのは「一人で自立して暮らしたい」で、身体障がい者で15.6% (156人)、知的障がい者は17.6% (79人)、精神障がい者では23.3% (65人)となっています。

### 将来の地域生活の意向



将来の地域生活の意向を年代別にみると、身体障がい者では、概ね全年代で「自宅で家族と暮らしたい」と答えた方が最も多く、特に70代と80代以上では6割を超えています。また、「一人で自立して暮らしたい」は、20代、30代、50代、60代で比較的多く概ね2割前後となっています。

将来の地域生活の意向（年代別）

身体	回答者 実数	自宅で家族と 暮らしたい	一人で自立し て暮らしたい	民間住宅など で仲間や友人 と暮らしたい	グループホー ムで仲間と暮 らしたい	施設に入所し たい	その他	わからない	無回答
10代	7人	14.3% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	57.1% (4人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	28.6% (2人)	0.0% (0人)
20代	45人	46.7% (21人)	22.2% (10人)	2.2% (1人)	8.9% (4人)	8.9% (4人)	4.4% (2人)	4.4% (2人)	2.2% (1人)
30代	42人	33.3% (14人)	21.4% (9人)	2.4% (1人)	7.1% (3人)	7.1% (3人)	7.1% (3人)	16.7% (7人)	4.8% (2人)
40代	72人	58.3% (42人)	13.9% (10人)	1.4% (1人)	1.4% (1人)	2.8% (2人)	2.8% (2人)	11.1% (8人)	8.3% (6人)
50代	121人	52.1% (63人)	24.8% (30人)	0.8% (1人)	0.8% (1人)	3.3% (4人)	2.5% (3人)	12.4% (15人)	3.3% (4人)
60代	210人	48.1% (101人)	19.0% (40人)	0.0% (0人)	4.8% (10人)	4.8% (10人)	3.3% (7人)	15.7% (33人)	4.3% (9人)
70代	277人	64.6% (179人)	10.5% (29人)	0.7% (2人)	0.7% (2人)	8.3% (23人)	1.8% (5人)	10.8% (30人)	2.5% (7人)
80代以上	193人	63.7% (123人)	11.9% (23人)	0.5% (1人)	3.1% (6人)	6.7% (13人)	2.6% (5人)	8.3% (16人)	3.1% (6人)

将来の地域生活の意向を年代別にみると、知的障がい者では、全年代で「自宅で家族と暮らしたい」と答えた方が最も多く、「一人で自立して暮らしたい」も若い世代を中心に割合が高くなっています。また、年代別の傾向は見られないものの、「グループホームで仲間と暮らしたい」と回答した方も一定数存在しています。

将来の地域生活の意向（年代別）

知的	回答者 実数	自宅で家族と 暮らしたい	一人で自立し て暮らしたい	民間住宅など で仲間や友人 と暮らしたい	グループホー ムで仲間と暮 らしたい	施設に入所し たい	その他	わからない	無回答
10代	32人	34.4% (11人)	25.0% (8人)	6.3% (2人)	18.8% (6人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	12.5% (4人)	3.1% (1人)
20代	122人	38.5% (47人)	23.0% (28人)	2.5% (3人)	9.0% (11人)	4.9% (6人)	3.3% (4人)	13.1% (16人)	5.7% (7人)
30代	88人	33.0% (29人)	14.8% (13人)	1.1% (1人)	13.6% (12人)	8.0% (7人)	3.4% (3人)	18.2% (16人)	8.0% (7人)
40代	82人	41.5% (34人)	20.7% (17人)	1.2% (1人)	8.5% (7人)	3.7% (3人)	3.7% (3人)	13.4% (11人)	7.3% (6人)
50代	49人	53.1% (26人)	12.2% (6人)	0.0% (0人)	6.1% (3人)	10.2% (5人)	0.0% (0人)	12.2% (6人)	6.1% (3人)
60代	39人	46.2% (18人)	7.7% (3人)	0.0% (0人)	15.4% (6人)	12.8% (5人)	0.0% (0人)	15.4% (6人)	2.6% (1人)
70代	23人	39.1% (9人)	13.0% (3人)	4.3% (1人)	8.7% (2人)	8.7% (2人)	0.0% (0人)	13.0% (3人)	13.0% (3人)
80代以上	8人	50.0% (4人)	12.5% (1人)	0.0% (0人)	12.5% (1人)	0.0% (0人)	12.5% (1人)	12.5% (1人)	0.0% (0人)



将来の地域生活の意向を年代別にみると、精神障がい者では、概ね全年代で「自宅で家族と暮らしたい」と答えた方が最も多く、次いで「一人で自立して暮らしたい」の割合が高いですが、30代では、「一人で自立して暮らしたい」と回答した方が最も多くなっています。また、知的障がい者と同様に「グループホームで仲間と暮らしたい」と回答した方が一定数存在しています。

将来の地域生活の意向（年代別）

精神	回答者 実数	自宅で家族と 暮らしたい	一人で自立し て暮らしたい	民間住宅など で仲間や友人 と暮らしたい	グループホー ムで仲間と暮 らしたい	施設に入所し たい	その他	わからない	無回答
10代	8人	25.0% (2人)	12.5% (1人)	0.0% (0人)	37.5% (3人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	25.0% (2人)	0.0% (0人)
20代	31人	48.4% (15人)	16.1% (5人)	0.0% (0人)	16.1% (5人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	12.9% (4人)	6.5% (2人)
30代	38人	26.3% (10人)	28.9% (11人)	2.6% (1人)	13.2% (5人)	7.9% (3人)	7.9% (3人)	10.5% (4人)	2.6% (1人)
40代	43人	41.9% (18人)	32.6% (14人)	2.3% (1人)	2.3% (1人)	2.3% (1人)	2.3% (1人)	11.6% (5人)	4.7% (2人)
50代	52人	36.5% (19人)	26.9% (14人)	0.0% (0人)	5.8% (3人)	3.8% (2人)	5.8% (3人)	19.2% (10人)	1.9% (1人)
60代	47人	38.3% (18人)	19.1% (9人)	2.1% (1人)	6.4% (3人)	6.4% (3人)	2.1% (1人)	23.4% (11人)	2.1% (1人)
70代	35人	31.4% (11人)	20.0% (7人)	0.0% (0人)	11.4% (4人)	8.6% (3人)	5.7% (2人)	20.0% (7人)	2.9% (1人)
80代以上	16人	50.0% (8人)	18.8% (3人)	6.3% (1人)	0.0% (0人)	6.3% (1人)	0.0% (0人)	12.5% (2人)	6.3% (1人)

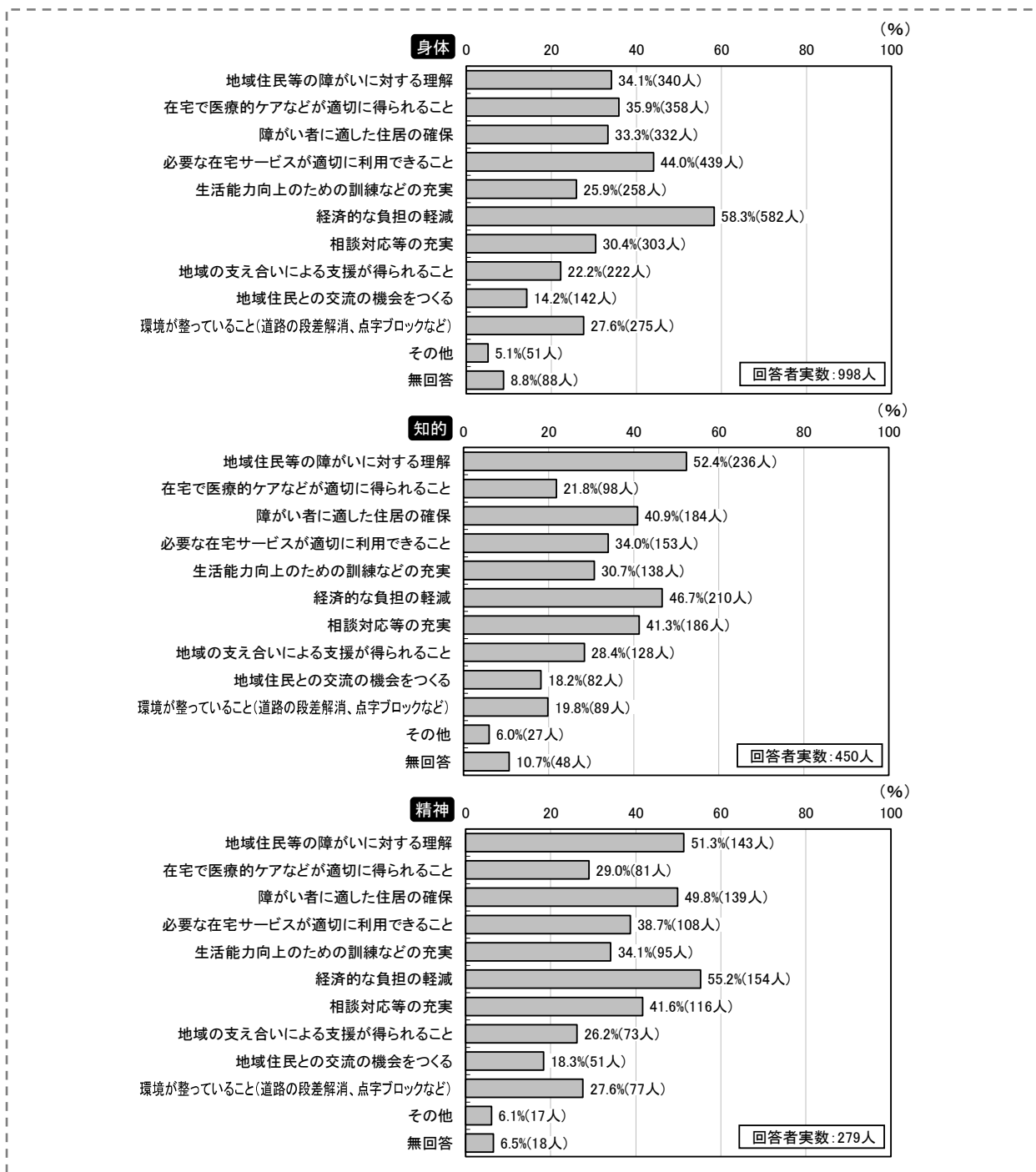
### (3) 地域で生活するために必要な支援（複数回答）

地域で生活するために必要な支援について尋ねたところ、身体障がい者では「経済的な負担の軽減」が58.3% (582人)が最も多く、次いで「必要な在宅サービスが適切に利用できること」44.0% (439人)、「在宅で医療的ケアなどが適切に得られること」35.9% (358人)が続いています。

知的障がい者では、「地域住民等の障がいに対する理解」52.4% (236人)が最も多く、次いで「経済的な負担の軽減」46.7% (210人)、「相談対応等の充実」41.3% (186人)と続いています。

精神障がい者では、「経済的な負担の軽減」55.2% (154人)が最も多く、次いで「地域住民等の障がいに対する理解」51.3% (143人)、「障がい者に適した住居の確保」49.8% (139人)と続きます。

#### 地域で生活するために必要な支援



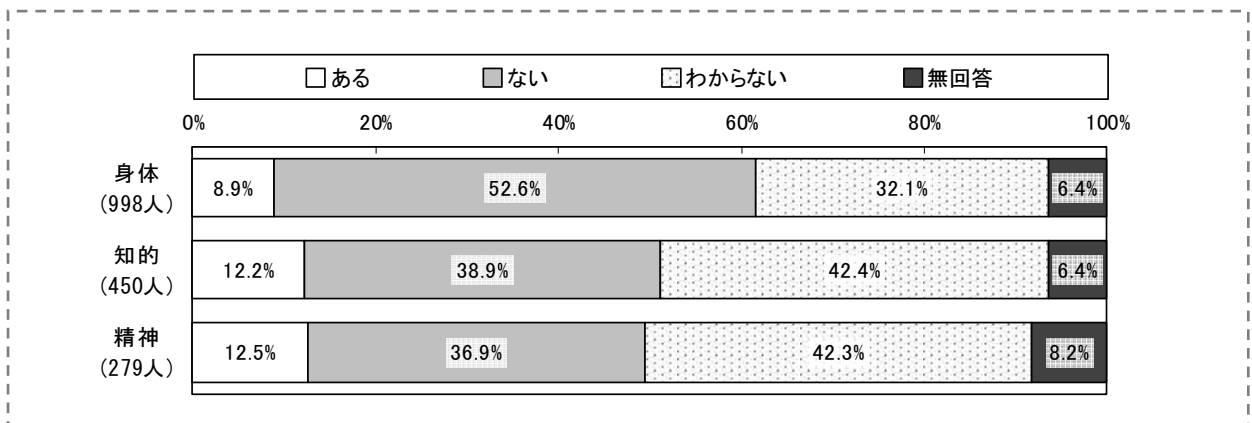
#### (4) ボランティアに手助けを頼みたいこと

ボランティアに手助けを頼みたいことを尋ねたところ、全体的に頼みたいことが「ない」という回答が高い割合となっています。「ない」と回答した割合が最も高かったのは身体障がい者52.6%で半数を超えており、知的障がい者、精神障がい者はいずれも4割弱となっています。

一方、頼みたいことが「ある」という回答は、精神障がい者12.5%、知的障がい者12.2%で1割強、身体障がい者8.9%は1割弱となっています。

なお、「わからない」という回答が身体障がい者で32.1%、知的障がい者と精神障がい者では4割程度あり、回答の多くを占めています。

#### ボランティアに手助けを頼みたいこと



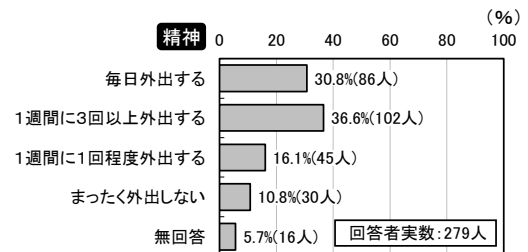
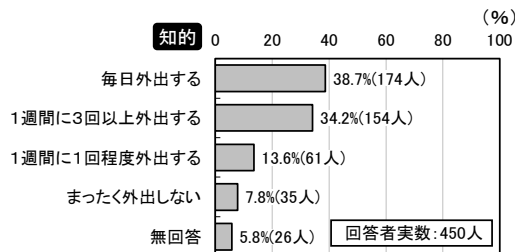
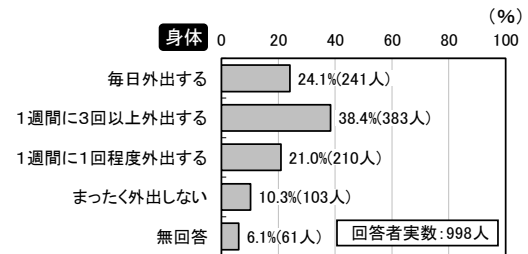
## 4. 日中活動や就労について

### (1) 外出頻度

「毎日外出する」と「1週間に3回以上外出する」を合わせると、身体障がい者が6割強、知的障がい者と精神障がい者が約7割と外出頻度が高い人が多い様子が見て取れます。

「毎日外出する」と回答した方は、身体障がい者24.1% (241人) で2割台半ば、知的障がい者38.7% (174人) では約4割、精神障がい者30.8% (86人) が3割余りとなっています。

#### 外出頻度



外出頻度を年代別にみると、身体障がい者では、10代から70代までは、「毎日外出する」と「1週間に3回以上外出する」が高く、これらを合わせた6割以上が外出に積極的となっています。「80代以上」では、「1週間に3回以上外出する」は36.3% (70人) で最も高いですが、「毎日外出する」が13.0% (25人) であり、外出に積極的な割合は5割程度となっています。

また、「まったく外出しない」が「80代以上」では15.5% (30人)、「10代」では14.3% (1人) で他の年代より高くなっています。

#### 外出頻度 (年代別)

身体	回答者実数	毎日外出する	1週間に3回以上外出する	1週間に1回程度外出する	まったく外出しない	無回答
10代	7人	28.6% (2人)	28.6% (2人)	28.6% (2人)	14.3% (1人)	0.0% (0人)
20代	45人	28.9% (13人)	44.4% (20人)	17.8% (8人)	4.4% (2人)	4.4% (2人)
30代	42人	45.2% (19人)	26.2% (11人)	16.7% (7人)	7.1% (3人)	4.8% (2人)
40代	72人	38.9% (28人)	30.6% (22人)	18.1% (13人)	9.7% (7人)	2.8% (2人)
50代	121人	36.4% (44人)	31.4% (38人)	19.0% (23人)	6.6% (8人)	6.6% (8人)
60代	210人	23.3% (49人)	42.9% (90人)	18.6% (39人)	11.0% (23人)	4.3% (9人)
70代	277人	21.3% (59人)	41.2% (114人)	19.9% (55人)	9.7% (27人)	7.9% (22人)
80代以上	193人	13.0% (25人)	36.3% (70人)	28.5% (55人)	15.5% (30人)	6.7% (13人)

知的障がい者では、「10代」から「40代」までは、「毎日外出する」と「1週間に3回以上外出する」を合わせた割合が7割を超えていますが、「50代」と「60代」では6割程度、「70代」以上では5割程度に下がります。

また、「まったく外出しない」が「60代」で23.1%（9人）、「70代」で17.4%（4人）、「80代以上」で37.5%（3人）を占めており、60代以上から外出しない割合が高くなっています。

#### 外出頻度（年代別）

知的	回答者 実数	毎日外出する	1週間に 3回以上外出する	1週間に 1回程度外出する	まったく 外出しない	無回答
10代	32人	46.9% (15人)	34.4% (11人)	15.6% (5人)	3.1% (1人)	0.0% (0人)
20代	122人	44.3% (54人)	38.5% (47人)	10.7% (13人)	3.3% (4人)	3.3% (4人)
30代	88人	42.0% (37人)	30.7% (27人)	12.5% (11人)	6.8% (6人)	8.0% (7人)
40代	82人	51.2% (42人)	28.0% (23人)	12.2% (10人)	4.9% (4人)	3.7% (3人)
50代	49人	22.4% (11人)	36.7% (18人)	22.4% (11人)	8.2% (4人)	10.2% (5人)
60代	39人	25.6% (10人)	35.9% (14人)	12.8% (5人)	23.1% (9人)	2.6% (1人)
70代	23人	8.7% (2人)	39.1% (9人)	21.7% (5人)	17.4% (4人)	13.0% (3人)
80代以上	8人	12.5% (1人)	37.5% (3人)	0.0% (0人)	37.5% (3人)	12.5% (1人)

精神障がい者では、「10代」から「40代」までは、「毎日外出する」と「1週間に3回以上外出する」を合わせた割合が7割を超えていますが、「50代」と「60代」では6割程度、「70代」以上では4割台に下がります。

また、「まったく外出しない」が「60代」で17.0%（8人）、「70代」で22.9%（8人）、「80代以上」で12.5%（2人）を占めており、60代以上から外出しない割合が高くなっています。

#### 外出頻度（年代別）

精神	回答者 実数	毎日外出する	1週間に 3回以上外出する	1週間に 1回程度外出する	まったく 外出しない	無回答
10代	8人	0.0% (0人)	75.0% (6人)	25.0% (2人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)
20代	31人	45.2% (14人)	35.5% (11人)	12.9% (4人)	3.2% (1人)	3.2% (1人)
30代	38人	34.2% (13人)	39.5% (15人)	13.2% (5人)	7.9% (3人)	5.3% (2人)
40代	43人	55.8% (24人)	25.6% (11人)	7.0% (3人)	7.0% (3人)	4.7% (2人)
50代	52人	26.9% (14人)	38.5% (20人)	23.1% (12人)	9.6% (5人)	1.9% (1人)
60代	47人	21.3% (10人)	42.6% (20人)	12.8% (6人)	17.0% (8人)	6.4% (3人)
70代	35人	8.6% (3人)	40.0% (14人)	20.0% (7人)	22.9% (8人)	8.6% (3人)
80代以上	16人	31.3% (5人)	12.5% (2人)	25.0% (4人)	12.5% (2人)	18.8% (3人)

身体障がい の部位別にみると、「毎日外出する」が最も多いのは「音声・言語・そしゃく機能障がい」のみとなっています。そのほかの部位については、いずれも「1週間に3回以上外出する」もしくは「1週間に1回程度外出する」が最も多い回答となっています。

また、「まったく外出しない」は「体幹」の28.6%（14人）と高くなっています。

外出頻度（身体障がい の部位別）

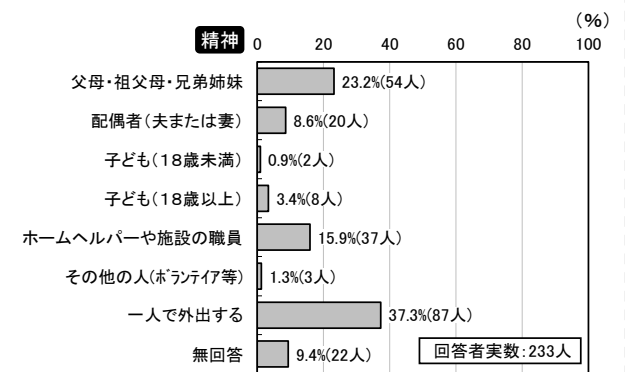
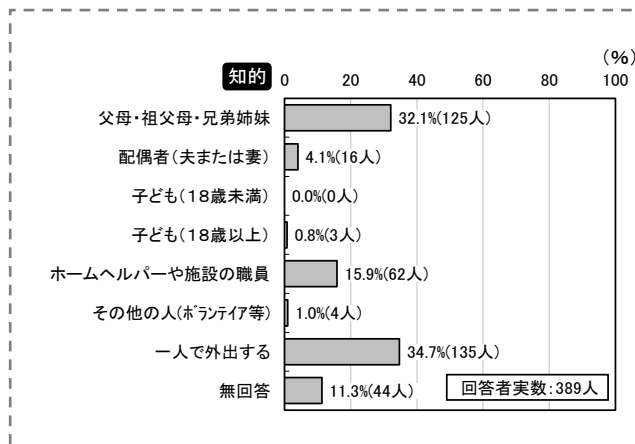
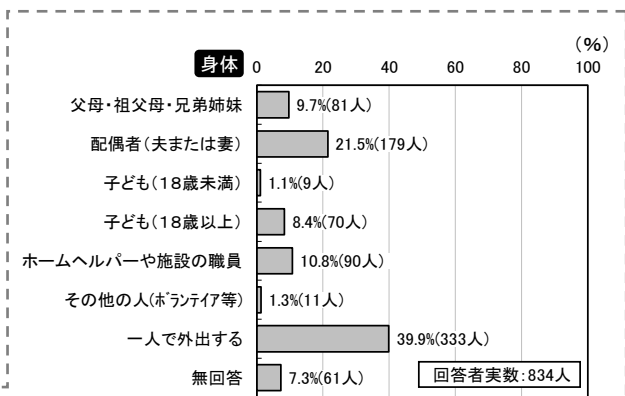
身体		回答者 実数	毎日外出する	1週間に3回 以上外出する	1週間に1回 程度外出する	まったく 外出しない	無回答
視覚障がい		60人	16.7% (10人)	35.0% (21人)	28.3% (17人)	11.7% (7人)	8.3% (5人)
聴覚又は平衡機能の障がい		91人	25.3% (23人)	48.4% (44人)	14.3% (13人)	9.9% (9人)	2.2% (2人)
音声・言語・そしゃく機能障がい		29人	34.5% (10人)	17.2% (5人)	27.6% (8人)	13.8% (4人)	6.9% (2人)
肢体不自由	上肢	39人	23.1% (9人)	35.9% (14人)	28.2% (11人)	2.6% (1人)	10.3% (4人)
	下肢	126人	17.5% (22人)	38.9% (49人)	23.8% (30人)	14.3% (18人)	5.6% (7人)
	体幹	49人	16.3% (8人)	36.7% (18人)	18.4% (9人)	28.6% (14人)	0.0% (0人)
	乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障がい	46人	26.1% (12人)	32.6% (15人)	26.1% (12人)	13.0% (6人)	2.2% (1人)
内部機能障がい		380人	30.0% (114人)	39.5% (150人)	18.2% (69人)	7.4% (28人)	5.0% (19人)

(2) 外出時の同伴者

外出すると回答した人に対し、外出する際の主な同伴者について尋ねました。

「一人で外出する」という回答が、身体障がい者39.9%（333人）、知的障がい者34.7%（135人）、精神障がい者37.3%（87人）とそれぞれ最も多く、次いで身体障がい者では「配偶者」21.5%（179人）が、知的障がい者と精神障がい者では「父母・祖父母・兄弟姉妹」が多くなっています。

外出時の同伴者



身体障がい者が外出する際の主な同伴者を年齢別にみると、30代から70代では「一人で外出する」が最も多く、20代では「ホームヘルパーや施設の職員」31.7%(13人)が、10代では「父母・祖父母・兄弟姉妹」66.7%(4人)が、80代以上は「配偶者」26.0%(39人)が最も割合が高くなっています。

外出時の同伴者（年代別）

身体	回答者 実数	父母・祖父 母・兄弟姉妹	配偶者 (夫または妻)	子ども (18歳未満)	子ども (18歳以上)	ホームヘルパーや 施設の職員	その他の人 (ボランティア等)	一人で外出 する	無回答
10代	6人	66.7% (4人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	33.3% (2人)
20代	41人	29.3% (12人)	4.9% (2人)	2.4% (1人)	2.4% (1人)	31.7% (13人)	0.0% (0人)	22.0% (9人)	7.3% (3人)
30代	37人	16.2% (6人)	5.4% (2人)	2.7% (1人)	0.0% (0人)	21.6% (8人)	2.7% (1人)	37.8% (14人)	13.5% (5人)
40代	63人	23.8% (15人)	3.2% (2人)	4.8% (3人)	3.2% (2人)	7.9% (5人)	1.6% (1人)	42.9% (27人)	12.7% (8人)
50代	105人	16.2% (17人)	15.2% (16人)	1.0% (1人)	1.9% (2人)	3.8% (4人)	1.9% (2人)	54.3% (57人)	5.7% (6人)
60代	178人	7.9% (14人)	22.5% (40人)	0.0% (0人)	3.4% (6人)	10.1% (18人)	1.7% (3人)	46.6% (83人)	7.9% (14人)
70代	228人	2.6% (6人)	32.0% (73人)	0.4% (1人)	7.9% (18人)	7.0% (16人)	0.4% (1人)	43.9% (100人)	5.7% (13人)
80代以上	150人	2.0% (3人)	26.0% (39人)	1.3% (2人)	24.7% (37人)	16.0% (24人)	2.0% (3人)	22.0% (33人)	6.0% (9人)

知的障がい者が外出する際の主な同伴者を年齢別にみると、全体的には「一人で外出する」方が多いものの、60代では「ホームヘルパーや施設の職員」34.5%(10人)が、70代と80代以上では「配偶者」が多くなっています。

外出時の同伴者（年代別）

知的	回答者 実数	父母・祖父 母・兄弟姉妹	配偶者 (夫または妻)	子ども (18歳未満)	子ども (18歳以上)	ホームヘルパーや 施設の職員	その他の人 (ボランティア等)	一人で外出 する	無回答
10代	31人	45.2% (14人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	6.5% (2人)	3.2% (1人)	25.8% (8人)	19.4% (6人)
20代	114人	28.9% (33人)	2.6% (3人)	0.0% (0人)	0.9% (1人)	16.7% (19人)	0.9% (1人)	37.7% (43人)	12.3% (14人)
30代	75人	32.0% (24人)	6.7% (5人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	17.3% (13人)	1.3% (1人)	33.3% (25人)	9.3% (7人)
40代	75人	34.7% (26人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	13.3% (10人)	0.0% (0人)	38.7% (29人)	13.3% (10人)
50代	40人	40.0% (16人)	2.5% (1人)	0.0% (0人)	2.5% (1人)	7.5% (3人)	2.5% (1人)	37.5% (15人)	7.5% (3人)
60代	29人	24.1% (7人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	34.5% (10人)	0.0% (0人)	27.6% (8人)	13.8% (4人)
70代	16人	12.5% (2人)	31.3% (5人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	18.8% (3人)	0.0% (0人)	37.5% (6人)	0.0% (0人)
80代以上	4人	0.0% (0人)	50.0% (2人)	0.0% (0人)	25.0% (1人)	25.0% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)

精神障がい者では、30代から60代まで「一人で外出する」の割合が最も高くなっています。

精神障がい者が外出する際の主な同伴者を年齢別にみると、全体的には「一人で外出する」が多いものの、10代から50代では「父母・祖父母・兄弟姉妹」も比較的に多く、また、70代と80代以上では「配偶者」も多くなっています。

#### 外出時の同伴者（年代別）

精神	回答者 実数	父母・祖父 母・兄弟姉妹	配偶者 (夫または妻)	子ども (18歳未満)	子ども (18歳以上)	ホームパ-や 施設の職員	その他の人 (ボランティア等)	一人で外出 する	無回答
10代	8人	50.0% (4人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	12.5% (1人)	37.5% (3人)
20代	29人	37.9% (11人)	0.0% (0人)	3.4% (1人)	0.0% (0人)	24.1% (7人)	3.4% (1人)	24.1% (7人)	6.9% (2人)
30代	33人	27.3% (9人)	3.0% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	15.2% (5人)	0.0% (0人)	36.4% (12人)	18.2% (6人)
40代	38人	28.9% (11人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	18.4% (7人)	0.0% (0人)	47.4% (18人)	5.3% (2人)
50代	46人	21.7% (10人)	8.7% (4人)	0.0% (0人)	6.5% (3人)	13.0% (6人)	2.2% (1人)	41.3% (19人)	6.5% (3人)
60代	36人	11.1% (4人)	8.3% (3人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	19.4% (7人)	2.8% (1人)	44.4% (16人)	13.9% (5人)
70代	24人	8.3% (2人)	37.5% (9人)	0.0% (0人)	4.2% (1人)	12.5% (3人)	0.0% (0人)	37.5% (9人)	0.0% (0人)
80代以上	11人	9.1% (1人)	18.2% (2人)	9.1% (1人)	18.2% (2人)	18.2% (2人)	0.0% (0人)	18.2% (2人)	9.1% (1人)

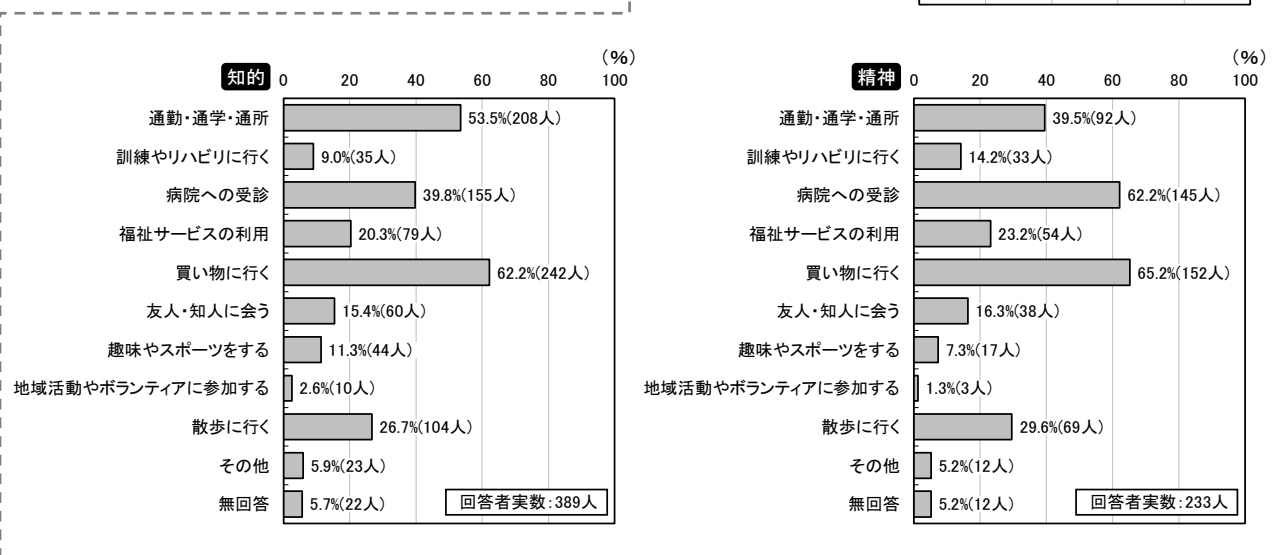
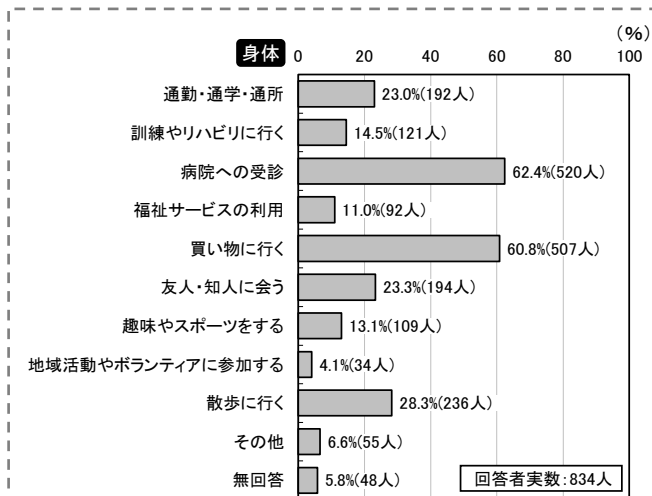


### (3) 外出の目的（複数回答）

外出すると回答した人に対し、外出の目的を尋ねました。

身体障がい者、精神障がい者では「病院への受診」と「買い物に行く」がともに60%以上で、これら2つの割合が特に高くなっています。また、精神障がい者においては「通勤・通学・通所」39.5%（92人）もやや多い傾向があります。知的障がい者では、「買い物に行く」62.2%（242人）と「通勤・通学・通所」53.5%（208人）の2つが特に高く、次いで「病院への受診」39.8%（155人）となっています。

外出の目的



外出の目的を年代別にみると、身体障がい者では「買い物に行く」が全ての年代に共通して多い傾向があり、60代以上では「病院への受診」が最も多い外出の目的となっています。

#### 外出の目的（年代別）

身体	回答者実数	通勤・通学・通所	訓練やリハビリに行く	病院への受診	福祉サービスの利用	買い物に行く	友人・知人に会う	趣味やスポーツをする	地域活動やボランティアに参加する	散歩に行く	その他	無回答
10代	6人	33.3% (2人)	66.7% (4人)	33.3% (2人)	16.7% (1人)	50.0% (3人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	50.0% (3人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)
20代	41人	58.5% (24人)	19.5% (8人)	43.9% (18人)	31.7% (13人)	53.7% (22人)	24.4% (10人)	22.0% (9人)	2.4% (1人)	24.4% (10人)	9.8% (4人)	7.3% (3人)
30代	37人	48.6% (18人)	5.4% (2人)	45.9% (17人)	18.9% (7人)	43.2% (16人)	18.9% (7人)	10.8% (4人)	0.0% (0人)	32.4% (12人)	10.8% (4人)	8.1% (3人)
40代	63人	44.4% (28人)	7.9% (5人)	44.4% (28人)	7.9% (5人)	65.1% (41人)	22.2% (14人)	11.1% (7人)	3.2% (2人)	20.6% (13人)	4.8% (3人)	6.3% (4人)
50代	105人	41.9% (44人)	6.7% (7人)	62.9% (66人)	9.5% (10人)	75.2% (79人)	24.8% (26人)	9.5% (10人)	4.8% (5人)	22.9% (24人)	6.7% (7人)	4.8% (5人)
60代	178人	24.7% (44人)	16.9% (30人)	66.3% (118人)	8.4% (15人)	62.4% (111人)	26.4% (47人)	14.0% (25人)	3.4% (6人)	28.1% (50人)	6.2% (11人)	5.1% (9人)
70代	228人	10.1% (23人)	13.6% (31人)	71.1% (162人)	6.6% (15人)	62.7% (143人)	26.8% (61人)	15.8% (36人)	4.4% (10人)	34.2% (78人)	6.6% (15人)	5.3% (12人)
80代以上	150人	3.3% (5人)	19.3% (29人)	62.0% (93人)	16.0% (24人)	51.3% (77人)	16.0% (24人)	12.0% (18人)	6.7% (10人)	26.0% (39人)	7.3% (11人)	6.0% (9人)

外出の目的を年代別にみると、知的障がい者では、「通勤・通学・通所」と「買い物に行く」が10代から70代の各年代に共通して多い傾向があります。また、50代以上では「病院への受診」が増加しています。

#### 外出の目的（年代別）

知的	回答者実数	通勤・通学・通所	訓練やリハビリに行く	病院への受診	福祉サービスの利用	買い物に行く	友人・知人に会う	趣味やスポーツをする	地域活動やボランティアに参加する	散歩に行く	その他	無回答
10代	31人	71.0% (22人)	12.9% (4人)	29.0% (9人)	12.9% (4人)	51.6% (16人)	25.8% (8人)	16.1% (5人)	0.0% (0人)	25.8% (8人)	9.7% (3人)	0.0% (0人)
20代	114人	63.2% (72人)	7.9% (9人)	36.8% (42人)	26.3% (30人)	63.2% (72人)	16.7% (19人)	14.9% (17人)	1.8% (2人)	21.9% (25人)	7.0% (8人)	6.1% (7人)
30代	75人	53.3% (40人)	9.3% (7人)	37.3% (28人)	22.7% (17人)	57.3% (43人)	16.0% (12人)	13.3% (10人)	1.3% (1人)	34.7% (26人)	5.3% (4人)	4.0% (3人)
40代	75人	46.7% (35人)	5.3% (4人)	37.3% (28人)	12.0% (9人)	60.0% (45人)	14.7% (11人)	5.3% (4人)	4.0% (3人)	28.0% (21人)	5.3% (4人)	9.3% (7人)
50代	40人	42.5% (17人)	5.0% (2人)	52.5% (21人)	22.5% (9人)	75.0% (30人)	15.0% (6人)	5.0% (2人)	5.0% (2人)	22.5% (9人)	5.0% (2人)	5.0% (2人)
60代	29人	48.3% (14人)	20.7% (6人)	51.7% (15人)	20.7% (6人)	62.1% (18人)	6.9% (2人)	20.7% (6人)	3.4% (1人)	24.1% (7人)	3.4% (1人)	10.3% (3人)
70代	16人	25.0% (4人)	18.8% (3人)	50.0% (8人)	6.3% (1人)	75.0% (12人)	6.3% (1人)	0.0% (0人)	6.3% (1人)	37.5% (6人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)
80代以上	4人	0.0% (0人)	0.0% (0人)	50.0% (2人)	25.0% (1人)	75.0% (3人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	25.0% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)

外出の目的を年代別にみると、精神障がい者では、「病院への受診」と「買い物に行く」が、全ての年代に共通して多い傾向があります。

外出の目的（年代別）

精神	回答者実数	通勤・通学・通所	訓練やリハビリに行く	病院への受診	福祉サービスの利用	買い物に行く	友人・知人に会う	趣味やスポーツをする	地域活動やボランティアに参加する	散歩に行く	その他	無回答
10代	8人	75.0% (6人)	50.0% (4人)	50.0% (4人)	12.5% (1人)	50.0% (4人)	12.5% (1人)	12.5% (1人)	0.0% (0人)	62.5% (5人)	12.5% (1人)	0.0% (0人)
20代	29人	62.1% (18人)	13.8% (4人)	65.5% (19人)	31.0% (9人)	72.4% (21人)	24.1% (7人)	17.2% (5人)	0.0% (0人)	31.0% (9人)	3.4% (1人)	0.0% (0人)
30代	33人	51.5% (17人)	9.1% (3人)	54.5% (18人)	30.3% (10人)	51.5% (17人)	9.1% (3人)	6.1% (2人)	0.0% (0人)	36.4% (12人)	9.1% (3人)	6.1% (2人)
40代	38人	39.5% (15人)	13.2% (5人)	55.3% (21人)	15.8% (6人)	71.1% (27人)	18.4% (7人)	2.6% (1人)	0.0% (0人)	26.3% (10人)	7.9% (3人)	7.9% (3人)
50代	46人	41.3% (19人)	8.7% (4人)	60.9% (28人)	19.6% (9人)	76.1% (35人)	13.0% (6人)	4.3% (2人)	2.2% (1人)	21.7% (10人)	6.5% (3人)	4.3% (2人)
60代	36人	30.6% (11人)	13.9% (5人)	69.4% (25人)	33.3% (12人)	55.6% (20人)	8.3% (3人)	5.6% (2人)	2.8% (1人)	25.0% (9人)	2.8% (1人)	11.1% (4人)
70代	24人	4.2% (1人)	16.7% (4人)	83.3% (20人)	16.7% (4人)	66.7% (16人)	29.2% (7人)	4.2% (1人)	4.2% (1人)	33.3% (8人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)
80代以上	11人	18.2% (2人)	36.4% (4人)	63.6% (7人)	18.2% (2人)	54.5% (6人)	27.3% (3人)	27.3% (3人)	0.0% (0人)	36.4% (4人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)

外出の目的を暮らしの状況別にみると、身体障がい者では、「病院への受診」の割合が高くなっています。また、病院に入院している人以外では、「買い物に行く」の割合が高くなっています。

外出の目的（暮らしの状況別）

身体	回答者実数	通勤・通学・通所	訓練やリハビリに行く	病院への受診	福祉サービスの利用	買い物に行く	友人・知人に会う	趣味やスポーツをする	地域活動やボランティアに参加する	散歩に行く	その他	無回答
一人で暮らしている	173人	18.5% (32人)	15.6% (27人)	61.8% (107人)	8.1% (14人)	70.5% (122人)	26.6% (46人)	14.5% (25人)	5.2% (9人)	31.8% (55人)	6.4% (11人)	5.2% (9人)
家族と暮らしている	606人	24.9% (151人)	14.2% (86人)	62.9% (381人)	11.6% (70人)	58.4% (354人)	22.8% (138人)	13.0% (79人)	4.0% (24人)	26.6% (161人)	6.9% (42人)	5.9% (36人)
グループホームで暮らしている	14人	42.9% (6人)	14.3% (2人)	50.0% (7人)	28.6% (4人)	42.9% (6人)	7.1% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	21.4% (3人)	0.0% (0人)	7.1% (1人)
病院に入院している	2人	0.0% (0人)	0.0% (0人)	50.0% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	50.0% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)
その他	26人	11.5% (3人)	15.4% (4人)	61.5% (16人)	15.4% (4人)	65.4% (17人)	23.1% (6人)	11.5% (3人)	3.8% (1人)	46.2% (12人)	7.7% (2人)	3.8% (1人)

外出の目的を暮らしの状況別にみると、知的障がい者では、「買い物に行く」、「通勤・通学・通所」、「病院への受診」の割合が高く、「買い物に行く」は一人で暮らしている人90.5% (19人)で、「通勤・通学・通所」はグループホームで暮らしている人58.1% (18人)と家族と暮らしている人55.3% (178人)で特に高く、「病院への受診」は病院に入院している人以外で約4割となっています。

外出の目的（暮らしの状況別）

知的	回答者実数	通勤・通学・通所	訓練やリハビリに行く	病院への受診	福祉サービスの利用	買い物に行く	友人・知人に会う	趣味やスポーツをする	地域活動やボランティアに参加する	散歩に行く	その他	無回答
一人で暮らしている	21人	28.6% (6人)	19.0% (4人)	42.9% (9人)	4.8% (1人)	90.5% (19人)	19.0% (4人)	9.5% (2人)	4.8% (1人)	23.8% (5人)	0.0% (0人)	4.8% (1人)
家族と暮らしている	322人	55.3% (178人)	8.1% (26人)	40.4% (130人)	21.1% (68人)	62.4% (201人)	16.5% (53人)	12.1% (39人)	2.5% (8人)	25.8% (83人)	7.1% (23人)	4.7% (15人)
グループホームで暮らしている	31人	58.1% (18人)	12.9% (4人)	41.9% (13人)	25.8% (8人)	51.6% (16人)	9.7% (3人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	35.5% (11人)	0.0% (0人)	9.7% (3人)
病院に入院している	1人	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	100.0% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)
その他	6人	16.7% (1人)	0.0% (0人)	33.3% (2人)	16.7% (1人)	16.7% (1人)	0.0% (0人)	16.7% (1人)	0.0% (0人)	50.0% (3人)	0.0% (0人)	33.3% (2人)

外出の目的を暮らしの状況別にみると、精神障がい者では、病院に入院している人以外で「病院への受診」と「買い物に行く」が高い割合となっています。

外出の目的（暮らしの状況別）

精神	回答者実数	通勤・通学・通所	訓練やリハビリに行く	病院への受診	福祉サービスの利用	買い物に行く	友人・知人に会う	趣味やスポーツをする	地域活動やボランティアに参加する	散歩に行く	その他	無回答
一人で暮らしている	44人	20.5% (9人)	18.2% (8人)	56.8% (25人)	22.7% (10人)	79.5% (35人)	22.7% (10人)	6.8% (3人)	2.3% (1人)	38.6% (17人)	2.3% (1人)	2.3% (1人)
家族と暮らしている	158人	43.7% (69人)	13.9% (22人)	63.9% (101人)	21.5% (34人)	62.7% (99人)	15.8% (25人)	8.2% (13人)	1.3% (2人)	28.5% (45人)	7.0% (11人)	5.1% (8人)
グループホームで暮らしている	25人	52.0% (13人)	12.0% (3人)	60.0% (15人)	36.0% (9人)	56.0% (14人)	8.0% (2人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	16.0% (4人)	0.0% (0人)	12.0% (3人)
病院に入院している	0人	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)
その他	4人	25.0% (1人)	0.0% (0人)	50.0% (2人)	25.0% (1人)	50.0% (2人)	0.0% (0人)	25.0% (1人)	0.0% (0人)	75.0% (3人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)

#### (4) 外出時に困ること（複数回答）

身体障がい者では、「道路に階段や段差が多い」22.1% (184人)や「障がい者用の駐車スペースへの不満(少ない、健常者が止めている)」18.5% (154人)といったバリアフリーに関する困り事が多く、また、「外出にお金がかかる」18.3% (153人)という回答も2割弱ありました。

知的障がい者では「困った時にどうすればいいのか心配」33.9% (132人)が最も多く、次いで「公共交通機関が少ない(ない)」21.6% (84人)、「外出にお金がかかる」20.6% (80人)の割合が高くなっています。

精神障がい者では「困った時にどうすればいいのか心配」29.2% (68人)が最も多く、次いで「外出にお金がかかる」27.5% (64人)、「発作など突然の身体の変化が心配」23.2% (54人)の割合が高くなっています。

##### 外出時に困ること

	身体 (834人)	知的 (389人)	精神 (233人)
公共交通機関が少ない(ない)	15.7% (131人)	21.6% (84人)	20.6% (48人)
バスの乗り降りが困難	10.4% (87人)	8.2% (32人)	9.4% (22人)
障がい者用の駐車スペースへの不満(少ない、健常者が止めている)	18.5% (154人)	8.7% (34人)	9.0% (21人)
道路に階段や段差が多い	22.1% (184人)	10.5% (41人)	16.3% (38人)
外出先の建物の設備が不便(通路、トイレ、エレベーターなど)	12.6% (105人)	8.7% (34人)	13.3% (31人)
介助者が確保できない	6.4% (53人)	8.7% (34人)	8.6% (20人)
外出にお金がかかる	18.3% (153人)	20.6% (80人)	27.5% (64人)
周囲の目が気になる	7.4% (62人)	15.7% (61人)	17.2% (40人)
発作など突然の身体の変化が心配	16.3% (136人)	12.6% (49人)	23.2% (54人)
困った時にどうすればいいのか心配	15.8% (132人)	33.9% (132人)	29.2% (68人)
その他	10.6% (88人)	10.0% (39人)	8.6% (20人)
無回答	23.6% (197人)	25.4% (99人)	17.6% (41人)

外出に困ることを年代別にみると、身体障がい者の10代、20代、50代、60代では「障がい者用の駐車スペースへの不満(少ない、健常者が止めている)」の割合が比較的高く2割を超えています。また、「道路に階段や段差が多い」は、すべての年代に共通して比較的高い割合となっています。

外出時に困ること（年代別）

身体	回答者実数	公共交通機関が少ない(ない)	バスの乗り降りが困難	障がい者用の駐車スペースへの不満(少ない、健常者が止めている)	道路に階段や段差が多い	外出先の建物の設備が不便(通路、トイレ、エレベーターなど)	介助者が確保できない	外出にお金がかかる	周囲の目が気になる	発作など突然の身体の変化が心配	困った時にどうすればいいの心配	その他	無回答
10代	6人	16.7% (1人)	16.7% (1人)	33.3% (2人)	66.7% (4人)	33.3% (2人)	50.0% (3人)	0.0% (0人)	16.7% (1人)	16.7% (1人)	33.3% (2人)	0.0% (0人)	16.7% (1人)
20代	41人	17.1% (7人)	7.3% (3人)	26.8% (11人)	22.0% (9人)	17.1% (7人)	19.5% (8人)	14.6% (6人)	14.6% (6人)	24.4% (10人)	24.4% (10人)	14.6% (6人)	24.4% (10人)
30代	37人	21.6% (8人)	2.7% (1人)	8.1% (3人)	21.6% (8人)	24.3% (9人)	5.4% (2人)	16.2% (6人)	16.2% (6人)	27.0% (10人)	27.0% (10人)	2.7% (1人)	16.2% (6人)
40代	63人	15.9% (10人)	11.1% (7人)	15.9% (10人)	23.8% (15人)	9.5% (6人)	0.0% (0人)	20.6% (13人)	20.6% (13人)	14.3% (9人)	19.0% (12人)	14.3% (9人)	14.3% (9人)
50代	105人	18.1% (19人)	8.6% (9人)	26.7% (28人)	19.0% (20人)	8.6% (9人)	5.7% (6人)	21.9% (23人)	11.4% (12人)	18.1% (19人)	19.0% (20人)	7.6% (8人)	26.7% (28人)
60代	178人	15.2% (27人)	10.1% (18人)	20.8% (37人)	23.0% (41人)	12.4% (22人)	4.5% (8人)	20.2% (36人)	3.9% (7人)	14.0% (25人)	14.0% (25人)	10.7% (19人)	21.9% (39人)
70代	228人	14.5% (33人)	11.0% (25人)	18.9% (43人)	23.7% (54人)	14.0% (32人)	5.7% (13人)	18.0% (41人)	3.9% (9人)	16.7% (38人)	10.5% (24人)	12.7% (29人)	22.4% (51人)
80代以上	150人	14.7% (22人)	13.3% (20人)	12.0% (18人)	21.3% (32人)	10.7% (16人)	8.7% (13人)	13.3% (20人)	5.3% (8人)	14.7% (22人)	17.3% (26人)	9.3% (14人)	29.3% (44人)

外出に困ることを年代別にみると、知的障がい者では、10代から60代の各年代で「困った時にどうすればいいのか心配」が、70代では、「道路に階段や段差が多い」31.3%(5人)が最も多くなっています。

外出時に困ること（年代別）

知的	回答者実数	公共交通機関が少ない(ない)	バスの乗り降りが困難	障がい者用の駐車スペースへの不満(少ない、健常者が止めている)	道路に階段や段差が多い	外出先の建物の設備が不便(通路、トイレ、エレベーターなど)	介助者が確保できない	外出にお金がかかる	周囲の目が気になる	発作など突然の身体の変化が心配	困った時にどうすればいいのか心配	その他	無回答
10代	31人	29.0% (9人)	12.9% (4人)	9.7% (3人)	16.1% (5人)	6.5% (2人)	16.1% (5人)	22.6% (7人)	22.6% (7人)	6.5% (2人)	58.1% (18人)	16.1% (5人)	9.7% (3人)
20代	114人	20.2% (23人)	6.1% (7人)	8.8% (10人)	10.5% (12人)	7.9% (9人)	9.6% (11人)	19.3% (22人)	20.2% (23人)	13.2% (15人)	30.7% (35人)	12.3% (14人)	28.1% (32人)
30代	75人	20.0% (15人)	6.7% (5人)	10.7% (8人)	6.7% (5人)	17.3% (13人)	9.3% (7人)	18.7% (14人)	14.7% (11人)	21.3% (16人)	38.7% (29人)	8.0% (6人)	20.0% (15人)
40代	75人	24.0% (18人)	4.0% (3人)	5.3% (4人)	6.7% (5人)	4.0% (3人)	6.7% (5人)	24.0% (18人)	16.0% (12人)	9.3% (7人)	30.7% (23人)	9.3% (7人)	25.3% (19人)
50代	40人	22.5% (9人)	20.0% (8人)	15.0% (6人)	10.0% (4人)	5.0% (2人)	5.0% (2人)	17.5% (7人)	15.0% (6人)	12.5% (5人)	35.0% (14人)	7.5% (3人)	35.0% (14人)
60代	29人	17.2% (5人)	10.3% (3人)	0.0% (0人)	17.2% (5人)	10.3% (3人)	10.3% (3人)	17.2% (5人)	6.9% (2人)	6.9% (2人)	31.0% (9人)	3.4% (1人)	34.5% (10人)
70代	16人	25.0% (4人)	12.5% (2人)	12.5% (2人)	31.3% (5人)	12.5% (2人)	6.3% (1人)	25.0% (4人)	0.0% (0人)	6.3% (1人)	18.8% (3人)	6.3% (1人)	18.8% (3人)
80代以上	4人	0.0% (0人)	0.0% (0人)	25.0% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	50.0% (2人)	0.0% (0人)	25.0% (1人)	0.0% (0人)	25.0% (1人)	25.0% (1人)



外出に困ることを年代別にみると、精神障がい者では、10代、20代、30代で「困った時にどうすればいいのか心配」が、40代、50代、60代、70代では「外出にお金がかかる」、80代以上では「道路に段差や階段が多い」が最も多くなっています。

外出時に困ること（年代別）

精神	回答者実数	公共交通機関が少ない（ない）	バスの乗り降りが困難	障がい者用の駐車スペースへの不満（少ない、健常者が止めている）	道路に階段や段差が多い	外出先の建物の設備が不便（通路、トイレ、エレベーターなど）	介助者が確保できない	外出にお金がかかる	周囲の目が気になる	発作など突然の身体の変化が心配	困った時にどうすればいいのか心配	その他	無回答
10代	8人	12.5% (1人)	12.5% (1人)	25.0% (2人)	37.5% (3人)	25.0% (2人)	37.5% (3人)	12.5% (1人)	12.5% (1人)	12.5% (1人)	62.5% (5人)	12.5% (1人)	0.0% (0人)
20代	29人	20.7% (6人)	10.3% (3人)	13.8% (4人)	24.1% (7人)	6.9% (2人)	13.8% (4人)	24.1% (7人)	34.5% (10人)	37.9% (11人)	48.3% (14人)	3.4% (1人)	6.9% (2人)
30代	33人	18.2% (6人)	3.0% (1人)	9.1% (3人)	9.1% (3人)	27.3% (9人)	12.1% (4人)	27.3% (9人)	27.3% (9人)	39.4% (13人)	45.5% (15人)	3.0% (1人)	12.1% (4人)
40代	38人	28.9% (11人)	10.5% (4人)	7.9% (3人)	10.5% (4人)	15.8% (6人)	2.6% (1人)	31.6% (12人)	21.1% (8人)	26.3% (10人)	21.1% (8人)	13.2% (5人)	15.8% (6人)
50代	46人	26.1% (12人)	13.0% (6人)	8.7% (4人)	19.6% (9人)	6.5% (3人)	6.5% (3人)	37.0% (17人)	19.6% (9人)	19.6% (9人)	21.7% (10人)	6.5% (3人)	21.7% (10人)
60代	36人	8.3% (3人)	11.1% (4人)	5.6% (2人)	13.9% (5人)	11.1% (4人)	8.3% (3人)	22.2% (8人)	8.3% (3人)	16.7% (6人)	19.4% (7人)	8.3% (3人)	22.2% (8人)
70代	24人	25.0% (6人)	4.2% (1人)	8.3% (2人)	16.7% (4人)	12.5% (3人)	4.2% (1人)	29.2% (7人)	0.0% (0人)	12.5% (3人)	12.5% (3人)	16.7% (4人)	25.0% (6人)
80代以上	11人	18.2% (2人)	18.2% (2人)	9.1% (1人)	27.3% (3人)	9.1% (1人)	9.1% (1人)	18.2% (2人)	0.0% (0人)	9.1% (1人)	18.2% (2人)	9.1% (1人)	36.4% (4人)

### (5) 今後してみたい活動（複数回答）

今後してみたい活動については、「旅行」が最も多く、次いで「コンサートや映画鑑賞、スポーツ観戦」、「学習や趣味の活動」の順となっており、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者で大きな傾向の差は見られません。

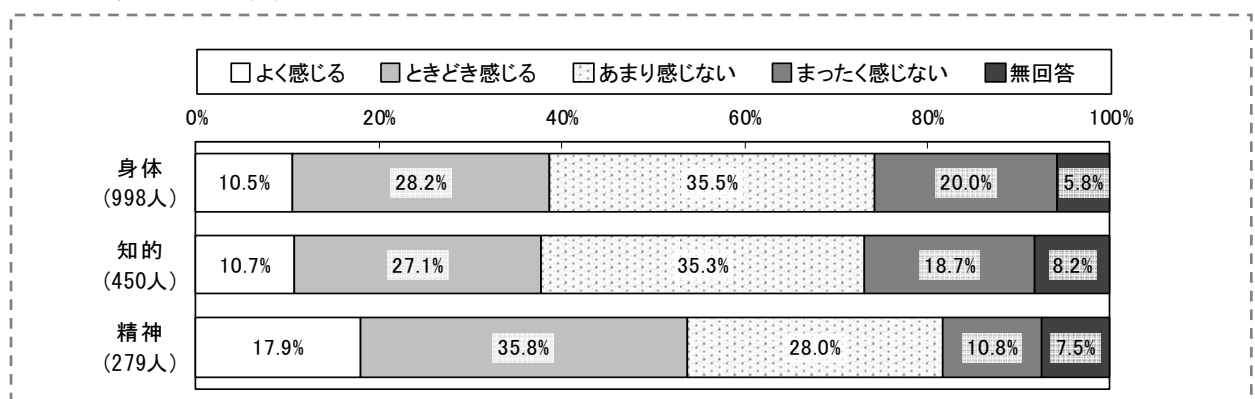
#### 今後してみたい活動

	身体 (998人)	知的 (450人)	精神 (279人)
コンサートや映画鑑賞、スポーツ観戦	29.4% (293人)	37.6% (169人)	34.1% (95人)
スポーツ活動	11.9% (119人)	17.8% (80人)	14.3% (40人)
旅行	41.5% (414人)	47.1% (212人)	42.3% (118人)
学習や趣味の活動	22.4% (224人)	20.2% (91人)	24.7% (69人)
ボランティアなどの社会貢献活動	5.5% (55人)	6.0% (27人)	6.8% (19人)
自治会など地域での交流	11.1% (111人)	8.2% (37人)	9.0% (25人)
障害者団体や家族の会などの活動	6.3% (63人)	9.3% (42人)	10.8% (30人)
SNS上のコミュニティなどオンラインでの活動	3.4% (34人)	5.1% (23人)	6.8% (19人)
その他	8.6% (86人)	5.6% (25人)	8.6% (24人)
無回答	24.1% (241人)	21.6% (97人)	20.8% (58人)

### (6) 日常生活のなかで、孤独と感じたこと

日常生活のなかで、孤独と感じたことについて、「よく感じる」と「ときどき感じる」を合わせた「孤独を感じたことがある」人は、精神障がい者53.7%、身体障がい者38.7%、知的障がい者37.8%となっています。

#### 日常生活のなかで、孤独と感じたこと



## (7) 日中の過ごし方

身体障がい者では「自宅で過ごしている」36.5%(364人)が最も多く、次いで「会社勤めや自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」15.0%(150人)、「障がい者の福祉サービス、就労支援事業所を利用している」11.0%(110人)の順となっています。

知的障がい者では「障がい者の福祉サービス、就労支援事業所を利用している」41.1%(185人)が最も多く、次いで「会社勤めや自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」20.2%(91人)、「自宅で過ごしている」14.9%(67人)の順となっています。

精神障がい者では「障がい者の福祉サービス、就労支援事業所を利用している」40.9%(114人)が最も多く、次いで「自宅で過ごしている」20.1%(56人)、「会社勤めや自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」7.2%(20人)の順となっています。

### 日中の過ごし方

	身体 (998人)	知的 (450人)	精神 (279人)
会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている	15.0% (150人)	20.2% (91人)	7.2% (20人)
ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている	0.6% (6人)	0.4% (2人)	0.7% (2人)
専業主婦(主夫)をしている	7.1% (71人)	1.3% (6人)	1.8% (5人)
障がい者の福祉サービス・就労支援事業所を利用している	11.0% (110人)	41.1% (185人)	40.9% (114人)
介護保険のサービスを利用している	3.8% (38人)	1.3% (6人)	1.8% (5人)
病院などのデイケアに通っている	2.5% (25人)	1.1% (5人)	3.2% (9人)
リハビリテーションを受けている	3.2% (32人)	0.4% (2人)	1.1% (3人)
自宅で過ごしている	36.5% (364人)	14.9% (67人)	20.1% (56人)
入所している施設や病院等で過ごしている	4.9% (49人)	4.7% (21人)	7.2% (20人)
大学、専門学校に通っている	0.0% (0人)	0.2% (1人)	0.4% (1人)
その他	4.0% (40人)	4.4% (20人)	3.6% (10人)
無回答	11.3% (113人)	9.8% (44人)	12.2% (34人)

日中の過ごし方を年代別にみると、身体障がい者の10代、20代、30代では「障がい者の福祉サービス・就労支援事業所を利用している」が、40代、50代では「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」が、60代以上では「自宅で過ごしている」が、それぞれ最も多くなっています。

日中の過ごし方（年代別）

身体	回答者実数	会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている	ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている	専業主婦(主夫)をしている	障がい者の福祉サービス・就労支援事業所を利用している	介護保険のサービスを利用している	病院などのデイケアに通っている	リハビリテーションを受けている	自宅で過ごしている	入所している施設や病院等で過ごしている	大学、専門学校に通っている	その他	無回答
10代	7人	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	85.7% (6人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	14.3% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)
20代	45人	33.3% (15人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	55.6% (25人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	4.4% (2人)	0.0% (0人)	2.2% (1人)	4.4% (2人)
30代	42人	28.6% (12人)	0.0% (0人)	2.4% (1人)	38.1% (16人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	9.5% (4人)	9.5% (4人)	0.0% (0人)	2.4% (1人)	9.5% (4人)
40代	72人	33.3% (24人)	0.0% (0人)	2.8% (2人)	22.2% (16人)	1.4% (1人)	1.4% (1人)	1.4% (1人)	23.6% (17人)	2.8% (2人)	0.0% (0人)	4.2% (3人)	6.9% (5人)
50代	121人	31.4% (38人)	0.0% (0人)	6.6% (8人)	16.5% (20人)	0.0% (0人)	2.5% (3人)	0.8% (1人)	25.6% (31人)	3.3% (4人)	0.0% (0人)	1.7% (2人)	11.6% (14人)
60代	210人	18.1% (38人)	0.5% (1人)	6.7% (14人)	8.6% (18人)	1.9% (4人)	2.4% (5人)	1.4% (3人)	39.5% (83人)	6.2% (13人)	0.0% (0人)	5.2% (11人)	9.5% (20人)
70代	277人	7.2% (20人)	0.4% (1人)	11.6% (32人)	1.4% (4人)	4.7% (13人)	2.5% (7人)	6.5% (18人)	45.1% (125人)	3.2% (9人)	0.0% (0人)	4.7% (13人)	12.6% (35人)
80代以上	193人	0.0% (0人)	1.6% (3人)	6.7% (13人)	0.5% (1人)	10.4% (20人)	3.6% (7人)	4.1% (8人)	47.7% (92人)	6.7% (13人)	0.0% (0人)	4.7% (9人)	14.0% (27人)

日中の過ごし方を年代別にみると、知的障がい者の10代から60代では「障がい者の福祉サービス・就労支援事業所を利用している」が、70代と80代以上では「自宅で過ごしている」が、それぞれ最も多くなっています。

日中の過ごし方（年代別）

知的	回答者実数	会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている	ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている	専業主婦(主夫)をしている	障がい者の福祉サービス・就労支援事業所を利用している	介護保険のサービスを利用している	病院などのデイケアに通っている	リハビリテーションを受けている	自宅で過ごしている	入所している施設や病院等で過ごしている	大学、専門学校に通っている	その他	無回答
10代	32人	9.4% (3人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	43.8% (14人)	3.1% (1人)	3.1% (1人)	0.0% (0人)	9.4% (3人)	3.1% (1人)	3.1% (1人)	18.8% (6人)	6.3% (2人)
20代	122人	35.2% (43人)	0.0% (0人)	0.8% (1人)	47.5% (58人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	4.9% (6人)	2.5% (3人)	0.0% (0人)	1.6% (2人)	7.4% (9人)
30代	88人	19.3% (17人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	44.3% (39人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	15.9% (14人)	4.5% (4人)	0.0% (0人)	5.7% (5人)	10.2% (9人)
40代	82人	18.3% (15人)	0.0% (0人)	1.2% (1人)	40.2% (33人)	0.0% (0人)	1.2% (1人)	0.0% (0人)	19.5% (16人)	2.4% (2人)	0.0% (0人)	4.9% (4人)	12.2% (10人)
50代	49人	12.2% (6人)	0.0% (0人)	4.1% (2人)	40.8% (20人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	22.4% (11人)	4.1% (2人)	0.0% (0人)	2.0% (1人)	14.3% (7人)
60代	39人	10.3% (4人)	2.6% (1人)	2.6% (1人)	38.5% (15人)	2.6% (1人)	2.6% (1人)	5.1% (2人)	12.8% (5人)	12.8% (5人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	10.3% (4人)
70代	23人	4.3% (1人)	0.0% (0人)	4.3% (1人)	13.0% (3人)	8.7% (2人)	8.7% (2人)	0.0% (0人)	30.4% (7人)	13.0% (3人)	0.0% (0人)	8.7% (2人)	8.7% (2人)
80代以上	8人	0.0% (0人)	12.5% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	25.0% (2人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	37.5% (3人)	12.5% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	12.5% (1人)

日中の過ごし方を年代別にみると、精神障がい者の10代から60代では「障がいの福祉サービス・就労支援事業所を利用している」が、70代と80代以上では「自宅で過ごしている」が、それぞれ最も多くなっています。

日中の過ごし方（年代別）

精神	回答者実数	会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている	ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている	専業主婦(主夫)をしている	障がいの福祉サービス・就労支援事業所を利用している	介護保険のサービスを利用している	病院などのデイケアに通っている	リハビリテーションを受けている	自宅で過ごしている	入所している施設や病院等で過ごしている	大学、専門学校に通っている	その他	無回答
10代	8人	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	62.5% (5人)	12.5% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	12.5% (1人)	12.5% (1人)	0.0% (0人)
20代	31人	19.4% (6人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	58.1% (18人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	16.1% (5人)	3.2% (1人)	0.0% (0人)	3.2% (1人)	0.0% (0人)
30代	38人	2.6% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	55.3% (21人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	18.4% (7人)	5.3% (2人)	0.0% (0人)	2.6% (1人)	15.8% (6人)
40代	43人	9.3% (4人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	58.1% (25人)	0.0% (0人)	2.3% (1人)	0.0% (0人)	14.0% (6人)	4.7% (2人)	0.0% (0人)	2.3% (1人)	9.3% (4人)
50代	52人	3.8% (2人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	48.1% (25人)	0.0% (0人)	1.9% (1人)	0.0% (0人)	19.2% (10人)	5.8% (3人)	0.0% (0人)	5.8% (3人)	15.4% (8人)
60代	47人	10.6% (5人)	2.1% (1人)	6.4% (3人)	27.7% (13人)	4.3% (2人)	8.5% (4人)	4.3% (2人)	12.8% (6人)	10.6% (5人)	0.0% (0人)	2.1% (1人)	10.6% (5人)
70代	35人	0.0% (0人)	0.0% (0人)	5.7% (2人)	11.4% (4人)	5.7% (2人)	2.9% (1人)	2.9% (1人)	34.3% (12人)	14.3% (5人)	0.0% (0人)	5.7% (2人)	17.1% (6人)
80代以上	16人	0.0% (0人)	6.3% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	12.5% (2人)	0.0% (0人)	37.5% (6人)	12.5% (2人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	31.3% (5人)

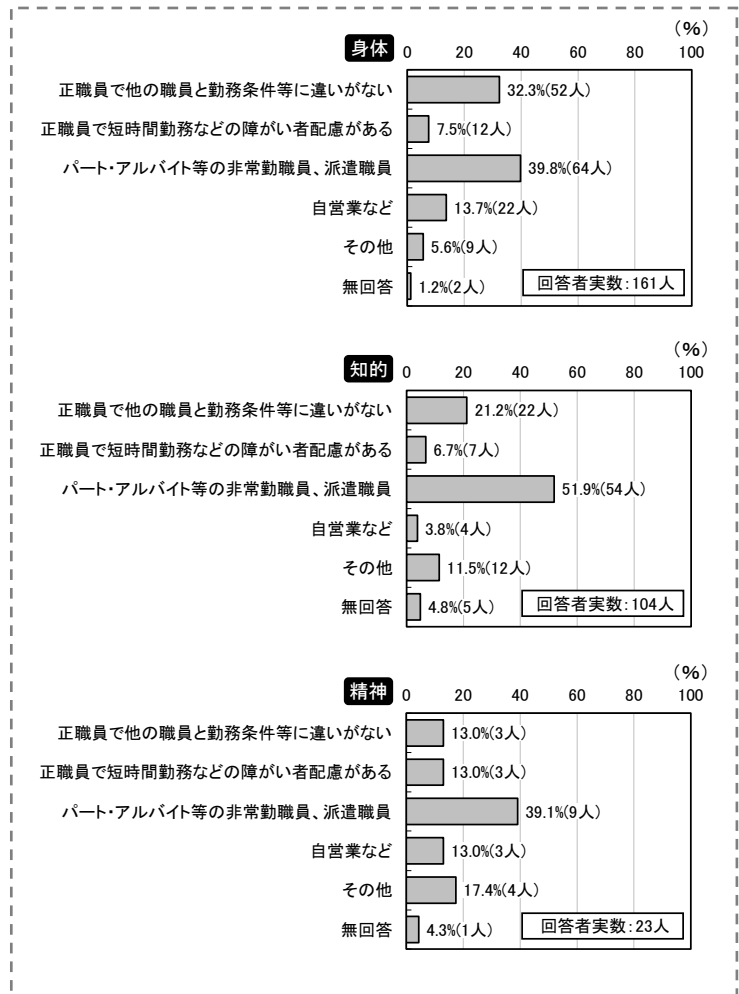
## (8) 就労の状況

仕事をしている人に就労形態を尋ねたところ、身体障がい者では、「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」39.8% (64人)が最も多く、次いで「正職員で他の職員と勤務条件等に違いがない」32.3% (52人)、「自営業など」13.7% (22人)の順となっています。

知的障がい者では、「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」51.9% (54人)が最も多く、次いで「正職員で他の職員と勤務条件等に違いがない」21.2% (22人)、「その他」11.5% (12人)の順となっています。

精神障がい者では、「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」39.1% (9人)が最も多く、その他の項目は概ね同水準となっています。

### 就労の状況



## (9) 就労意向

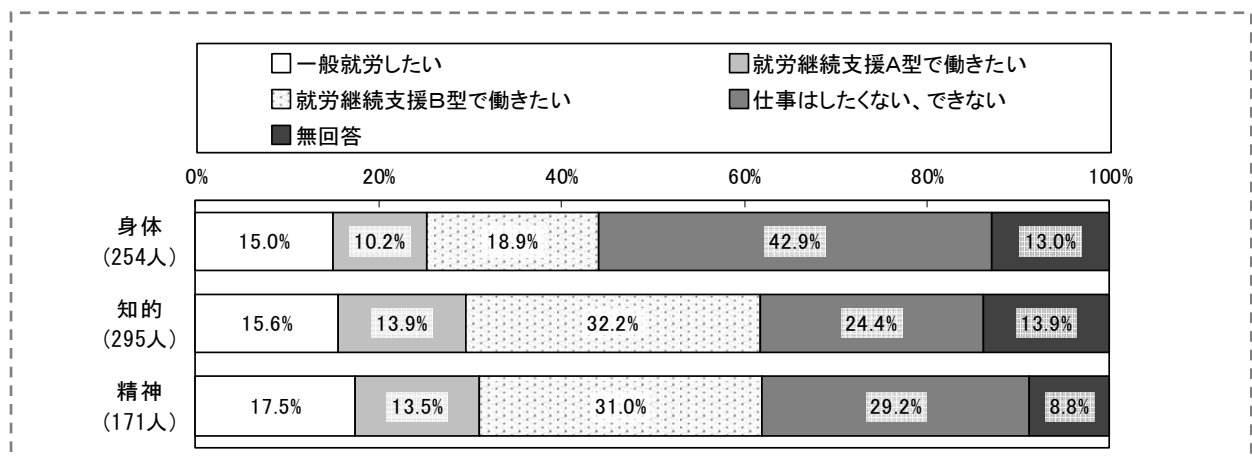
会社勤めや自営業などの仕事をしていない人に対し、就労意向を尋ねました。

「一般就労したい」という回答は、身体障がい者が15.0% (38人)、知的障がい者が15.6% (46人)、精神障がい者で17.5% (30人)となっています。

また、「就労継続支援A型で働きたい」と「就労継続支援B型で働きたい」を合わせて「就労継続支援で働きたい(利用したい)」と答えた割合は、知的障がい者46.1% (136人)、精神障がい者44.5% (103人)、身体障がい者29.1% (74人)の順で、知的障がい者と精神障がい者が多い傾向があります。

なお、身体障がい者の約4割は「仕事はしたくない、できない」と答えています。

### 就労意向



就労意向を年代別にみると、身体障がい者では、20代を除くすべての年代で「仕事はしたくない、できない」が最も多く、60代では半数以上が「仕事はしたくない、できない」と答えています。

なお、20代では、「就労継続支援B型で働きたい」が最も多くなっています。

### 就労意向 (年代別)

身体	回答者 実数	一般就労したい	就労継続支援A型 で働きたい	就労継続支援B型 で働きたい	仕事はしたくない、 できない	無回答
10代	7人	14.3% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	71.4% (5人)	14.3% (1人)
20代	29人	13.8% (4人)	6.9% (2人)	34.5% (10人)	31.0% (9人)	13.8% (4人)
30代	29人	17.2% (5人)	17.2% (5人)	13.8% (4人)	41.4% (12人)	10.3% (3人)
40代	48人	16.7% (8人)	8.3% (4人)	20.8% (10人)	43.8% (21人)	10.4% (5人)
50代	75人	17.3% (13人)	13.3% (10人)	18.7% (14人)	37.3% (28人)	13.3% (10人)
60代	66人	10.6% (7人)	7.6% (5人)	15.2% (10人)	51.5% (34人)	15.2% (10人)



知的障がい者では、10代で「一般就労したい」44.8% (13人)が最も多く、20代～50代では「就労継続支援B型で働きたい」が最も多く、3割以上となっています。

#### 就労意向（年代別）

知的	回答者 実数	一般就労したい	就労継続支援A型 で働きたい	就労継続支援B型 で働きたい	仕事はしたくない、 できない	無回答
10代	29人	44.8% (13人)	3.4% (1人)	13.8% (4人)	27.6% (8人)	10.3% (3人)
20代	77人	15.6% (12人)	16.9% (13人)	31.2% (24人)	23.4% (18人)	13.0% (10人)
30代	67人	10.4% (7人)	20.9% (14人)	32.8% (22人)	20.9% (14人)	14.9% (10人)
40代	64人	17.2% (11人)	12.5% (8人)	31.3% (20人)	23.4% (15人)	15.6% (10人)
50代	38人	7.9% (3人)	13.2% (5人)	44.7% (17人)	21.1% (8人)	13.2% (5人)
60代	20人	0.0% (0人)	0.0% (0人)	40.0% (8人)	45.0% (9人)	15.0% (3人)

精神障がい者の10代では「仕事はしたくない、できない」50.0% (4人)が最も多く、20代、40代、50代、60代では3割以上の方が「就労継続支援B型で働きたい」と答えています。30代は、「就労継続支援A型で働きたい」26.5% (9人)が最も多く、次いで「就労継続支援B型で働きたい」20.6% (7人)となっています。

#### 就労意向（年代別）

精神	回答者 実数	一般就労したい	就労継続支援A型 で働きたい	就労継続支援B型 で働きたい	仕事はしたくない、 できない	無回答
10代	8人	25.0% (2人)	0.0% (0人)	12.5% (1人)	50.0% (4人)	12.5% (1人)
20代	25人	20.0% (5人)	8.0% (2人)	36.0% (9人)	24.0% (6人)	12.0% (3人)
30代	34人	14.7% (5人)	26.5% (9人)	20.6% (7人)	26.5% (9人)	11.8% (4人)
40代	37人	29.7% (11人)	5.4% (2人)	37.8% (14人)	24.3% (9人)	2.7% (1人)
50代	44人	13.6% (6人)	18.2% (8人)	31.8% (14人)	31.8% (14人)	4.5% (2人)
60代	23人	4.3% (1人)	8.7% (2人)	34.8% (8人)	34.8% (8人)	17.4% (4人)

就労意向を身体障がいの部位別にみると、いずれも「仕事はしたくない、できない」が最も多くなっています。なお、視覚障がいでは「就労継続支援B型で働きたい」29.4%(5人)の割合も高くなっています。

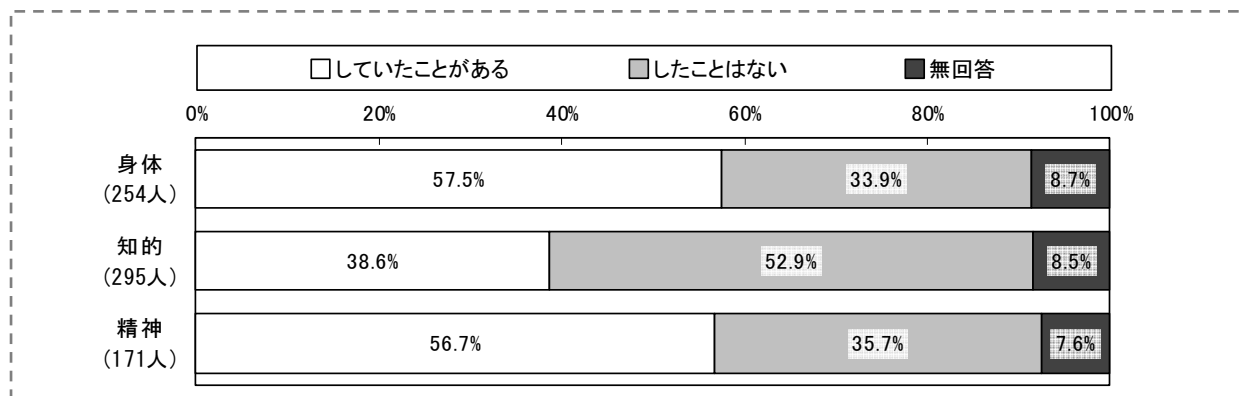
就労意向（身体障がいの部位別）

身体		回答者 実数	一般就労したい	就労継続支援 A型で働きたい	就労継続支援 B型で働きたい	仕事はしたくない、 できない	無回答
視覚障がい		17人	5.9% (1人)	17.6% (3人)	29.4% (5人)	29.4% (5人)	17.6% (3人)
聴覚又は平衡機能の障がい		16人	25.0% (4人)	6.3% (1人)	18.8% (3人)	37.5% (6人)	12.5% (2人)
音声・言語・そしゃく機能障がい		13人	7.7% (1人)	7.7% (1人)	30.8% (4人)	38.5% (5人)	15.4% (2人)
肢体不自由	上肢	11人	9.1% (1人)	18.2% (2人)	9.1% (1人)	36.4% (4人)	27.3% (3人)
	下肢	32人	15.6% (5人)	15.6% (5人)	9.4% (3人)	46.9% (15人)	12.5% (4人)
	体幹	12人	0.0% (0人)	0.0% (0人)	15.4% (2人)	76.9% (10人)	7.7% (1人)
	乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障がい	32人	6.3% (2人)	9.4% (3人)	28.1% (9人)	43.8% (14人)	12.5% (4人)
内部機能障がい		63人	23.8% (15人)	9.5% (6人)	7.9% (5人)	49.2% (31人)	9.5% (6人)

## (10) 収入を得る仕事の経験

収入を得る仕事の経験の有無については、「していたことがある」方の割合は、身体障がい者では57.5% (146人)、知的障がい者では38.6% (114人)、精神障がい者では56.7% (97人)でした。身体障がい者と精神障がい者では6割弱の方が収入を得る仕事を経験していますが、知的障がい者の半数以上が収入を得る仕事の経験がないことが分かります。

### 収入を得る仕事の経験

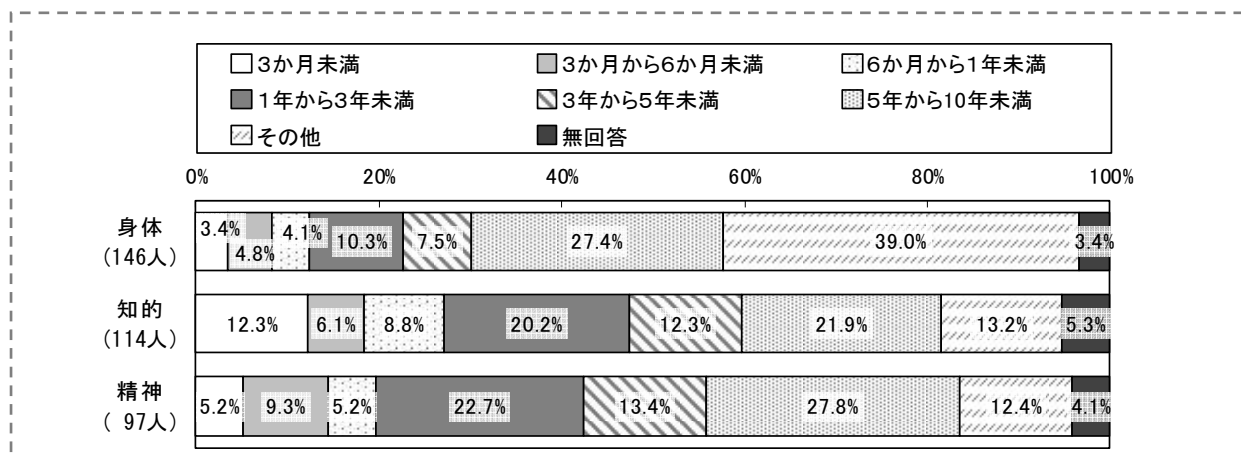


## (11) 収入を得る仕事の経験の期間

収入を得る仕事の経験の期間については、身体障がい者では「その他」39.0% (57人)が最も多く、次いで「5年から10年未満」27.4% (40人)、「1年から3年未満」10.3% (15人)となっており、期間が長い方が多い傾向があります。

知的障がい者では「5年から10年未満」21.9% (25人)が最も多く、次いで「1年から3年未満」20.2% (23人)、「その他」13.2% (15人)の順、精神障がい者では、「5年から10年未満」27.8% (27人)が最も多く、次いで「1年から3年未満」22.7% (22人)、「3年から5年未満」13.4% (13人)の順となっており、どちらも1年から10年未満の期間の方が半数以上を占めています。

### 収入を得る仕事の経験の期間



## (12) 収入を得る仕事を辞めた理由（複数回答）

収入を得る仕事を辞めた理由は、身体障がい者と精神障がい者では「障がいの発生・状態の悪化」が、知的障がい者では「職場の人間関係」が最も多くなっています。また、知的障がい者では「職場が、障がい者への理解・配慮がなかった」と「障がいの発生・状態の悪化」も多く、精神障がい者では「職場の人間関係」も多くなっています。

### 収入を得る仕事を辞めた理由

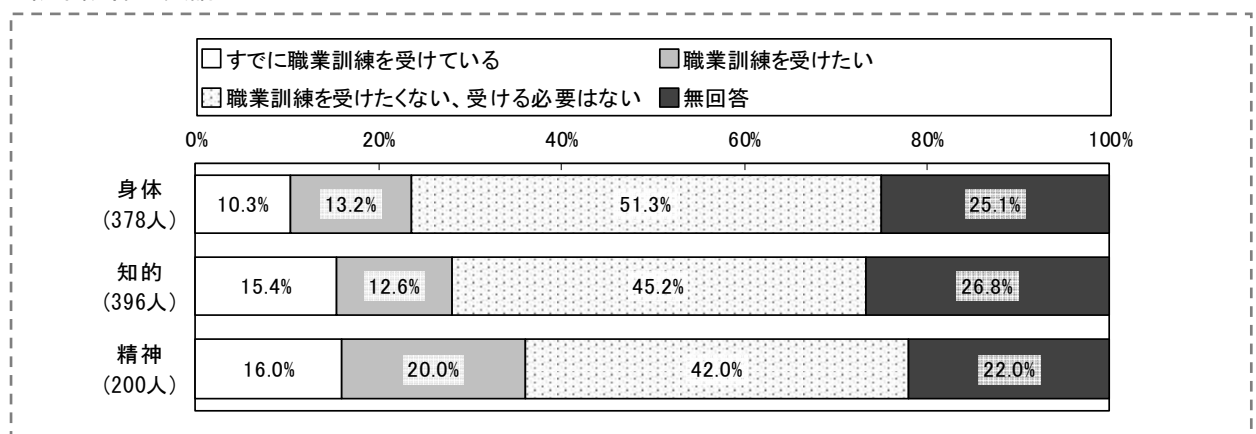
	身体 (146人)	知的 (114人)	精神 (97人)
障がいの発生・状態の悪化	33.6% (49人)	21.9% (25人)	39.2% (38人)
職場の人間関係	8.9% (13人)	30.7% (35人)	25.8% (25人)
給与・待遇への不満	7.5% (11人)	4.4% (5人)	9.3% (9人)
職場が、障がい者への理解・配慮がなかった	8.9% (13人)	26.3% (30人)	15.5% (15人)
その他	10.3% (15人)	15.8% (18人)	11.3% (11人)
無回答	47.3% (69人)	34.2% (39人)	33.0% (32人)

## (13) 職業訓練の受講の意向

職業訓練の受講の意向を尋ねたところ、「職業訓練を受けたい」と回答した方の割合は、身体障がい者で13.2% (50人)、知的障がい者で12.6% (50人)、精神障がい者で20.0% (40人)となっており、精神障がい者で職業訓練の受講意向がやや高い傾向となっています。

また、「すでに職業訓練を受けている」と回答した方の割合は、身体障がい者で10.3% (39人)、知的障がい者で15.4% (61人)、精神障がい者で16.0% (32人)といずれも1割台となっており、身体障がい者で「すでに職業訓練を受けている」方の割合が相対的に少ない傾向があります。

### 職業訓練の受講の意向



職業訓練の受講の意向を年代別にみると、身体障がい者では10代から60代までの各年代で「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」と回答した方の割合が最も高くなっています。

職業訓練の受講の意向（年代別）

身体	回答者 実数	すでに職業訓練 を受けている	職業訓練を受けたい	職業訓練を受けたくない、 受ける必要はない	無回答
10代	7人	14.3% (1人)	0.0% (0人)	57.1% (4人)	28.6% (2人)
20代	45人	17.8% (8人)	20.0% (9人)	46.7% (21人)	15.6% (7人)
30代	42人	16.7% (7人)	16.7% (7人)	45.2% (19人)	21.4% (9人)
40代	72人	15.3% (11人)	11.1% (8人)	44.4% (32人)	29.2% (21人)
50代	121人	7.4% (9人)	12.4% (15人)	52.9% (64人)	27.3% (33人)
60代	91人	3.3% (3人)	12.1% (11人)	59.3% (54人)	25.3% (23人)

知的障がい者でも、10代から60代までの各年代で「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」と回答した方の割合が最も高くなっています。

職業訓練の受講の意向（年代別）

知的	回答者 実数	すでに職業訓練 を受けている	職業訓練を受けたい	職業訓練を受けたくない、 受ける必要はない	無回答
10代	32人	15.6% (5人)	6.3% (2人)	59.4% (19人)	18.8% (6人)
20代	122人	15.6% (19人)	18.0% (22人)	45.1% (55人)	21.3% (26人)
30代	88人	27.3% (24人)	11.4% (10人)	34.1% (30人)	27.3% (24人)
40代	82人	9.8% (8人)	11.0% (9人)	50.0% (41人)	29.3% (24人)
50代	49人	8.2% (4人)	14.3% (7人)	49.0% (24人)	28.6% (14人)
60代	23人	4.3% (1人)	0.0% (0人)	43.5% (10人)	52.2% (12人)

精神障がい者でも、10代から60代までの各年代で「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」と回答した方の割合が最も高くなっています。

職業訓練の受講の意向（年代別）

精神	回答者 実数	すでに職業訓練 を受けている	職業訓練を受けたい	職業訓練を受けたくない、 受ける必要はない	無回答
10代	8人	12.5% (1人)	0.0% (0人)	50.0% (4人)	37.5% (3人)
20代	31人	16.1% (5人)	32.3% (10人)	35.5% (11人)	16.1% (5人)
30代	38人	23.7% (9人)	18.4% (7人)	34.2% (13人)	23.7% (9人)
40代	43人	11.6% (5人)	11.6% (5人)	55.8% (24人)	20.9% (9人)
50代	52人	23.1% (12人)	25.0% (13人)	38.5% (20人)	13.5% (7人)
60代	28人	0.0% (0人)	17.9% (5人)	42.9% (12人)	39.3% (11人)

#### (14) 障がい者の就労支援で必要なこと（複数回答）

障がい者の就労支援で必要なことを尋ねたところ、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者ともに「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が最も多く、それぞれ、身体障がい者で47.4% (179人)、知的障がい者で51.5% (204人)、精神障がい者で53.5% (107人)となっています。また、知的障がい者では「通勤手段の確保」43.7% (173人)、精神障がい者では「通勤手段の確保」46.0% (92人)と「短時間勤務や勤務日数等の配慮」45.5% (91人)も多くなっています。

##### 障がい者の就労支援で必要なこと

	身体 (378人)	知的 (396人)	精神 (200人)
通勤手段の確保	36.2% (137人)	43.7% (173人)	46.0% (92人)
勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	24.6% (93人)	15.9% (63人)	22.5% (45人)
短時間勤務や勤務日数等の配慮	39.4% (149人)	33.8% (134人)	45.5% (91人)
在宅勤務の拡充	27.8% (105人)	11.9% (47人)	21.0% (42人)
職場の上司や同僚に障がいの理解があること	47.4% (179人)	51.5% (204人)	53.5% (107人)
職場で介助や援助等が受けられること	22.2% (84人)	29.3% (116人)	31.5% (63人)
就労後のフォローなど職場と支援機関の連携	23.5% (89人)	36.1% (143人)	37.5% (75人)
企業ニーズに合った就労訓練	21.2% (80人)	23.0% (91人)	28.0% (56人)
仕事についての職場外での相談対応、支援	24.3% (92人)	33.3% (132人)	38.5% (77人)
その他	6.6% (25人)	6.1% (24人)	8.0% (16人)
無回答	21.4% (81人)	25.0% (99人)	15.0% (30人)

障がい者の就労支援で必要なことを年代別にみると、身体障がい者では10代から50代の各年代で「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が、10代と60代では「短時間勤務や勤務日数等の配慮」が最も多くなっています。

障がい者の就労支援で必要なこと（年代別）

	回答者実数	通勤手段の確保	勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	短時間勤務や勤務日数等の配慮	在宅勤務の拡充	職場の上司や同僚に障がいの理解があること	職場で介助や援助等が受けられること	職場と支援機関の連携	就労後のフォローなど	企業ニーズに合った就労訓練	仕事についての職場外での相談対応、支援	その他	無回答
<b>身体</b>													
10代	7人	57.1% (4人)	57.1% (4人)	57.1% (4人)	42.9% (3人)	57.1% (4人)	57.1% (4人)	57.1% (4人)	57.1% (4人)	57.1% (4人)	42.9% (3人)	0.0% (0人)	42.9% (3人)
20代	45人	37.8% (17人)	28.9% (13人)	40.0% (18人)	24.4% (11人)	48.9% (22人)	42.2% (19人)	35.6% (16人)	24.4% (11人)	26.7% (12人)	4.4% (2人)	15.6% (7人)	
30代	42人	40.5% (17人)	21.4% (9人)	31.0% (13人)	28.6% (12人)	52.4% (22人)	26.2% (11人)	28.6% (12人)	31.0% (13人)	28.6% (12人)	4.8% (2人)	21.4% (9人)	
40代	72人	36.1% (26人)	19.4% (14人)	30.6% (22人)	18.1% (13人)	43.1% (31人)	18.1% (13人)	15.3% (11人)	12.5% (9人)	23.6% (17人)	12.5% (9人)	26.4% (19人)	
50代	121人	34.7% (42人)	27.3% (33人)	39.7% (48人)	33.1% (40人)	52.1% (63人)	19.8% (24人)	25.6% (31人)	24.0% (29人)	24.0% (29人)	5.8% (7人)	20.7% (25人)	
60代	91人	34.1% (31人)	22.0% (20人)	48.4% (44人)	28.6% (26人)	40.7% (37人)	14.3% (13人)	16.5% (15人)	15.4% (14人)	20.9% (19人)	5.5% (5人)	19.8% (18人)	

知的障がい者では、10代から50代の各年代で「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が、60代では「就労後のフォローなど職場と支援機関の連携」が最も多くなっています。また、10代では「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」に加えて、「通勤手段の確保」、「短時間勤務や勤務日数等の配慮」、「就労後のフォローなど職場と支援機関の連携」、「仕事についての職場外での相談対応、支援」の4項目も5割を超えています。

障がい者の就労支援で必要なこと（年代別）

	回答者実数	通勤手段の確保	勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	短時間勤務や勤務日数等の配慮	在宅勤務の拡充	職場の上司や同僚に障がいの理解があること	職場で介助や援助等が受けられること	職場と支援機関の連携	就労後のフォローなど	企業ニーズに合った就労訓練	仕事についての職場外での相談対応、支援	その他	無回答
<b>知的</b>													
10代	32人	65.6% (21人)	28.1% (9人)	56.3% (18人)	21.9% (7人)	71.9% (23人)	43.8% (14人)	53.1% (17人)	34.4% (11人)	59.4% (19人)	6.3% (2人)	15.6% (5人)	
20代	122人	48.4% (59人)	15.6% (19人)	34.4% (42人)	11.5% (14人)	54.9% (67人)	34.4% (42人)	41.8% (51人)	25.4% (31人)	37.7% (46人)	4.9% (6人)	18.9% (23人)	
30代	88人	40.9% (36人)	18.2% (16人)	35.2% (31人)	12.5% (11人)	55.7% (49人)	33.0% (29人)	43.2% (38人)	28.4% (25人)	39.8% (35人)	8.0% (7人)	19.3% (17人)	
40代	82人	40.2% (33人)	9.8% (8人)	29.3% (24人)	11.0% (9人)	45.1% (37人)	20.7% (17人)	18.3% (15人)	15.9% (13人)	23.2% (19人)	7.3% (6人)	30.5% (25人)	
50代	49人	34.7% (17人)	16.3% (8人)	22.4% (11人)	6.1% (3人)	40.8% (20人)	20.4% (10人)	26.5% (13人)	14.3% (7人)	18.4% (9人)	6.1% (3人)	36.7% (18人)	
60代	23人	30.4% (7人)	13.0% (3人)	34.8% (8人)	13.0% (3人)	34.8% (8人)	17.4% (4人)	39.1% (9人)	17.4% (4人)	17.4% (4人)	0.0% (0人)	47.8% (11人)	

精神障がい者では、20代から50代の各年代で「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が、10代、60代では「短時間勤務や勤務日数等の配慮」が最も多くなっています。

各年代で次に多いのは、20代では「通勤手段の確保」と「仕事についての職場外での相談対応、支援」、30代では「就労後のフォローなど職場と支援機関の連携」、40代では「短時間勤務や勤務日数等の配慮」、50代では「通勤手段の確保」、60代では「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」となっています。

障がい者の就労支援で必要なこと（年代別）

精神	回答者実数	通勤手段の確保	リニアフリー等における勤務場所における配慮	短時間勤務や勤務日数等の配慮	在宅勤務の拡充	職場の上司や同僚に障がいの理解があること	職場で介助や援助等が受けられること	職場と支援機関の連携	就労後のフォローなど	企業ニーズに合った就労訓練	仕事についての職場外での相談対応、支援	その他	無回答
10代	8人	62.5% (5人)	37.5% (3人)	75.0% (6人)	50.0% (4人)	62.5% (5人)	62.5% (5人)	50.0% (4人)	50.0% (4人)	62.5% (5人)	12.5% (1人)	25.0% (2人)	
20代	31人	54.8% (17人)	19.4% (6人)	45.2% (14人)	16.1% (5人)	67.7% (21人)	41.9% (13人)	48.4% (15人)	29.0% (9人)	54.8% (17人)	0.0% (0人)	6.5% (2人)	
30代	38人	42.1% (16人)	21.1% (8人)	39.5% (15人)	21.1% (8人)	50.0% (19人)	42.1% (16人)	47.4% (18人)	39.5% (15人)	47.4% (18人)	5.3% (2人)	18.4% (7人)	
40代	43人	44.2% (19人)	16.3% (7人)	46.5% (20人)	20.9% (9人)	51.2% (22人)	27.9% (12人)	25.6% (11人)	25.6% (11人)	30.2% (13人)	7.0% (3人)	14.0% (6人)	
50代	52人	50.0% (26人)	28.8% (15人)	42.3% (22人)	21.2% (11人)	53.8% (28人)	28.8% (15人)	42.3% (22人)	28.8% (15人)	32.7% (17人)	11.5% (6人)	11.5% (6人)	
60代	28人	32.1% (9人)	21.4% (6人)	50.0% (14人)	17.9% (5人)	42.9% (12人)	7.1% (2人)	17.9% (5人)	7.1% (2人)	25.0% (7人)	14.3% (4人)	25.0% (7人)	

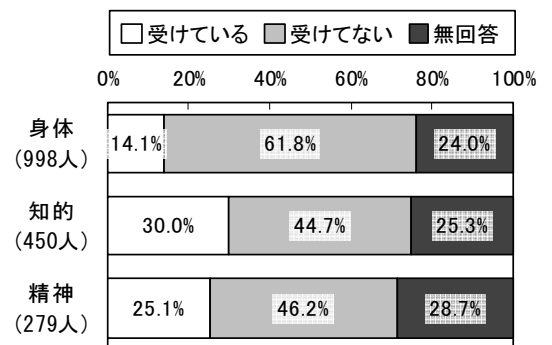
5. 障害福祉サービス等の利用について

(1) 区分認定を受けているか

区分認定を受けている人は、身体障がい者で1割台半ば、知的障がい者で3割、精神障がい者では2割半ばとなっています。

区分認定を受けているか

	身体 (998人)	知的 (450人)	精神 (279人)
区分1	3.0% (30人)	2.9% (13人)	3.9% (11人)
区分2	3.0% (30人)	6.2% (28人)	6.1% (17人)
区分3	1.7% (17人)	3.6% (16人)	3.6% (10人)
区分4	1.7% (17人)	4.2% (19人)	2.2% (6人)
区分5	1.5% (15人)	4.9% (22人)	2.9% (8人)
区分6	3.2% (32人)	8.2% (37人)	6.5% (18人)
受けてない	61.8% (617人)	44.7% (201人)	46.2% (129人)
無回答	24.0% (240人)	25.3% (114人)	28.7% (80人)

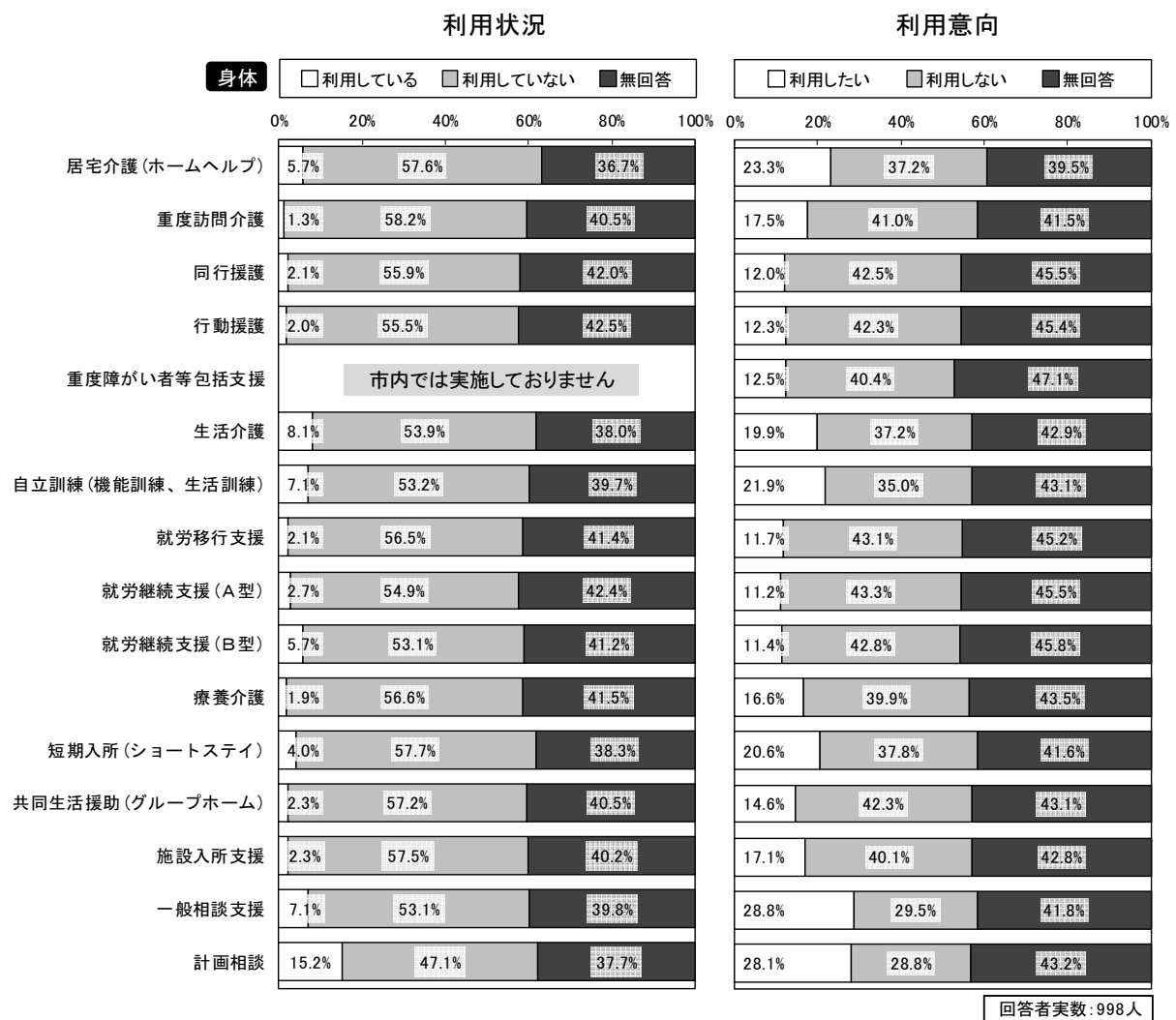




## (2) 障害福祉サービスの利用状況と利用意向

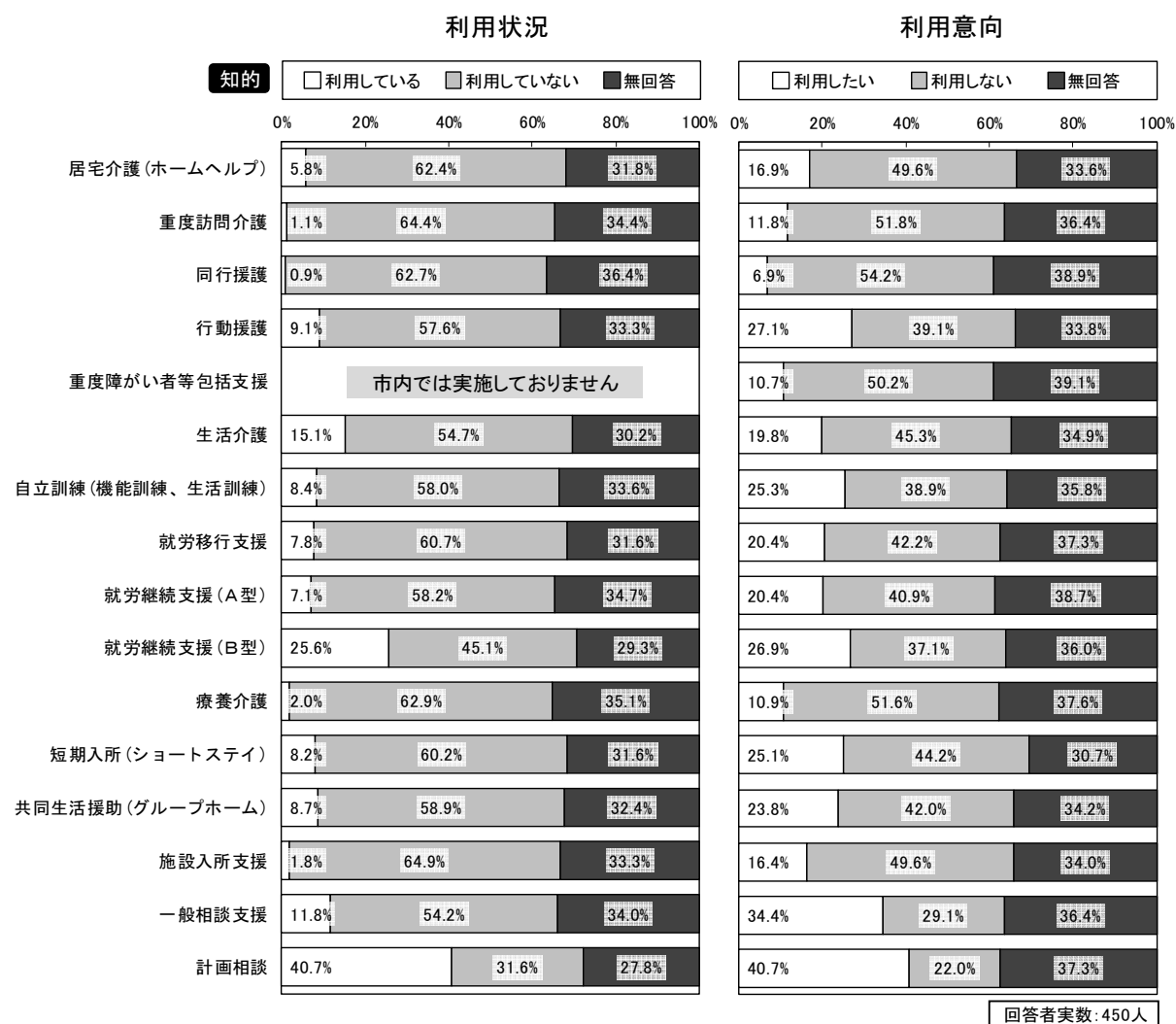
身体障がい者の利用状況をみると、「利用している」と回答した方の割合は、「計画相談」を除くとすべて1割未満で、他のサービスと比較して「利用している」方の割合が高いのは、「計画相談」、「生活介護」、「自立訓練(機能訓練、生活訓練)」「一般相談支援」などです。

今後の利用意向については、各サービスとも「利用したい」方の割合が現在「利用している」方の割合を上回っており、最も利用意向が高いのは「一般相談支援」の28.8%で、そのほか「計画相談」、「居宅介護(ホームヘルプ)」、「自立訓練(機能訓練、生活訓練)」、「短期入所(ショートステイ)」、「生活介護」の利用意向も相対的に高くなっています。



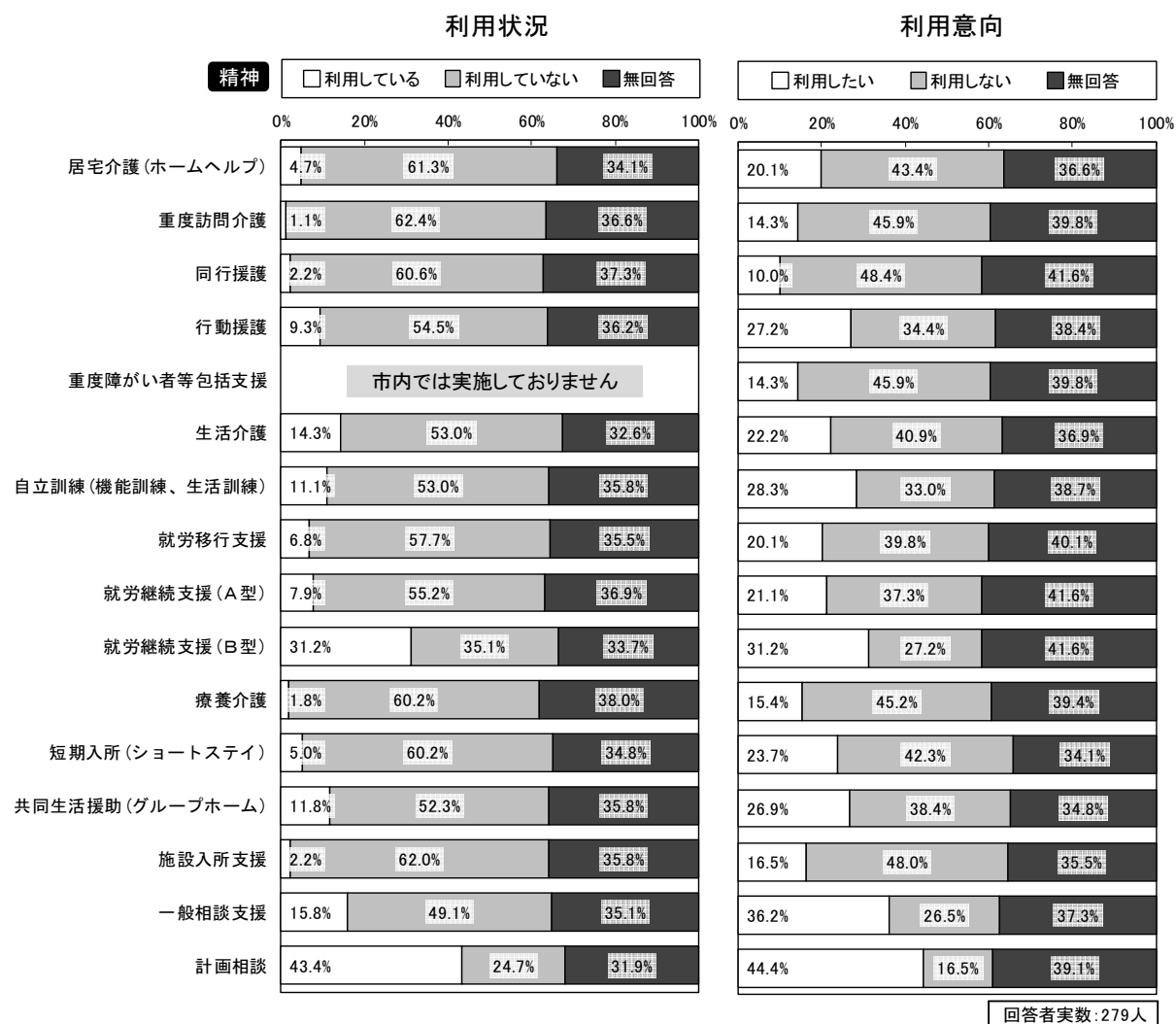
知的障がい者の利用状況をみると、「利用している」と回答した方の割合は「計画相談」で40.7%と最も高く、「就労継続支援(B型)」の25.6%、「生活介護」の15.1%と続いています。

今後の利用意向では「利用したい」という回答が全般的に現在の「利用している」割合を上回っており、最も利用意向が高いのは「計画相談」の40.7%で、そのほか「一般相談支援」、「行動支援」、「就労継続支援(B型)」、「自立訓練(機能訓練、生活訓練)」、「短期入所(ショートステイ)」、「共同生活援助(グループホーム)」の利用意向も相対的に高くなっています。



精神障がい者の利用状況をみると、「利用している」と回答した方の割合は「計画相談」で43.4%と最も高く、「就労継続支援(B型)」の31.2%、「一般相談支援」の15.8%、「生活介護」の14.3%と続いています。

今後の利用意向では「利用したい」という回答が全般的に現在の「利用している」割合を上回っており、最も利用意向が高いのは「計画相談」の44.4%で、そのほか「一般相談支援」、「就労継続支援(B型)」、「自立訓練(機能訓練、生活訓練)」、「行動援護」、「共同生活援助(グループホーム)」、「短期入所(ショートステイ)」、「生活介護」の利用意向も相対的に高くなっています。



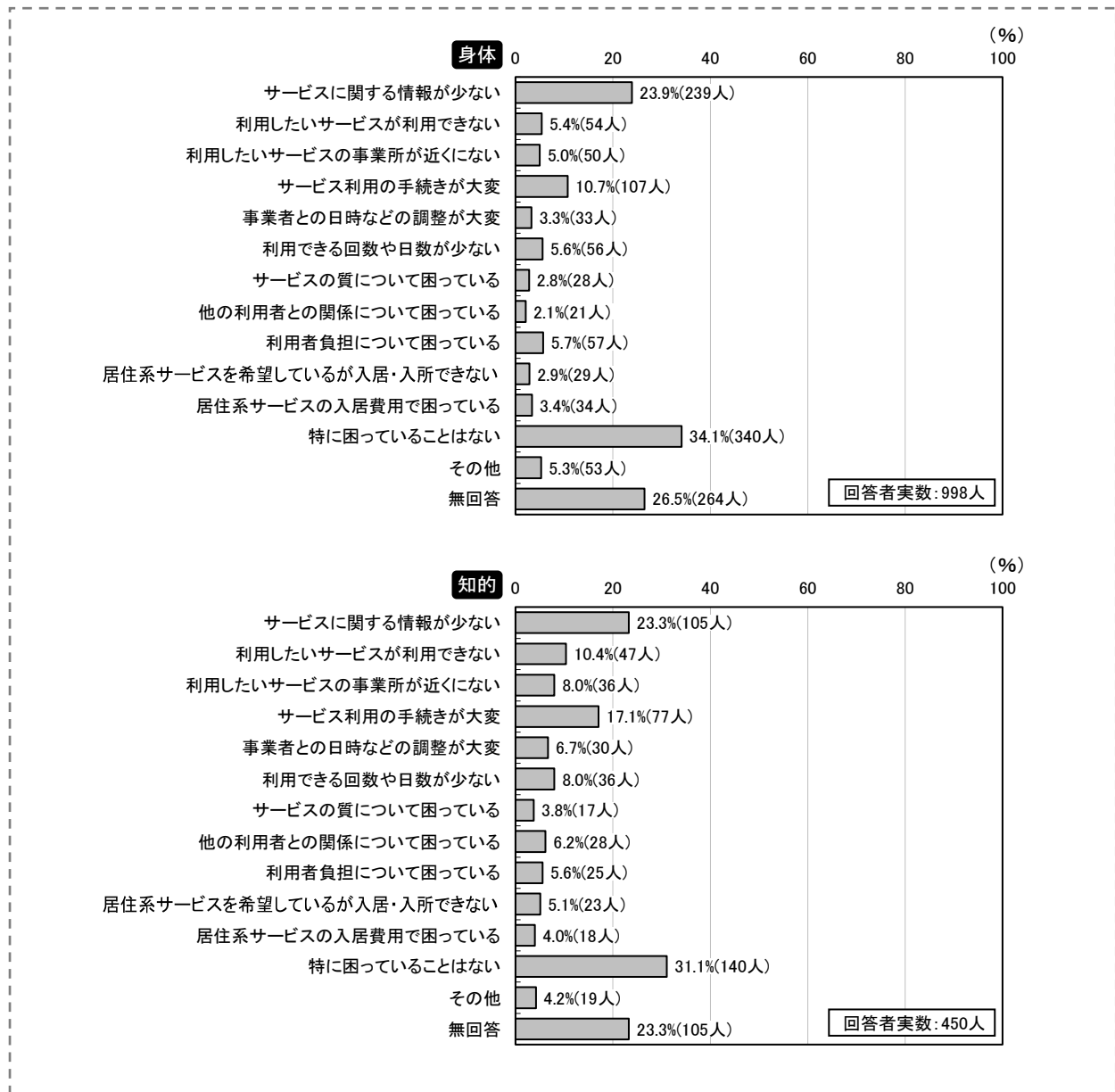
### (3) 障害福祉サービスの利用に関して困っていること（複数回答）

障害福祉サービスの利用に関して困っていることを尋ねたところ、身体障がい者では39.4% (604人)が何かしら困っていると答えており、内容をみると「サービスに関する情報が少ない」23.9% (239人)、「サービス利用の手続きが大変」10.7% (107人)が多くなっています。

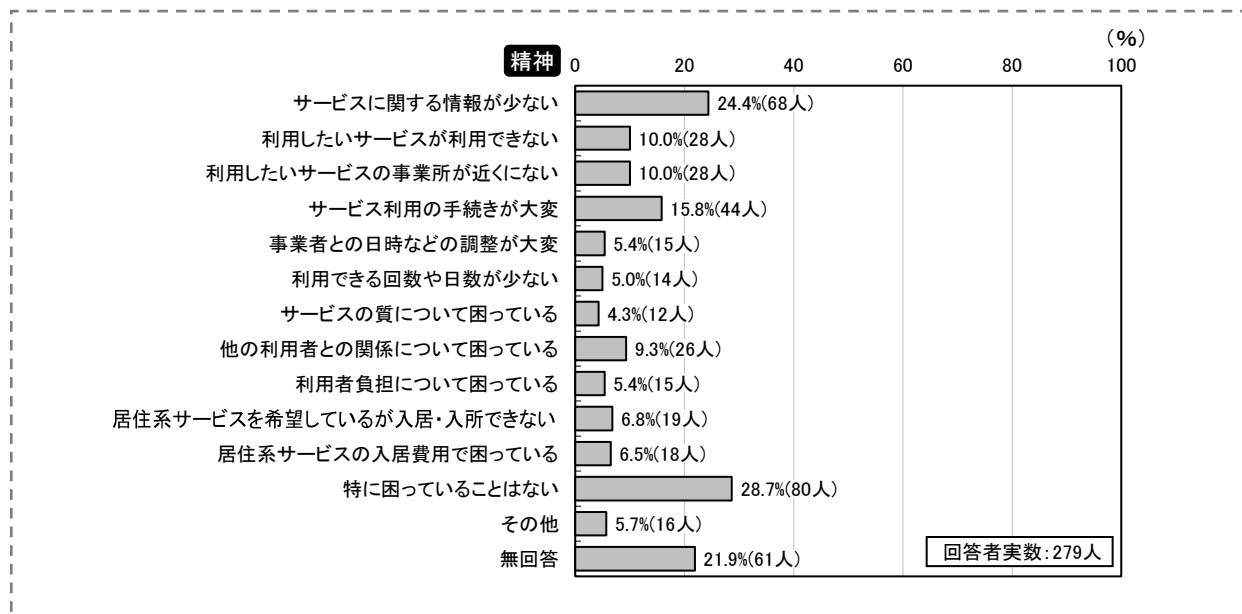
知的障がい者では、45.5% (245人)が何かしら困っていると答えており、内容をみると「サービスに関する情報が少ない」23.3% (105人)、「サービス利用の手続きが大変」17.1% (77人)、「利用したいサービスが利用できない」10.4% (47人)が多くなっています。

精神障がい者では、49.4% (141人)が何かしら困っていると答えており、内容をみると「サービスに関する情報が少ない」24.4% (68人)、「サービス利用の手続きが大変」15.8% (44人)、「利用したいサービスが利用できない」10.0% (28人)、「利用したいサービスの事業所が近くにない」10.0% (28人)が多くなっています。

#### 障害福祉サービスの利用に関して困っていること



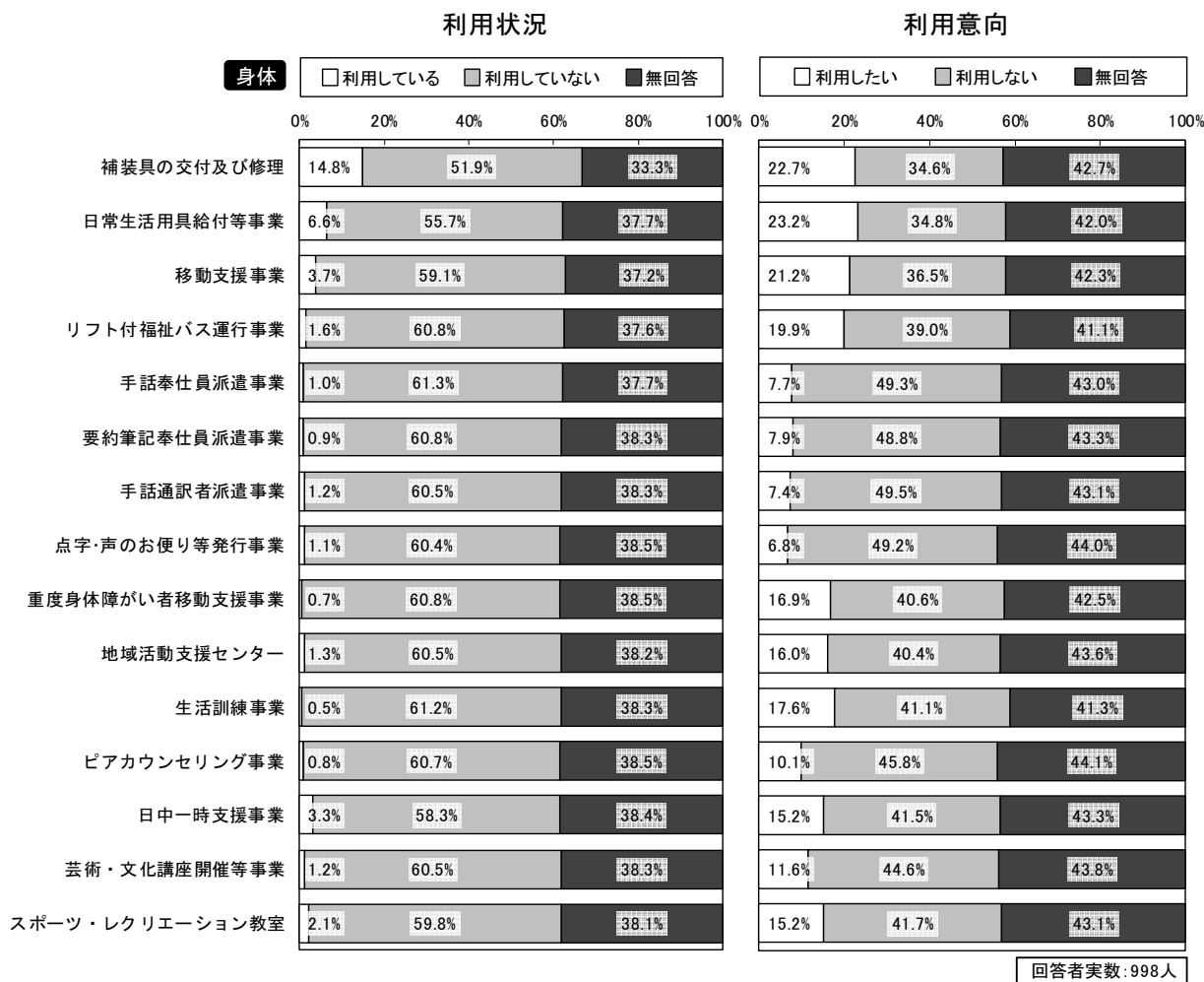
## 障害福祉サービスの利用に関して困っていること



#### (4) その他のサービスの利用状況と利用意向

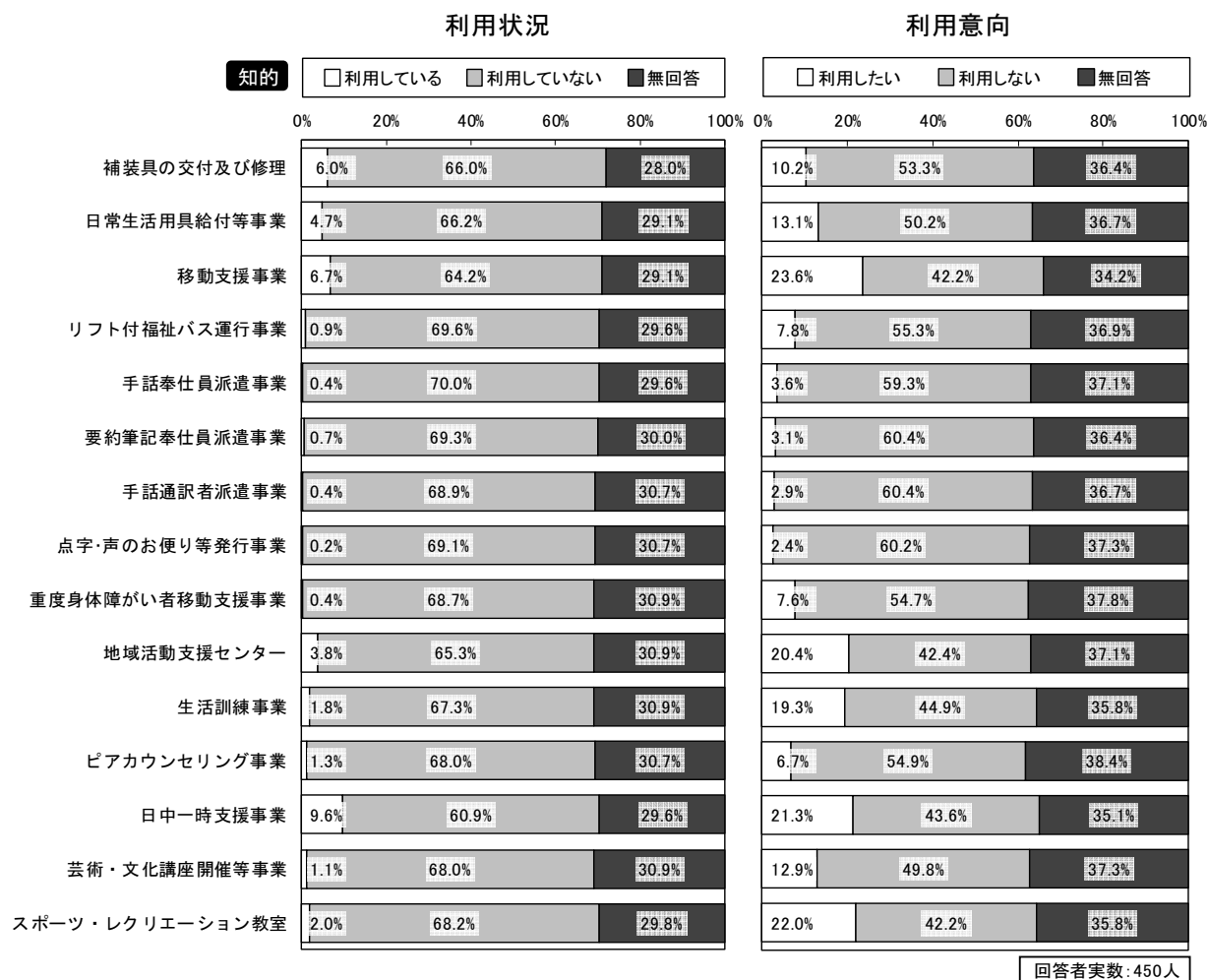
地域支援事業等によるサービスの利用についてみると、身体障がい者では、「補装具の交付及び修理」の14.8%、「日常生活用具給付等事業」の6.6%で「利用している」と回答した方がやや多く、その他の事業はすべて5%未満の利用割合となっています。

今後の利用意向としては、「日常生活用具給付等事業」、「補装具の交付及び修理」、「移動支援事業」「リフト付き福祉バス運行事業」がそれぞれ2割程度と比較的多くなっています。



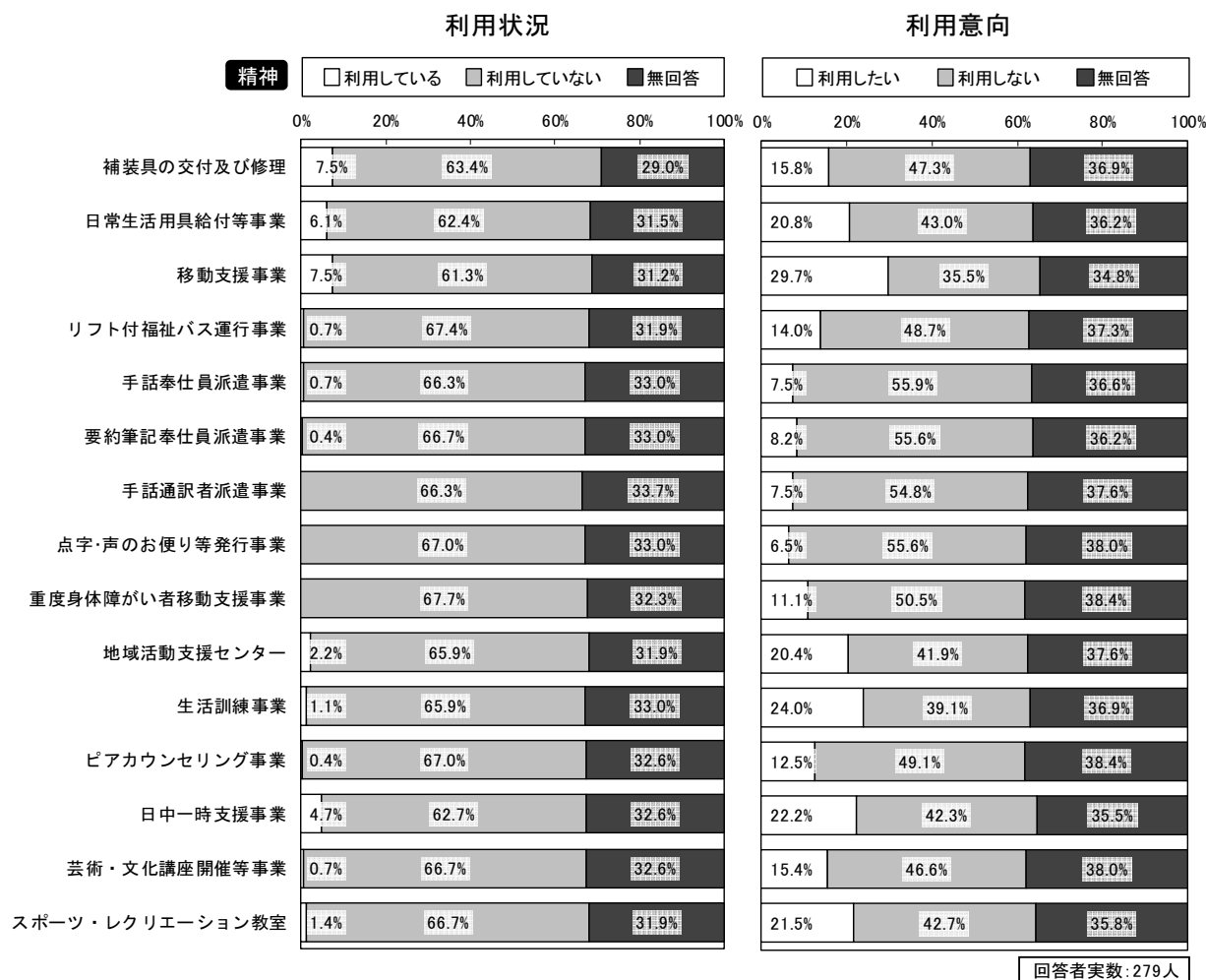
知的障がい者では、「日中一時支援事業」の9.6%、「移動支援事業」の6.7%、「補装具の交付及び修理」の6.0%で「利用している」と回答した方がやや多く、その他の事業はすべて5%未満の利用割合となっています。

今後の利用意向としては、「移動支援事業」、「スポーツ・レクリエーション事業」、「日中一時支援事業」、「地域活動支援センター」、「生活訓練事業」がそれぞれ2割程度と比較的多くなっています。



精神障がい者では、「補助具の交付及び修理」の7.5%、「移動支援事業」の7.5%、「日常生活用具給付等事業」の6.1%で「利用している」と回答した方がやや多く、その他の事業はすべて5%未満の利用割合となっています。

今後の利用意向としては、「移動支援事業」、「生活訓練事業」、「日中一時支援事業」、「スポーツ・レクリエーション事業」、「日常生活用具給付等事業」「地域活動支援センター」がそれぞれ2割程度と比較的多くなっています。





## 6. 相談相手について

### (1) 相談先（複数回答）

相談先としては、「家族や親せき」という回答が最も多く、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者ともに7割前後を占めています。また、3障がいとも「友人・知人」と回答した方も多く、総じて身近な人に相談する傾向が見られます。

そのほか、身体障がい者では「かかりつけの医師や看護師」21.3% (213人)、知的障がい者では「施設の指導員など」22.4% (101人)が多く、精神障がい者においては「かかりつけの医師や看護師」31.2% (87人)、「施設の指導員など」23.3% (65人)、「相談支援事業所」19.4% (54人)も多く、いずれもより専門的な支援を求めている様子が見えます。

#### 相談先

	身体 (998人)	知的 (450人)	精神 (279人)
家族や親せき	72.6% (725人)	68.2% (307人)	66.7% (186人)
友人・知人	28.4% (283人)	19.8% (89人)	25.4% (71人)
近所の人	3.5% (35人)	2.0% (9人)	4.3% (12人)
職場の上司や同僚	5.3% (53人)	11.8% (53人)	14.0% (39人)
施設の指導員など	7.9% (79人)	22.4% (101人)	23.3% (65人)
ホームヘルパーなどサービス事業所の人	9.3% (93人)	11.3% (51人)	12.2% (34人)
障がい者団体や家族会	0.9% (9人)	2.0% (9人)	1.1% (3人)
ピアサポーター	0.4% (4人)	0.4% (2人)	0.0% (0人)
かかりつけの医師や看護師	21.3% (213人)	14.4% (65人)	31.2% (87人)
病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー	9.5% (95人)	6.2% (28人)	10.8% (30人)
民生委員・児童委員	1.1% (11人)	1.6% (7人)	1.4% (4人)
相談支援事業所	5.5% (55人)	15.1% (68人)	19.4% (54人)
行政機関の相談窓口	4.9% (49人)	3.6% (16人)	6.5% (18人)
無回答	8.9% (89人)	10.9% (49人)	5.7% (16人)

相談先を年代別にみると、身体障がい者ではすべての年代で「家族や親せき」と回答した方の割合が最も高く、次いで20代から70代では「友人・知人」が、80代以上では「かかりつけの医師や看護師」と回答した方の割合が高くなっています。

相談先（年代別）

身体	回答者実数	家族や親せき	友人・知人	近所の人	職場の上司や同僚	施設の指導員など	ホームヘルパーなどサービス事業所の人	障がい者団体や家族会	ピアサポーター	かかりつけの医師や看護師	介護保険のケアマネジャー	病院のケースワーカーや民生委員・児童委員	相談支援事業所	行政機関の相談窓口	その他	無回答
10代	7人	71.4% (5)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	14.3% (1)	42.9% (3)	0.0% (0)	0.0% (0)	28.6% (2)	0.0% (0)	0.0% (0)	42.9% (3)	0.0% (0)	28.6% (2)	0.0% (0)
20代	45人	75.6% (34)	37.8% (17)	0.0% (0)	13.3% (6)	22.2% (10)	17.8% (8)	0.0% (0)	0.0% (0)	20.0% (9)	6.7% (3)	2.2% (1)	20.0% (9)	6.7% (3)	8.9% (4)	6.7% (3)
30代	42人	73.8% (31)	28.6% (12)	2.4% (1)	19.0% (8)	23.8% (10)	11.9% (5)	2.4% (1)	0.0% (0)	21.4% (9)	4.8% (2)	0.0% (0)	14.3% (6)	0.0% (0)	16.7% (7)	2.4% (1)
40代	72人	66.7% (48)	29.2% (21)	0.0% (0)	15.3% (11)	6.9% (5)	4.2% (3)	2.8% (2)	0.0% (0)	12.5% (9)	2.8% (2)	1.4% (1)	11.1% (8)	5.6% (4)	6.9% (5)	8.3% (6)
50代	121人	76.0% (92)	35.5% (43)	2.5% (3)	9.9% (12)	7.4% (9)	4.1% (5)	1.7% (2)	0.8% (1)	22.3% (27)	4.1% (5)	0.8% (1)	9.1% (11)	7.4% (9)	7.4% (9)	7.4% (9)
60代	210人	71.0% (149)	31.9% (67)	1.9% (4)	3.8% (8)	9.5% (20)	10.0% (21)	0.5% (1)	0.0% (0)	23.8% (50)	7.6% (16)	1.4% (3)	4.3% (9)	5.2% (11)	5.7% (12)	8.1% (17)
70代	277人	72.2% (200)	29.2% (81)	4.3% (12)	1.8% (5)	3.6% (10)	9.4% (26)	1.1% (3)	0.7% (2)	24.9% (69)	13.7% (38)	0.7% (2)	2.5% (7)	5.4% (15)	4.3% (12)	9.4% (26)
80代以上	193人	76.7% (148)	17.1% (33)	6.7% (13)	0.0% (0)	5.7% (11)	10.4% (20)	0.0% (0)	0.5% (1)	17.6% (34)	14.5% (28)	1.6% (3)	0.5% (1)	3.6% (7)	1.0% (2)	11.4% (22)

知的障がい者においても、すべての年代で「家族や親せき」と回答した方の割合が最も高く、次いで、10代と20代では「友人・知人」が、30代から60代では「施設の指導員など」が、70代と80代以上では「かかりつけの医師や看護師」と回答した方の割合が高くなっています。

相談先（年代別）

知的	回答者実数	家族や親せき	友人・知人	近所の人	職場の上司や同僚	施設の指導員など	ホームヘルパーなどサービス事業所の人	障がい者団体や家族会	ピアサポーター	かかりつけの医師や看護師	介護保険のケアマネジャー	病院のケースワーカーや民生委員・児童委員	相談支援事業所	行政機関の相談窓口	その他	無回答
10代	32人	87.5% (28)	31.3% (10)	0.0% (0)	12.5% (4)	15.6% (5)	18.8% (6)	0.0% (0)	3.1% (1)	18.8% (6)	3.1% (1)	0.0% (0)	21.9% (7)	0.0% (0)	12.5% (4)	3.1% (1)
20代	122人	76.2% (93)	31.1% (38)	0.8% (1)	17.2% (21)	18.9% (23)	13.9% (17)	0.8% (1)	0.0% (0)	9.8% (12)	4.1% (5)	1.6% (2)	12.3% (15)	3.3% (4)	6.6% (8)	6.6% (8)
30代	88人	62.5% (55)	18.2% (16)	2.3% (2)	17.0% (15)	28.4% (25)	10.2% (9)	3.4% (3)	0.0% (0)	14.8% (13)	4.5% (4)	1.1% (1)	19.3% (17)	0.0% (0)	13.6% (12)	11.4% (10)
40代	82人	61.0% (50)	14.6% (12)	1.2% (1)	7.3% (6)	22.0% (18)	7.3% (6)	2.4% (2)	0.0% (0)	11.0% (9)	2.4% (2)	1.2% (1)	19.5% (16)	6.1% (5)	9.8% (8)	13.4% (11)
50代	49人	71.4% (35)	6.1% (3)	2.0% (1)	10.2% (5)	26.5% (13)	6.1% (3)	2.0% (1)	2.0% (1)	18.4% (9)	8.2% (4)	2.0% (1)	14.3% (7)	6.1% (3)	0.0% (0)	12.2% (6)
60代	39人	71.8% (28)	7.7% (3)	0.0% (0)	5.1% (2)	30.8% (12)	12.8% (5)	5.1% (2)	0.0% (0)	20.5% (8)	10.3% (4)	2.6% (1)	10.3% (4)	5.1% (2)	2.6% (1)	10.3% (4)
70代	23人	47.8% (11)	21.7% (5)	8.7% (2)	0.0% (0)	13.0% (3)	17.4% (4)	0.0% (0)	0.0% (0)	26.1% (6)	21.7% (5)	4.3% (1)	0.0% (0)	8.7% (2)	0.0% (0)	21.7% (5)
80代以上	8人	50.0% (4)	12.5% (1)	12.5% (1)	0.0% (0)	12.5% (1)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	25.0% (2)	25.0% (2)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	37.5% (3)

精神障がい者においても、すべての年代で「家族や親せき」と回答した方の割合が最も高く、次いで20代、40代、70代、80代以上では「友人・知人」が、30代と60代では「施設の指導員など」が、50代、70代、80代以上では「かかりつけの医師や看護師」と回答した方の割合が高くなっています。

相談先（年代別）

精神	回答者実数	家族や親せき	友人・知人	近所の人	職場の上司や同僚	施設の指導員など	ホームヘルパーなど サービス事業所の人	障がい者団体や家族会	ピアサポーター	かかりつけの医師や看護師	介護保険のケアマネジャー	病院のケースワーカーや 民生委員・児童委員	相談支援事業所	行政機関の相談窓口	その他	無回答
10代	8人	87.5% (7人)	12.5% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	25.0% (2人)	50.0% (4人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	62.5% (5人)	12.5% (1人)	0.0% (0人)	50.0% (4人)	0.0% (0人)	12.5% (1人)	0.0% (0人)
20代	31人	74.2% (23人)	38.7% (12人)	3.2% (1人)	25.8% (8人)	16.1% (5人)	16.1% (5人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	25.8% (8人)	3.2% (1人)	3.2% (1人)	16.1% (5人)	6.5% (2人)	9.7% (3人)	0.0% (0人)
30代	38人	60.5% (23人)	13.2% (5人)	2.6% (1人)	13.2% (5人)	36.8% (14人)	10.5% (4人)	2.6% (1人)	0.0% (0人)	31.6% (12人)	5.3% (2人)	0.0% (0人)	34.2% (13人)	0.0% (0人)	21.1% (8人)	5.3% (2人)
40代	43人	65.1% (28人)	30.2% (13人)	2.3% (1人)	16.3% (7人)	27.9% (12人)	9.3% (4人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	23.3% (10人)	9.3% (4人)	0.0% (0人)	25.6% (11人)	4.7% (2人)	2.3% (1人)	9.3% (4人)
50代	52人	73.1% (38人)	26.9% (14人)	3.8% (2人)	25.0% (13人)	26.9% (14人)	3.8% (2人)	1.9% (1人)	0.0% (0人)	46.2% (24人)	11.5% (6人)	1.9% (1人)	26.9% (14人)	9.6% (5人)	9.6% (5人)	1.9% (1人)
60代	47人	59.6% (28人)	19.1% (9人)	6.4% (3人)	8.5% (4人)	27.7% (13人)	14.9% (7人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	25.5% (12人)	10.6% (5人)	2.1% (1人)	12.8% (6人)	12.8% (6人)	8.5% (4人)	8.5% (4人)
70代	35人	60.0% (21人)	31.4% (11人)	8.6% (3人)	2.9% (1人)	2.9% (1人)	17.1% (6人)	2.9% (1人)	0.0% (0人)	28.6% (10人)	22.9% (8人)	2.9% (1人)	0.0% (0人)	8.6% (3人)	8.6% (3人)	11.4% (4人)
80代以上	16人	81.3% (13人)	25.0% (4人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	12.5% (2人)	12.5% (2人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	25.0% (4人)	18.8% (3人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	6.3% (1人)

## (2) 生活の中で不安や悩んでいること（複数回答）

生活の中で不安や悩んでいることを尋ねたところ、身体障がい者では「障がいや健康上の心配、悩み」50.6% (505人)が最も多く、次いで「将来の生活が不安」43.0% (429人)、「介助者がいなくなった後の生活」25.6% (255人)の順となっています。

知的障がい者では「将来の生活が不安」45.8% (206人)が最も多く、次いで「障がいや健康上の心配、悩み」38.2% (172人)、「介助者がいなくなった後の生活」38.0% (171人)の順となっています。

精神障がい者では「障がいや健康上の心配、悩み」56.6% (158人)が最も多く、次いで「将来の生活が不安」54.5% (152人)、「介助者がいなくなった後の生活」33.0% (92人)の順となっています。

### 生活の中で不安や悩んでいること

	身体 (998人)	知的 (450人)	精神 (279人)
障がいや健康上の心配、悩み	50.6% (505人)	38.2% (172人)	56.6% (158人)
仕事のこと	13.5% (135人)	20.9% (94人)	23.3% (65人)
子育てのこと	2.5% (25人)	2.4% (11人)	3.6% (10人)
将来の生活が不安	43.0% (429人)	45.8% (206人)	54.5% (152人)
地域活動への参加	2.6% (26人)	2.4% (11人)	4.7% (13人)
周囲の理解がない	4.5% (45人)	11.1% (50人)	12.9% (36人)
介助者がいなくなった後の生活	25.6% (255人)	38.0% (171人)	33.0% (92人)
財産の管理が心配	8.4% (84人)	13.3% (60人)	11.8% (33人)
結婚問題の不安、悩み	3.4% (34人)	8.4% (38人)	8.6% (24人)
友達がいらない	5.7% (57人)	14.2% (64人)	14.7% (41人)
その他	2.9% (29人)	3.3% (15人)	4.7% (13人)
不安や悩みごとはない	12.2% (122人)	12.9% (58人)	6.8% (19人)
無回答	12.2% (122人)	12.2% (55人)	7.9% (22人)

### (3) 情報の入手方法（複数回答）

情報の入手方法について、「家族や親戚、友人・知人」という回答が、身体障がい者の38.6% (385人)、知的障がい者の38.7% (174人)、精神障がい者の36.6% (102人)と、3障がいすべてで4割弱を占め最も多く、そのほか、身体障がい者では「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」38.3% (382人)が、知的障がい者では「サービス事業所の人や施設職員」33.6% (151人)が、精神障がい者でも「サービス事業所の人や施設職員」34.4% (96人)が多くなっています。

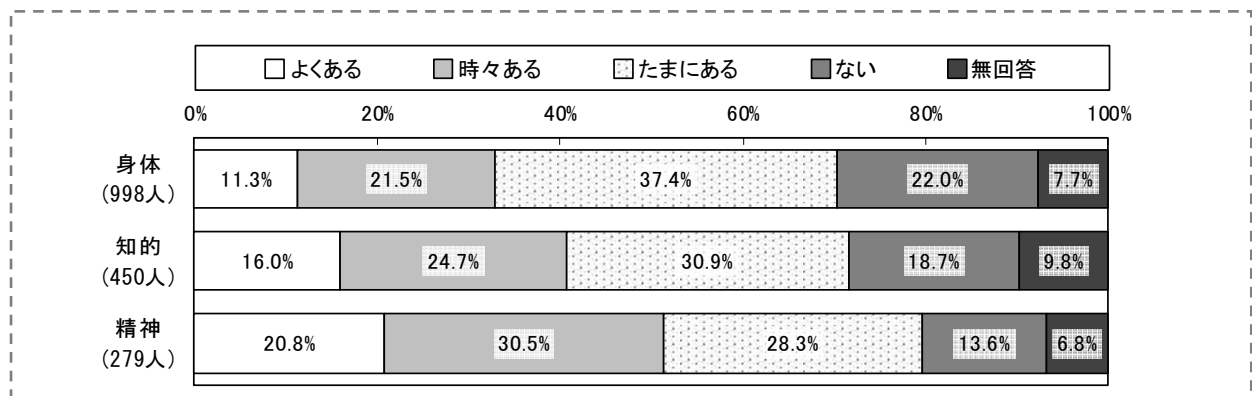
#### 情報の入手方法

	身体 (998人)	知的 (450人)	精神 (279人)
本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース	38.3% (382人)	24.4% (110人)	26.5% (74人)
行政機関の広報紙	23.0% (230人)	13.8% (62人)	16.5% (46人)
インターネット	16.3% (163人)	16.0% (72人)	17.2% (48人)
家族や親せき、友人・知人	38.6% (385人)	38.7% (174人)	36.6% (102人)
サービス事業所の人や施設職員	16.8% (168人)	33.6% (151人)	34.4% (96人)
障がい者団体や家族会（団体の機関誌など）	2.3% (23人)	5.6% (25人)	3.2% (9人)
かかりつけの医師や看護師	20.1% (201人)	12.7% (57人)	25.1% (70人)
病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー	16.5% (165人)	5.6% (25人)	14.0% (39人)
民生委員・児童委員	1.6% (16人)	1.6% (7人)	1.4% (4人)
職場	3.1% (31人)	4.4% (20人)	7.2% (20人)
相談支援事業所	6.8% (68人)	21.1% (95人)	22.9% (64人)
行政機関の相談窓口	7.9% (79人)	8.4% (38人)	12.5% (35人)
その他	2.8% (28人)	5.3% (24人)	3.9% (11人)
無回答	11.3% (113人)	12.7% (57人)	7.2% (20人)

#### (4) 普段、気持ちの落ち込み、寂しい気分やむしゃくしゃすること

普段、気持ちの落ち込み、寂しい気分やむしゃくしゃすることについて、最も多い回答は、身体障がい者と知的障がい者では「たまにある」、精神障がい者では「時々ある」でした。また、「よくある」「時々ある」「たまにある」を合わせた「ある」の割合は、身体障がい者で70.2%、知的障がい者で71.6%、精神障がい者で79.6%と、全体的に7割以上の方が「ある」と答えています。

##### 普段、気持ちの落ち込み、寂しい気分やむしゃくしゃすること



#### (5) 落ち込んだ時の気分転換（複数回答）

全体として、落ち込んだ時の気分転換の上位3項目は「誰かと話す」「音楽を聞いたり、歌を歌う」「テレビや映画、動画などを見る」が占めており、身体障がい者では「テレビや映画、動画などを見る」49.5% (347人)が、知的障がい者でも「テレビや映画、動画などを見る」48.8% (157人)が、精神障がい者では「誰かと話す」41.0% (91人)が最も多くなっています。

##### 落ち込んだ時の気分転換

	身体 (701人)	知的 (322人)	精神 (222人)
誰かと話す	44.2% (310人)	38.5% (124人)	41.0% (91人)
音楽を聞いたり、歌を歌う	33.4% (234人)	44.4% (143人)	40.5% (90人)
テレビや映画、動画などを見る	49.5% (347人)	48.8% (157人)	40.5% (90人)
身体を動かす	27.8% (195人)	21.4% (69人)	17.1% (38人)
その他	10.7% (75人)	11.8% (38人)	15.3% (34人)
気分転換の方法がわからない	6.4% (45人)	9.6% (31人)	10.4% (23人)
無回答	2.4% (17人)	3.4% (11人)	1.8% (4人)

(6) 落ち込んだ時の相談相手や場所（複数回答）

落ち込んだ時の相談相手や場所について、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者ともに「家族や親せき」と回答した人が最も多く、次いで「友人・知人」の順となっています。

また、知的障がい者では「施設の指導員など」19.3% (62人)、精神障がい者では「施設の指導員など」21.2% (47人)と「かかりつけの医師や看護師」20.7% (46人)が2割前後と、その他の相談相手や場所と比較してやや多くなっています。

落ち込んだ時の相談相手や場所

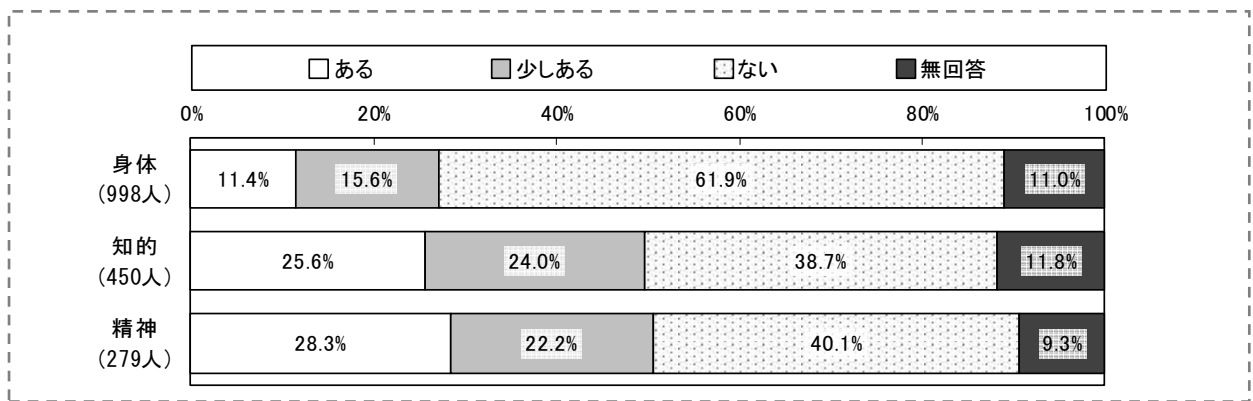
	身体 (701人)	知的 (322人)	精神 (222人)
家族や親せき	71.3% (500人)	68.3% (220人)	59.0% (131人)
友人・知人	32.0% (224人)	23.6% (76人)	24.8% (55人)
近所の人	3.4% (24人)	2.2% (7人)	1.8% (4人)
職場の上司や同僚	4.0% (28人)	8.4% (27人)	9.5% (21人)
施設の指導員など	7.0% (49人)	19.3% (62人)	21.2% (47人)
ホームヘルパーなどサービス事業所の人	7.8% (55人)	10.2% (33人)	10.4% (23人)
障がい者団体や家族会	0.9% (6人)	1.6% (5人)	0.5% (1人)
かかりつけの医師や看護師	11.0% (77人)	9.0% (29人)	20.7% (46人)
病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー	8.7% (61人)	4.3% (14人)	11.3% (25人)
民生委員・児童委員	0.7% (5人)	0.9% (3人)	0.5% (1人)
相談支援事業所	2.3% (16人)	8.4% (27人)	13.1% (29人)
地域活動支援センター	1.0% (7人)	2.5% (8人)	0.5% (1人)
行政機関の相談窓口	1.0% (7人)	1.6% (5人)	3.6% (8人)
よりそいホットライン(24時間)	0.0% (0人)	0.3% (1人)	0.5% (1人)
いのちの電話	0.6% (4人)	1.2% (4人)	1.4% (3人)
その他	4.6% (32人)	7.8% (25人)	7.7% (17人)
話せる人はいない	6.7% (47人)	5.3% (17人)	7.2% (16人)
無回答	2.0% (14人)	3.7% (12人)	2.7% (6人)

## 7. 障がいの理解や権利擁護について

### (1) 差別を受けたこと

差別を受けたことが「ある」、「少しある」を合わせると、身体障がい者では3割弱、知的障がい者では5割弱、精神障がい者では5割余りが差別を経験しています。

#### 差別を受けたこと



年代別にみると、身体障がい者では10代、20代、30代、40代の4割以上が「ある」または「少しある」と答えています。また、50代以上では高齢になるほど「ある」「少しある」と答えた方が減少しています。

#### 差別を受けたこと（年代別）

身体	回答者実数	ある	少しある	ない	無回答
10代	7人	42.9% (3人)	14.3% (1人)	28.6% (2人)	14.3% (1人)
20代	45人	17.8% (8人)	28.9% (13人)	51.1% (23人)	2.2% (1人)
30代	42人	16.7% (7人)	28.6% (12人)	47.6% (20人)	7.1% (3人)
40代	72人	25.0% (18人)	25.0% (18人)	41.7% (30人)	8.3% (6人)
50代	121人	16.5% (20人)	19.0% (23人)	54.5% (66人)	9.9% (12人)
60代	210人	11.4% (24人)	18.1% (38人)	60.0% (126人)	10.5% (22人)
70代	277人	5.4% (15人)	11.2% (31人)	69.7% (193人)	13.7% (38人)
80代以上	193人	8.8% (17人)	9.3% (18人)	72.0% (139人)	9.8% (19人)



知的障がい者では、10代、20代、30代、40代の5割以上が「ある」または「少しある」と答えています。また、50代以上では、高齢になるほど「ある」「少しある」と答えた方が減少しています。

差別を受けたこと（年代別）

知的	回答者実数	ある	少しある	ない	無回答
10代	32人	37.5% (12人)	25.0% (8人)	34.4% (11人)	3.1% (1人)
20代	122人	27.9% (34人)	27.9% (34人)	40.2% (49人)	4.1% (5人)
30代	88人	28.4% (25人)	23.9% (21人)	38.6% (34人)	9.1% (8人)
40代	82人	23.2% (19人)	26.8% (22人)	34.1% (28人)	15.9% (13人)
50代	49人	22.4% (11人)	24.5% (12人)	36.7% (18人)	16.3% (8人)
60代	39人	17.9% (7人)	17.9% (7人)	41.0% (16人)	23.1% (9人)
70代	23人	13.0% (3人)	13.0% (3人)	43.5% (10人)	30.4% (7人)
80代以上	8人	12.5% (1人)	0.0% (0人)	75.0% (6人)	12.5% (1人)

精神障がい者では、10代、20代、30代、60代の5割以上が、40代、50代では4割余りが、「ある」または「少しある」と答えています。また70代以上では高齢になるほど「ある」「少しある」と答えた方が減少しています。

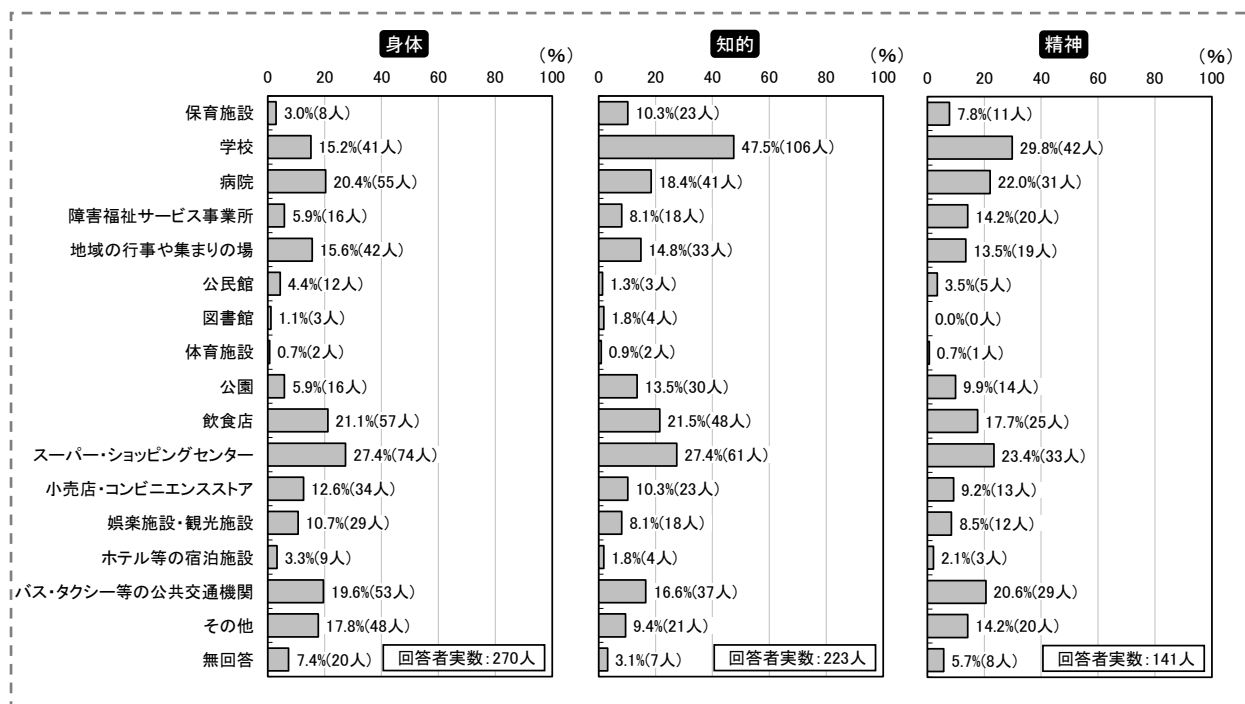
差別を受けたこと（年代別）

精神	回答者実数	ある	少しある	ない	無回答
10代	8人	50.0% (4人)	37.5% (3人)	12.5% (1人)	0.0% (0人)
20代	31人	41.9% (13人)	29.0% (9人)	29.0% (9人)	0.0% (0人)
30代	38人	36.8% (14人)	23.7% (9人)	26.3% (10人)	13.2% (5人)
40代	43人	34.9% (15人)	9.3% (4人)	46.5% (20人)	9.3% (4人)
50代	52人	25.0% (13人)	21.2% (11人)	48.1% (25人)	5.8% (3人)
60代	47人	19.1% (9人)	40.4% (19人)	34.0% (16人)	6.4% (3人)
70代	35人	11.4% (4人)	8.6% (3人)	57.1% (20人)	22.9% (8人)
80代以上	16人	31.3% (5人)	12.5% (2人)	50.0% (8人)	6.3% (1人)

## (2) 差別を受けた場所（複数回答）

差別を経験した人に対して、差別を受けた場所を尋ねたところ、身体障がい者では「スーパー・ショッピングセンター」27.4%（74人）、知的障がい者では「学校」47.5%（106人）、精神障がい者も「学校」29.8%（42人）が最も多く、次いで、身体障がい者では「飲食店」、「病院」、「バス・タクシー等の公共交通機関」が、知的障がい者では「スーパー・ショッピングセンター」と「飲食店」が、精神障がい者では「スーパー・ショッピングセンター」、「病院」、「バス・タクシー等の公共交通機関」が多くなっています。

### 差別を受けたこと



身体障がい者が差別を受けた場所を年代別にみると、概ねすべての年代で「スーパー・ショッピングセンター」が多くなっています。そのほか、10代では「地域の行事や集まりの場」、20代では「学校」、30代では「飲食店」、「娯楽施設・観光施設」、「バス・タクシー等の公共交通機関」、40代では「バス・タクシー等の公共交通機関」、50代では「飲食店」、「学校」、「バス・タクシー等の公共交通機関」、60代と70代では「病院」と「飲食店」、80代以上では「病院」と「地域の行事や集まりの場」が多くなっています。

差別を受けた場所（年代別）

身体	回答者実数	保育施設	学校	病院	障害福祉サービス事業所	地域の行事や集まりの場	公民館	図書館	体育施設	公園	飲食店	スーパー・ショッピングセンター	小売店・コンビニエンスストア	娯楽施設・観光施設	ホテル等の宿泊施設	バス・タクシー等の公共交通機関	その他	無回答
10代	4人	0.0% (0人)	25.0% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	50.0% (2人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	25.0% (1人)	75.0% (3人)	0.0% (0人)	25.0% (1人)	0.0% (0人)	25.0% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)
20代	21人	14.3% (3人)	47.6% (10人)	33.3% (7人)	4.8% (1人)	19.0% (4人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	33.3% (7人)	28.6% (6人)	42.9% (9人)	4.8% (1人)	23.8% (5人)	4.8% (1人)	14.3% (3人)	19.0% (4人)	0.0% (0人)
30代	19人	5.3% (1人)	15.8% (3人)	10.5% (2人)	5.3% (1人)	10.5% (2人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	26.3% (5人)	26.3% (5人)	15.8% (3人)	26.3% (5人)	5.3% (1人)	26.3% (5人)	10.5% (2人)	5.3% (1人)
40代	36人	0.0% (0人)	19.4% (7人)	11.1% (4人)	2.8% (1人)	11.1% (4人)	2.8% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	2.8% (1人)	19.4% (7人)	27.8% (10人)	13.9% (5人)	11.1% (4人)	5.6% (2人)	25.0% (9人)	19.4% (7人)	2.8% (1人)
50代	43人	4.7% (2人)	25.6% (11人)	20.9% (9人)	7.0% (3人)	14.0% (6人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	2.3% (1人)	7.0% (3人)	27.9% (12人)	32.6% (14人)	16.3% (7人)	2.3% (1人)	2.3% (1人)	25.6% (11人)	20.9% (9人)	9.3% (4人)
60代	62人	1.6% (1人)	9.7% (6人)	21.0% (13人)	3.2% (2人)	16.1% (10人)	3.2% (2人)	1.6% (1人)	0.0% (0人)	3.2% (2人)	21.0% (13人)	14.5% (9人)	8.1% (5人)	11.3% (7人)	3.2% (2人)	17.7% (11人)	22.6% (14人)	8.1% (5人)
70代	46人	2.2% (1人)	2.2% (1人)	26.1% (12人)	15.2% (7人)	15.2% (7人)	8.7% (4人)	2.2% (1人)	2.2% (1人)	6.5% (3人)	17.4% (8人)	32.6% (15人)	17.4% (8人)	4.3% (2人)	2.2% (1人)	19.6% (9人)	8.7% (4人)	10.9% (5人)
80代以上	35人	0.0% (0人)	5.7% (2人)	22.9% (8人)	0.0% (0人)	20.0% (7人)	11.4% (4人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	11.4% (4人)	20.0% (7人)	11.4% (4人)	8.6% (3人)	2.9% (1人)	11.4% (4人)	22.9% (8人)	11.4% (4人)

知的障がい者が差別を受けた場所を年代別にみると、10代から60代では「学校」が最も多く、次に多いのが「スーパー・ショッピングセンター」でした。また、50代では「病院」が、20代と60代では「飲食店」の割合も高くなっています。

差別を受けた場所（年代別）

知的	回答者実数	保育施設	学校	病院	事業所 障害福祉サービス	地域の行事や 集まりの場	公民館	図書館	体育施設	公園	飲食店	スーパー・ ショッピングセンター	小売店・コンビニ エンスストア	娯楽施設・観光施設	ホテル等の宿泊施設	公共交通機関 バス・タクシー等の	その他	無回答
10代	20人	10.0% (2人)	50.0% (10人)	20.0% (4人)	5.0% (1人)	20.0% (4人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	15.0% (3人)	15.0% (3人)	35.0% (7人)	5.0% (1人)	10.0% (2人)	0.0% (0人)	10.0% (2人)	10.0% (2人)	0.0% (0人)
20代	68人	8.8% (6人)	58.8% (40人)	17.6% (12人)	5.9% (4人)	17.6% (12人)	1.5% (1人)	1.5% (1人)	0.0% (0人)	20.6% (14人)	23.5% (16人)	23.5% (16人)	10.3% (7人)	10.3% (7人)	1.5% (1人)	16.2% (11人)	11.8% (8人)	0.0% (0人)
30代	46人	17.4% (8人)	50.0% (23人)	19.6% (9人)	8.7% (4人)	21.7% (10人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	2.2% (1人)	8.7% (4人)	23.9% (11人)	34.8% (16人)	15.2% (7人)	15.2% (7人)	4.3% (2人)	23.9% (11人)	6.5% (3人)	2.2% (1人)
40代	41人	4.9% (2人)	39.0% (16人)	17.1% (7人)	14.6% (6人)	9.8% (4人)	0.0% (0人)	2.4% (1人)	2.4% (1人)	7.3% (3人)	17.1% (7人)	22.0% (9人)	4.9% (2人)	2.4% (1人)	0.0% (0人)	4.9% (2人)	12.2% (5人)	2.4% (1人)
50代	23人	8.7% (2人)	43.5% (10人)	26.1% (6人)	13.0% (3人)	8.7% (2人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	17.4% (4人)	21.7% (5人)	30.4% (7人)	13.0% (3人)	0.0% (0人)	4.3% (1人)	26.1% (6人)	13.0% (3人)	4.3% (1人)
60代	14人	14.3% (2人)	50.0% (7人)	14.3% (2人)	0.0% (0人)	7.1% (1人)	7.1% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	21.4% (3人)	14.3% (2人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	14.3% (2人)	0.0% (0人)	14.3% (2人)
70代	6人	16.7% (1人)	0.0% (0人)	16.7% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	33.3% (2人)	33.3% (2人)	33.3% (2人)	33.3% (2人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	33.3% (2人)	0.0% (0人)	16.7% (1人)
80代以上	1人	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	100.0% (1人)

精神障がい者が差別を受けた場所を年代別にみると、10代から30代では「学校」が多く、次に多いのが「スーパー・ショッピングセンター」でした。また、50代から70代では「病院」が、60代と70代では「飲食店」の割合も高くなっています。

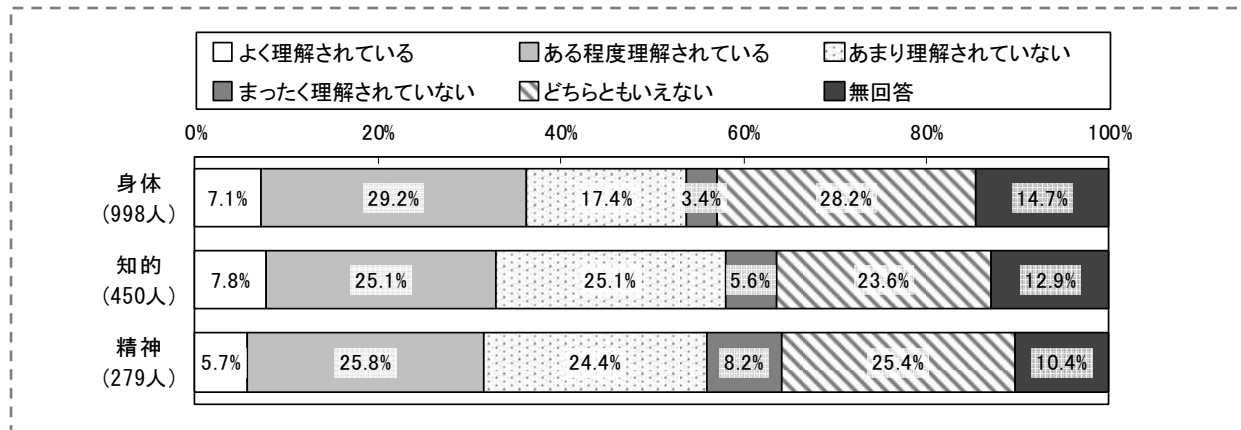
差別を受けた場所（年代別）

精神	回答者実数	保育施設	学校	病院	事業所 障害福祉サービス	地域の行事や 集まりの場	公民館	図書館	体育施設	公園	飲食店	スーパー・ ショッピングセンター	小売店・コンビニ エンスストア	娯楽施設・観光施設	ホテル等の宿泊施設	公共交通機関 バス・タクシー等の	その他	無回答
10代	7人	28.6% (2人)	42.9% (3人)	28.6% (2人)	0.0% (0人)	28.6% (2人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	28.6% (2人)	28.6% (2人)	42.9% (3人)	0.0% (0人)	14.3% (1人)	0.0% (0人)	14.3% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)
20代	22人	13.6% (3人)	63.6% (14人)	9.1% (2人)	9.1% (2人)	18.2% (4人)	4.5% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	13.6% (3人)	9.1% (2人)	13.6% (3人)	4.5% (1人)	9.1% (2人)	0.0% (0人)	18.2% (4人)	13.6% (3人)	0.0% (0人)
30代	23人	13.0% (3人)	39.1% (9人)	21.7% (5人)	17.4% (4人)	13.0% (3人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	21.7% (5人)	21.7% (5人)	17.4% (4人)	21.7% (5人)	4.3% (1人)	26.1% (6人)	8.7% (2人)	8.7% (2人)
40代	19人	0.0% (0人)	21.1% (4人)	15.8% (3人)	15.8% (3人)	15.8% (3人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	5.3% (1人)	10.5% (2人)	26.3% (5人)	10.5% (2人)	10.5% (2人)	0.0% (0人)	21.1% (4人)	21.1% (4人)	0.0% (0人)
50代	24人	8.3% (2人)	25.0% (6人)	29.2% (7人)	20.8% (5人)	16.7% (4人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	4.2% (1人)	16.7% (4人)	12.5% (3人)	33.3% (8人)	8.3% (2人)	0.0% (0人)	4.2% (1人)	25.0% (6人)	12.5% (3人)	8.3% (2人)
60代	28人	0.0% (0人)	14.3% (4人)	25.0% (7人)	7.1% (2人)	3.6% (1人)	3.6% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	3.6% (1人)	21.4% (6人)	14.3% (4人)	3.6% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	14.3% (4人)	25.0% (7人)	7.1% (2人)
70代	7人	0.0% (0人)	0.0% (0人)	28.6% (2人)	28.6% (2人)	14.3% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	42.9% (3人)	28.6% (2人)	28.6% (2人)	28.6% (2人)	0.0% (0人)	14.3% (1人)	28.6% (2人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)
80代以上	7人	0.0% (0人)	14.3% (1人)	28.6% (2人)	0.0% (0人)	14.3% (1人)	28.6% (2人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	14.3% (1人)	14.3% (1人)	14.3% (1人)	14.3% (1人)	0.0% (0人)	14.3% (1人)	14.3% (1人)	28.6% (2人)

### (3) 障がい者に対する市民の理解

障がい者に対する市民の理解について、どう感じているかを尋ねたところ、「よく理解されている」もしくは「ある程度理解されている」と答えた方は、身体障がい者が36.3%(362人)、知的障がい者が32.9%(148人)、精神障がい者が31.5%(88人)で、3障がいとも3割台となっています。

障がい者に対する市民の理解



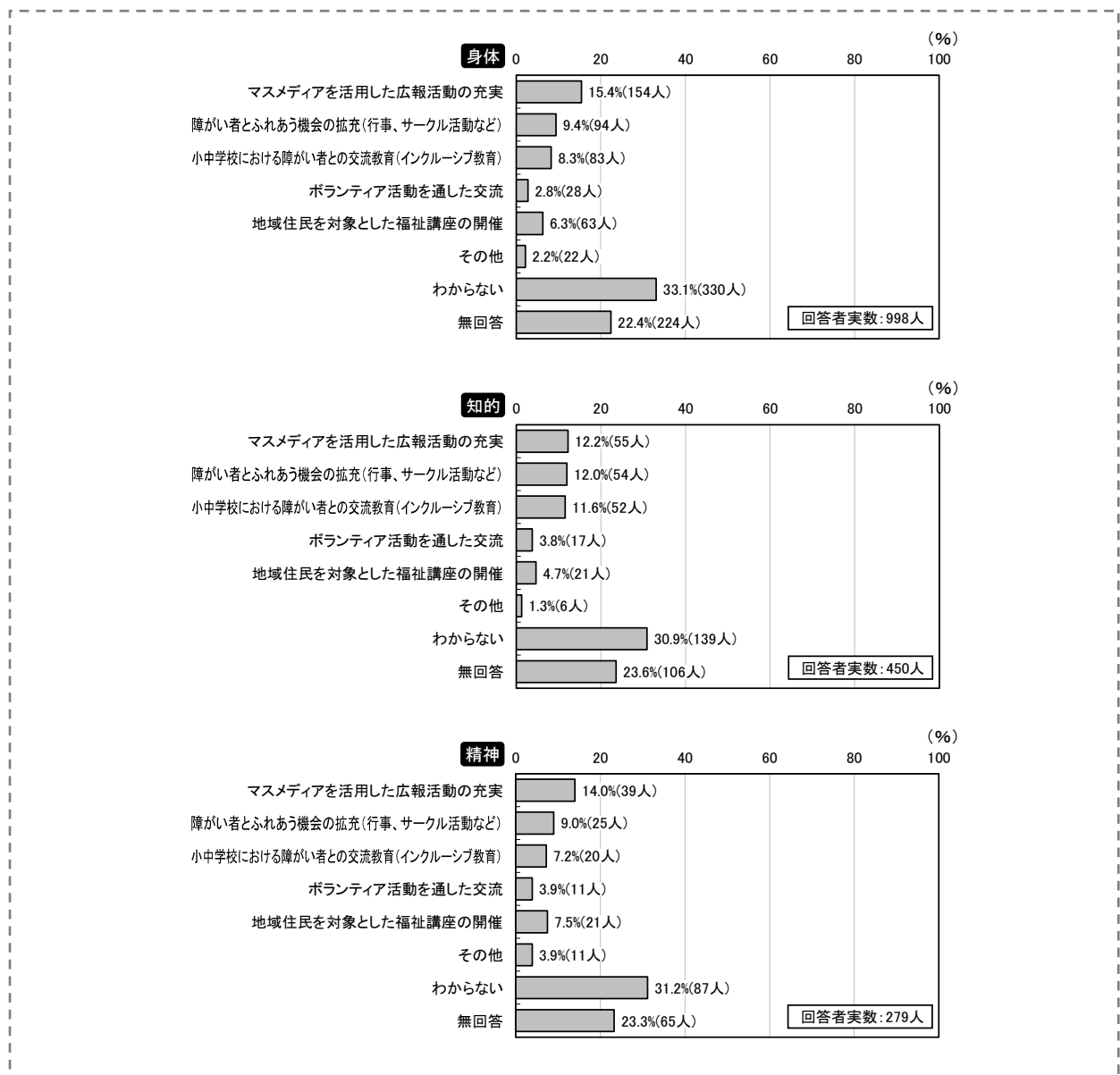
#### (4) 障がい者に対する理解を深めるために必要なこと

障がい者に対する理解を深めるために必要な取り組みについて、身体障がい者では「マスメディアを活用した広報活動の充実」15.4%(154人)が最も多く、次いで「障がい者とふれあう機会の拡充(行事、サークル活動など)」9.4%(94人)、「小中学校における障がい者との交流教育(インクルーシブ教育)」8.3%(83人)の順となっています。

知的障がい者では、「マスメディアを活用した広報活動の充実」12.2%(55人)が最も多く、次いで「障がい者とふれあう機会の拡充(行事、サークル活動など)」12.0%(54人)、「小中学校における障がい者との交流教育(インクルーシブ教育)」11.6%(52人)の順となっています。

精神障がい者では、「マスメディアを活用した広報活動の充実」14.0%(39人)が最も多く、次いで「障がい者とふれあう機会の拡充(行事、サークル活動など)」9.0%(25人)、「地域住民を対象とした福祉講座の開催」7.5%(21人)の順となっています。

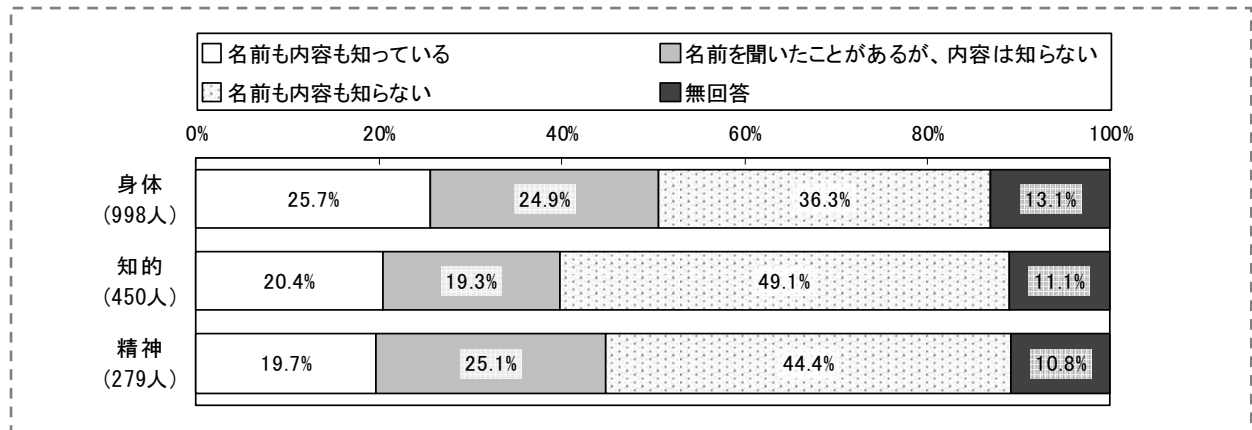
#### 障がい者に対する理解を深めるために必要なこと



## (5) 成年後見制度の周知度

「名前も内容も知っている」と「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」を合わせた「成年後見制度を知っている人」は身体障がい者50.6%(505人)、知的障がい者39.7%(179人)、精神障がい者44.8%(125人)となっています。また、制度について「名前も内容も知らない」と答えた方の割合は、身体障がい者36.3%(362人)、知的障がい者49.1%(221人)、精神障がい者44.4%(124人)となっています。

### 成年後見制度の周知度



成年後見制度の周知度を年代別にみると、身体障がい者では30代以上では「名前も内容も知らない」が最も多く、また、「名前も内容も知っている」と答えた方は、10代、50代、80代以上でやや低いものの、多くの年代で3割前後となっています。

### 成年後見制度の周知度（年代別）

身体	回答者実数	名前も内容も知っている	名前を聞いたことがあるが、内容は知らない	名前も内容も知らない	無回答
10代	7人	14.3% (1人)	71.4% (5人)	14.3% (1人)	0.0% (0人)
20代	45人	33.3% (15人)	31.1% (14人)	31.1% (14人)	4.4% (2人)
30代	42人	26.2% (11人)	26.2% (11人)	42.9% (18人)	4.8% (2人)
40代	72人	26.4% (19人)	19.4% (14人)	36.1% (26人)	18.1% (13人)
50代	121人	19.8% (24人)	27.3% (33人)	42.1% (51人)	10.7% (13人)
60代	210人	29.0% (61人)	24.8% (52人)	34.8% (73人)	11.4% (24人)
70代	277人	27.1% (75人)	27.8% (77人)	30.7% (85人)	14.4% (40人)
80代以上	193人	21.8% (42人)	19.7% (38人)	42.0% (81人)	16.6% (32人)

知的障がい者では、全ての年代で「名前も内容も知らない」が最も多く、また、「名前も内容も知っている」と答えた方の割合は、20代と30代でやや高いものの、その他の年代では低率となっています。

成年後見制度の周知度（年代別）

知的	回答者実数	名前も内容も知っている	名前を聞いたことがあるが、内容は知らない	名前も内容も知らない	無回答
10代	32人	9.4% (3人)	40.6% (13人)	43.8% (14人)	6.3% (2人)
20代	122人	23.0% (28人)	23.0% (28人)	50.0% (61人)	4.1% (5人)
30代	88人	33.0% (29人)	19.3% (17人)	42.0% (37人)	5.7% (5人)
40代	82人	18.3% (15人)	13.4% (11人)	50.0% (41人)	18.3% (15人)
50代	49人	6.1% (3人)	10.2% (5人)	69.4% (34人)	14.3% (7人)
60代	39人	12.8% (5人)	23.1% (9人)	43.6% (17人)	20.5% (8人)
70代	23人	17.4% (4人)	13.0% (3人)	47.8% (11人)	21.7% (5人)
80代以上	8人	12.5% (1人)	12.5% (1人)	50.0% (4人)	25.0% (2人)

精神障がい者では、10代以外の全ての年代で「名前も内容も知らない」が最も多く、また、「名前も内容も知っている」と答えた方の割合は、20代、30代、40代でやや高いものの、その他の年代では低率に止まっています。

成年後見制度の周知度（年代別）

精神	回答者実数	名前も内容も知っている	名前を聞いたことがあるが、内容は知らない	名前も内容も知らない	無回答
10代	8人	12.5% (1人)	75.0% (6人)	12.5% (1人)	0.0% (0人)
20代	31人	32.3% (10人)	19.4% (6人)	45.2% (14人)	3.2% (1人)
30代	38人	23.7% (9人)	26.3% (10人)	39.5% (15人)	10.5% (4人)
40代	43人	20.9% (9人)	14.0% (6人)	53.5% (23人)	11.6% (5人)
50代	52人	15.4% (8人)	23.1% (12人)	59.6% (31人)	1.9% (1人)
60代	47人	14.9% (7人)	36.2% (17人)	38.3% (18人)	10.6% (5人)
70代	35人	17.1% (6人)	28.6% (10人)	31.4% (11人)	22.9% (8人)
80代以上	16人	12.5% (2人)	6.3% (1人)	43.8% (7人)	37.5% (6人)

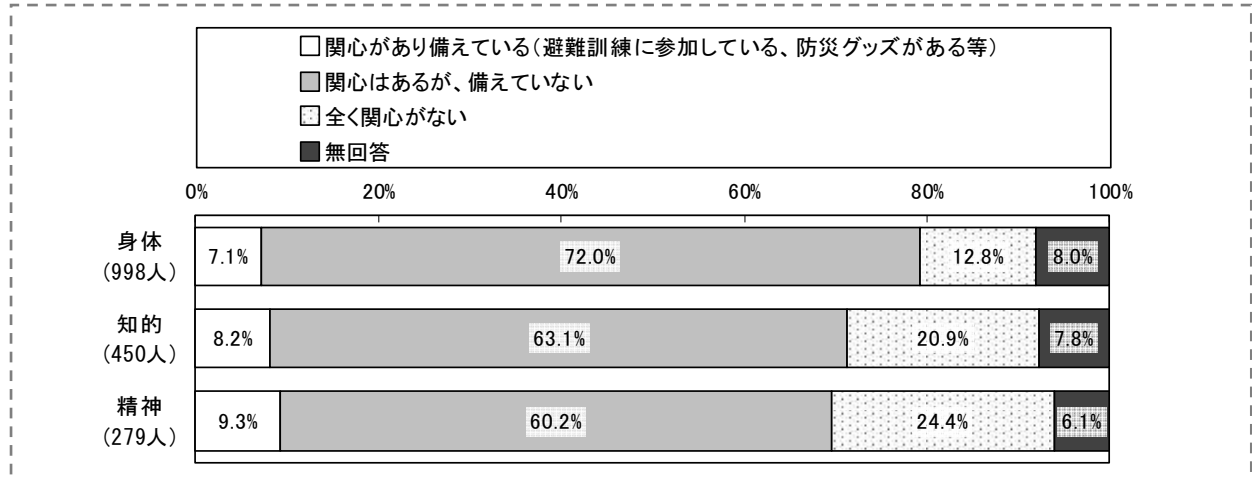


## 8. 災害時の避難等について

### (1) 災害についての意識

災害についての意識については、「関心があり備えている」と回答した方の割合は全体的に1割を下回っている一方で、「関心はあるが、備えていない」と「全く関心がない」を合わせた「備えていない」割合は、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者いずれも8割を超えています。

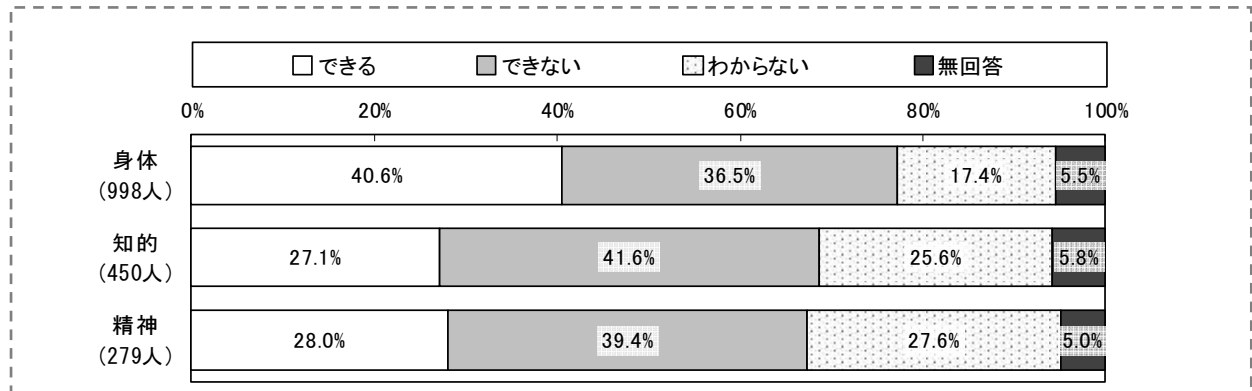
#### 災害についての意識



### (2) 災害時の避難

災害時に自分で避難「できる」と答えた方は、身体障がい者が40.6% (405人)、知的障がい者が27.1% (122人)、精神障がい者が28.0% (78人)となっており、多くの方が自分で避難「できない」と答えています。

#### 災害時の避難



身体障がい者で災害時に自分で避難「できる」と答えた方の割合を年代別にみると、40代から70代では4割～5割前後となっています。一方、10代、20代、30代、80代以上では、自分で避難「できない」と答えた方が多く、特に10代と20代では半数以上を占めています。

災害時の避難（年代別）

身体	回答者実数	できる	できない	わからない	無回答
10代	7人	14.3% (1人)	71.4% (5人)	14.3% (1人)	0.0% (0人)
20代	45人	28.9% (13人)	60.0% (27人)	8.9% (4人)	2.2% (1人)
30代	42人	35.7% (15人)	40.5% (17人)	19.0% (8人)	4.8% (2人)
40代	72人	45.8% (33人)	31.9% (23人)	16.7% (12人)	5.6% (4人)
50代	121人	51.2% (62人)	20.7% (25人)	19.8% (24人)	8.3% (10人)
60代	210人	43.3% (91人)	34.3% (72人)	17.6% (37人)	4.8% (10人)
70代	277人	44.8% (124人)	31.8% (88人)	16.6% (46人)	6.9% (19人)
80代以上	193人	28.0% (54人)	49.7% (96人)	18.7% (36人)	3.6% (7人)

知的障がい者で災害時に自分で避難「できる」と答えた方の割合を年代別にみると、50代のみが4割弱で他の年代では概ね2割台となっています。また、自分で避難「できない」と答えた方が年代によらず全体的に多くなっています。

災害時の避難（年代別）

知的	回答者実数	できる	できない	わからない	無回答
10代	32人	15.6% (5人)	62.5% (20人)	21.9% (7人)	0.0% (0人)
20代	122人	29.5% (36人)	42.6% (52人)	26.2% (32人)	1.6% (2人)
30代	88人	27.3% (24人)	37.5% (33人)	29.5% (26人)	5.7% (5人)
40代	82人	24.4% (20人)	42.7% (35人)	29.3% (24人)	3.7% (3人)
50代	49人	38.8% (19人)	32.7% (16人)	18.4% (9人)	10.2% (5人)
60代	39人	25.6% (10人)	46.2% (18人)	20.5% (8人)	7.7% (3人)
70代	23人	21.7% (5人)	21.7% (5人)	34.8% (8人)	21.7% (5人)
80代以上	8人	25.0% (2人)	62.5% (5人)	0.0% (0人)	12.5% (1人)

精神障がい者で災害時に自分で避難「できる」と答えた方の割合を年代別にみると、50代以上では概ね3割を超えています。40代以下では低率となっています。また、自分で避難「できない」と答えた方も同程度の割合で、特に40代以下で多い傾向があります。

災害時の避難（年代別）

精神	回答者実数	できる	できない	わからない	無回答
10代	8人	0.0% (0人)	87.5% (7人)	12.5% (1人)	0.0% (0人)
20代	31人	19.4% (6人)	51.6% (16人)	29.0% (9人)	0.0% (0人)
30代	38人	23.7% (9人)	42.1% (16人)	23.7% (9人)	10.5% (4人)
40代	43人	23.3% (10人)	44.2% (19人)	27.9% (12人)	4.7% (2人)
50代	52人	32.7% (17人)	32.7% (17人)	32.7% (17人)	1.9% (1人)
60代	47人	36.2% (17人)	36.2% (17人)	23.4% (11人)	4.3% (2人)
70代	35人	31.4% (11人)	25.7% (9人)	31.4% (11人)	11.4% (4人)
80代以上	16人	37.5% (6人)	37.5% (6人)	25.0% (4人)	0.0% (0人)

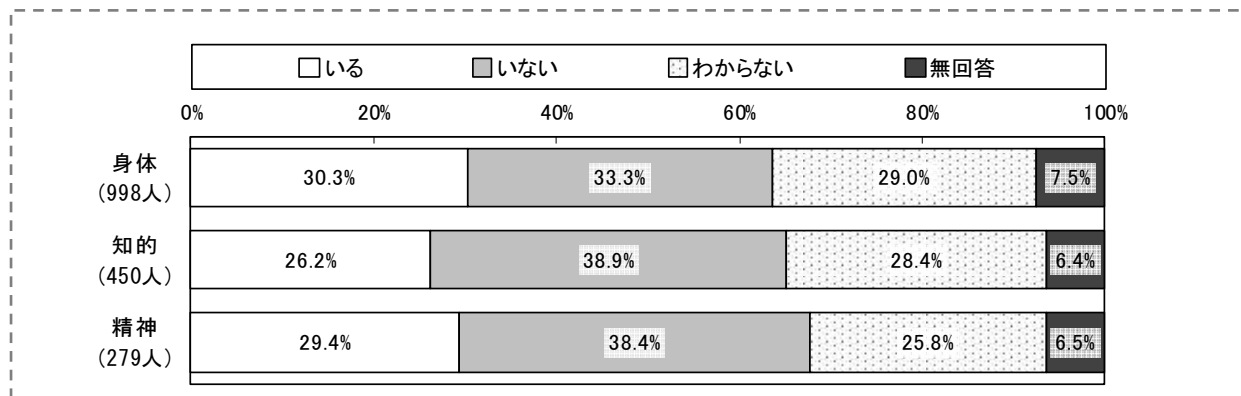
身体障がいの部位別に災害時に自分で避難「できる」と答えた方は、内部機能障がい6割弱、聴覚障がい5割弱となっており、その他の部位では「できない」が高くなっています。また、「できない」と答えた方の割合が非常に高いのは、肢体不自由(体幹)で約7割を占めているほか、「乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障がい」が6割を占めています。災害時の避難（身体障がいの部位別）

身体	回答者実数	できる	できない	わからない	無回答	
視覚障がい	60人	13.3% (8人)	58.3% (35人)	23.3% (14人)	5.0% (3人)	
聴覚又は平衡機能の障がい	91人	48.4% (44人)	22.0% (20人)	27.5% (25人)	2.2% (2人)	
音声・言語・そしゃく機能障がい	29人	27.6% (8人)	34.5% (10人)	27.6% (8人)	10.3% (3人)	
肢体不自由	上肢	39人	28.2% (11人)	41.0% (16人)	23.1% (9人)	7.7% (3人)
	下肢	126人	27.0% (34人)	56.3% (71人)	10.3% (13人)	6.3% (8人)
	体幹	49人	14.3% (7人)	69.4% (34人)	12.2% (6人)	4.1% (2人)
	乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障がい	46人	15.2% (7人)	60.9% (28人)	17.4% (8人)	6.5% (3人)
内部機能障がい	380人	58.9% (224人)	20.8% (79人)	16.3% (62人)	3.9% (15人)	

### (3) 近所に助けてくれる人はいるか

災害時の避難の際に、近所の支援者の有無について、「いる」と答えた方は身体障がい者で30.3% (302人)、知的障がい者で26.2% (118人)、精神障がい者では29.4% (82人)となっています。また、「いない」は身体障がい者の33.3% (332人)、知的障がい者の38.9% (175人)、精神障がい者の38.4% (107人)であり、知的障がい者と精神障がい者では約4割が近所に支援者がいない状況となっています。

#### 近所に助けてくれる人はいるか



地域別にみると、身体障がい者で「いない」と答えた方の割合は、具志川地域と石川地域で3割台半ば、勝連地域と与那城地域では3割弱となっています。

#### 近所に助けてくれる人はいるか (地域別)

身体	回答者実数	いる	いない	わからない	無回答
具志川地域	557人	28.0% (156人)	34.3% (191人)	30.0% (167人)	7.7% (43人)
石川地域	167人	34.1% (57人)	34.1% (57人)	26.9% (45人)	4.8% (8人)
勝連地域	123人	35.0% (43人)	27.6% (34人)	27.6% (34人)	9.8% (12人)
与那城地域	116人	31.0% (36人)	29.3% (34人)	35.3% (41人)	4.3% (5人)

知的障がい者で「いない」と答えた方の割合は、具志川地域では4割余り、石川地域と与那城地域では3割台半ば、勝連地域では3割弱となっています。

#### 近所に助けてくれる人はいるか (地域別)

知的	回答者実数	いる	いない	わからない	無回答
具志川地域	280人	24.6% (69人)	42.1% (118人)	26.8% (75人)	6.4% (18人)
石川地域	70人	34.3% (24人)	35.7% (25人)	25.7% (18人)	4.3% (3人)
勝連地域	46人	34.8% (16人)	26.1% (12人)	28.3% (13人)	10.9% (5人)
与那城地域	44人	15.9% (7人)	36.4% (16人)	43.2% (19人)	4.5% (2人)

精神障がい者で「いない」と答えた方の割合は、与那城地域では約5割、具志川地域と石川地域で4割弱、勝連地域で約3割となっています。

#### 近所に助けてくれる人はいるか（地域別）

精神	回答者実数	いる	いない	わからない	無回答
具志川地域	151人	24.5% (37人)	39.7% (60人)	28.5% (43人)	7.3% (11人)
石川地域	57人	43.9% (25人)	35.1% (20人)	15.8% (9人)	5.3% (3人)
勝連地域	33人	33.3% (11人)	30.3% (10人)	27.3% (9人)	9.1% (3人)
与那城地域	30人	20.0% (6人)	46.7% (14人)	33.3% (10人)	0.0% (0人)

現在の暮らし別にみると、身体障がい者で「いない」と答えた方の割合は、一人で暮らしている人、家族と暮らしている人では3割台半ば、その他の暮らしの状況では2割前後となっています。

#### 近所に助けてくれる人はいるか（暮らしの状況別）

身体	回答者実数	いる	いない	わからない	無回答
一人で暮らしている	204人	34.8% (71人)	33.8% (69人)	24.5% (50人)	6.9% (14人)
家族と暮らしている	675人	28.6% (193人)	35.4% (239人)	30.4% (205人)	5.6% (38人)
グループホームで暮らしている	25人	44.0% (11人)	16.0% (4人)	32.0% (8人)	8.0% (2人)
病院に入院している	27人	33.3% (9人)	22.2% (6人)	18.5% (5人)	25.9% (7人)
その他	46人	30.4% (14人)	23.9% (11人)	32.6% (15人)	13.0% (6人)

知的障がい者で「いない」と答えた方の割合は、家族で暮らしている人で4割余り、一人で暮らしている人では3割弱となっています。

#### 近所に助けてくれる人はいるか（暮らしの状況別）

知的	回答者実数	いる	いない	わからない	無回答
一人で暮らしている	25人	48.0% (12人)	28.0% (7人)	16.0% (4人)	8.0% (2人)
家族と暮らしている	345人	22.0% (76人)	43.2% (149人)	30.1% (104人)	4.6% (16人)
グループホームで暮らしている	40人	42.5% (17人)	17.5% (7人)	30.0% (12人)	10.0% (4人)
病院に入院している	11人	54.5% (6人)	9.1% (1人)	27.3% (3人)	9.1% (1人)
その他	14人	42.9% (6人)	35.7% (5人)	7.1% (1人)	14.3% (2人)

精神障がい者で「いない」と答えた方の割合は、家族と暮らしている人で5割弱、一人で暮らしている人と病院に入院している人では約3割となっています。

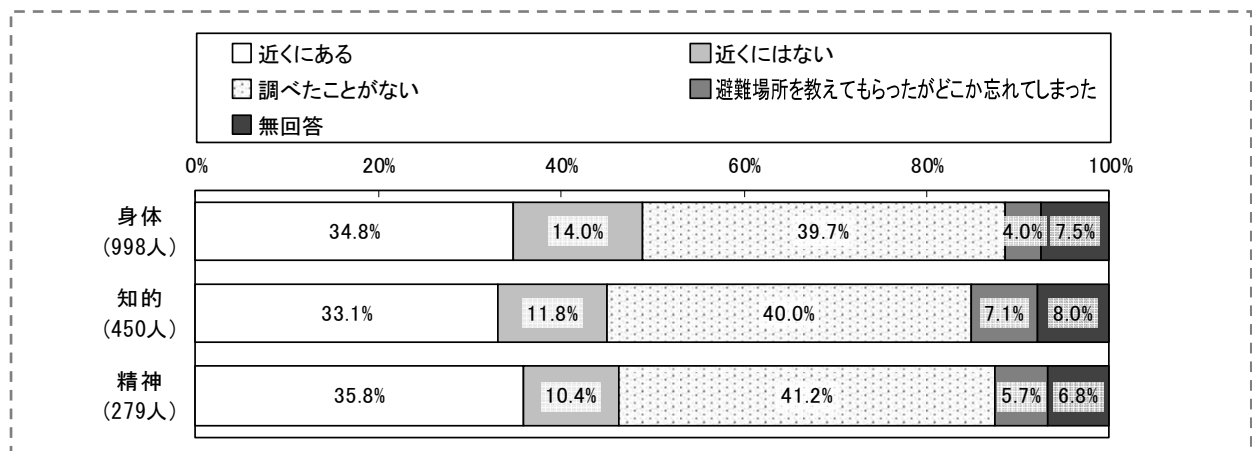
近所に助けてくれる人はいるか（暮らしの状況別）

精神	回答者実数	いる	いない	わからない	無回答
一人で暮らしている	50人	40.0% (20人)	30.0% (15人)	22.0% (11人)	8.0% (4人)
家族と暮らしている	171人	19.9% (34人)	48.0% (82人)	28.1% (48人)	4.1% (7人)
グループホームで暮らしている	33人	54.5% (18人)	15.2% (5人)	24.2% (8人)	6.1% (2人)
病院に入院している	13人	38.5% (5人)	30.8% (4人)	23.1% (3人)	7.7% (1人)
その他	8人	50.0% (4人)	12.5% (1人)	12.5% (1人)	25.0% (2人)

(4) 災害時に避難する場所

災害時に避難する場所についてみると、「調べたことがない」が、3障がいとも4割程度を占めており、最も高くなっています。「近くにある」と答えた方は、3障がいともに、3割台半ばとなっています。

災害時に避難する場所



(5) 災害時に困ること（複数回答）

身体障がい者では「避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安」という回答が44.7%(446人)で最も多く、次いで「投薬や治療が受けられない」43.7%(436人)、「安全なところまで、迅速に避難することができない」41.9%(418人)の順となっています。

知的障がい者では「避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安」という回答が43.6%(196人)で最も多く、次いで「安全なところまで、迅速に避難することができない」43.3%(195人)、「周囲とコミュニケーションが取れない」36.9%(166人)の順となっています。

精神障がい者では「投薬や治療が受けられない」という回答が55.2%(154人)で最も多く、次いで「避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安」が49.5%(138人)、「安全なところまで、迅速に避難することができない」45.5%(127人)の順となっています。

災害時に困ること

	身体 (998人)	知的 (450人)	精神 (279人)
投薬や治療が受けられない	43.7% (436人)	32.7% (147人)	55.2% (154人)
紙おむつやストマ用品の入手ができなくなる	16.8% (168人)	12.4% ( 56人)	17.2% ( 48人)
救助を求めることができない	19.4% (194人)	31.6% (142人)	27.2% ( 76人)
安全なところまで、迅速に避難することができない	41.9% (418人)	43.3% (195人)	45.5% (127人)
被害状況、避難場所などの情報が入手できない	23.3% (233人)	31.6% (142人)	31.2% ( 87人)
周囲とコミュニケーションがとれない	15.9% (159人)	36.9% (166人)	30.8% ( 86人)
避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安	44.7% (446人)	43.6% (196人)	49.5% (138人)
停電等で在宅医療機器が使えなくなる	13.2% (132人)	11.1% ( 50人)	12.2% ( 34人)
その他	3.2% ( 32人)	4.2% ( 19人)	4.7% ( 13人)
特になし	13.6% (136人)	14.2% ( 64人)	11.1% ( 31人)
無回答	8.3% ( 83人)	8.9% ( 40人)	6.1% ( 17人)

災害時に困ることを身体障がいの部位別にみると、視覚障がい、音声・言語・そしゃく機能障がい、肢体不自由(体幹)では「安全なところまで、迅速に避難することができない」が、聴覚障がい、肢体不自由(上肢・下肢)、脳病変による運動機能障がいでは「避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安」が最も高い割合となっています。また、「避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安」は、視覚障がいと肢体不自由(体幹)、音声・言語・そしゃく機能障がいでも2番目に高い割合でした。

内部機能障がいでは、「投薬や治療が受けられない」と回答した方の割合が最も高く、「避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安」が2番目となっています。

#### 災害時に困ること（身体障がいの部位別）

身体		回答者実数	投薬や治療が受けられない	紙おむつやストマ用品の入手ができなくなる	救助を求めることができない	安全なところまで、迅速に避難することができない	被害状況、避難場所などの情報が入手できない	被害状況、避難場所などの情報がとれない	避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安	停電等で在宅医療機器が使えなくなる	その他	特になし	無回答
視覚障がい		60人	21.7% (13人)	3.3% (2人)	28.3% (17人)	65.0% (39人)	33.3% (20人)	15.0% (9人)	48.3% (29人)	11.7% (7人)	1.7% (1人)	10.0% (6人)	6.7% (4人)
聴覚又は平衡機能の障がい		91人	25.3% (23人)	12.1% (11人)	22.0% (20人)	38.5% (35人)	23.1% (21人)	31.9% (29人)	47.3% (43人)	8.8% (8人)	5.5% (5人)	13.2% (12人)	4.4% (4人)
音声・言語・そしゃく機能障がい		29人	20.7% (6人)	6.9% (2人)	27.6% (8人)	37.9% (11人)	20.7% (6人)	27.6% (8人)	34.5% (10人)	3.4% (1人)	0.0% (0人)	24.1% (7人)	10.3% (3人)
肢体不自由	上肢	39人	38.5% (15人)	10.3% (4人)	25.6% (10人)	33.3% (13人)	23.1% (9人)	10.3% (4人)	38.5% (15人)	10.3% (4人)	5.1% (2人)	23.1% (9人)	10.3% (4人)
	下肢	126人	38.1% (48人)	24.6% (31人)	21.4% (27人)	52.4% (66人)	26.2% (33人)	15.1% (19人)	54.8% (69人)	11.1% (14人)	3.2% (4人)	12.7% (16人)	9.5% (12人)
	体幹	49人	36.7% (18人)	30.6% (15人)	32.7% (16人)	67.3% (33人)	24.5% (12人)	12.2% (6人)	65.3% (32人)	18.4% (9人)	0.0% (0人)	2.0% (1人)	8.2% (4人)
	乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障がい	46人	50.0% (23人)	30.4% (14人)	34.8% (16人)	52.2% (24人)	23.9% (11人)	32.6% (15人)	56.5% (26人)	19.6% (9人)	6.5% (3人)	6.5% (3人)	8.7% (4人)
内部機能障がい		380人	56.1% (213人)	14.5% (55人)	11.1% (42人)	32.1% (122人)	19.7% (75人)	11.1% (42人)	42.1% (160人)	15.3% (58人)	1.6% (6人)	13.9% (53人)	6.6% (25人)



災害時に困ることを現在の暮らしの状況別にみると、身体障がい者では、一人で暮らしている方、グループホームで暮らしている方、病院に入院している方は「安全なところまで、迅速に避難することができない」が、家族と暮らしている方では「避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安」が、その他の方では「投薬や治療が受けられない」が、それぞれ最も高い割合となっています。

2番目に多い回答は、一人で暮らしている方、家族と暮らしている方、病院に入院している方では「投薬や治療が受けられない」、グループホームで暮らしている方では「避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安」、その他の方では「安全なところまで、迅速に避難することができない」となっています。災害時に困ることは、「安全なところまで、迅速に避難することができない」「投薬や治療が受けられない」「避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安」の3つで特に高い傾向があります。

#### 災害時に困ること（暮らしの状況別）

身体	回答者数	投薬や治療が受けられない	紙おむつやストマ用品の入手ができなくなる	救助を求めることができない	安全なところまで、迅速に避難することができない	被害状況、避難場所などの情報が入手できない	周囲とコミュニケーションがとれない	避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安	停電等で在宅医療機器が使えなくなる	その他	特になし	無回答
一人で暮らしている	204人	36.3% (74人)	12.7% (26人)	18.6% (38人)	37.7% (77人)	26.5% (54人)	11.8% (24人)	33.8% (69人)	13.2% (27人)	3.4% (7人)	17.2% (35人)	10.3% (21人)
家族と暮らしている	675人	45.6% (308人)	16.6% (112人)	19.3% (130人)	43.0% (290人)	23.0% (155人)	16.6% (112人)	49.0% (331人)	12.0% (81人)	2.7% (18人)	13.5% (91人)	6.2% (42人)
グループホームで暮らしている	25人	48.0% (12人)	36.0% (9人)	28.0% (7人)	60.0% (15人)	32.0% (8人)	16.0% (4人)	52.0% (13人)	20.0% (5人)	4.0% (1人)	0.0% (0人)	8.0% (2人)
病院に入院している	27人	33.3% (9人)	29.6% (8人)	25.9% (7人)	37.0% (10人)	14.8% (4人)	22.2% (6人)	29.6% (8人)	18.5% (5人)	3.7% (1人)	7.4% (2人)	29.6% (8人)
その他	46人	52.2% (24人)	28.3% (13人)	23.9% (11人)	50.0% (23人)	19.6% (9人)	21.7% (10人)	45.7% (21人)	19.6% (9人)	10.9% (5人)	13.0% (6人)	6.5% (3人)

災害時に困ることを現在の暮らしの状況別にみると、知的障がい者では、一人で暮らしている方、グループホームで暮らしている方、その他の方では「安全なところまで、迅速に避難することができない」が、家族と暮らしている方、病院に入院している方、その他の方では「避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安」が、それぞれ最も高い割合となっています。

2番目に多い回答は、「安全なところまで、迅速に避難することができない」、「避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安」、「投薬や治療が受けられない」、「周囲とコミュニケーションがとれない」、「救助を求めることができない」などに分かれています。災害時に困ることは、「安全なところまで、迅速に避難することができない」、「避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安」、「投薬や治療が受けられない」の3つで特に高い傾向があります。

#### 災害時に困ること（暮らしの状況別）

知的	回答者実数	投薬や治療が受けられない	紙おむつやストマ用品の入手ができなくなる	救助を求めることができない	安全なところまで、迅速に避難することができない	被害状況、避難場所などの情報が入手できない	周囲とコミュニケーションがとれない	避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安	停電等で在宅医療機器が使えなくなる	その他	特になし	無回答
一人で暮らしている	25人	32.0% (8人)	16.0% (4人)	24.0% (6人)	36.0% (9人)	24.0% (6人)	16.0% (4人)	32.0% (8人)	12.0% (3人)	8.0% (2人)	12.0% (3人)	12.0% (3人)
家族と暮らしている	345人	33.9% (117人)	12.5% (43人)	32.8% (113人)	43.8% (151人)	33.6% (116人)	40.9% (141人)	46.7% (161人)	11.6% (40人)	4.6% (16人)	14.8% (51人)	7.0% (24人)
グループホームで暮らしている	40人	30.0% (12人)	2.5% (1人)	32.5% (13人)	52.5% (21人)	30.0% (12人)	22.5% (9人)	32.5% (13人)	2.5% (1人)	2.5% (1人)	12.5% (5人)	10.0% (4人)
病院に入院している	11人	45.5% (5人)	27.3% (3人)	18.2% (2人)	45.5% (5人)	27.3% (3人)	45.5% (5人)	54.5% (6人)	18.2% (2人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	18.2% (2人)
その他	14人	21.4% (3人)	28.6% (4人)	28.6% (4人)	42.9% (6人)	14.3% (2人)	28.6% (4人)	42.9% (6人)	21.4% (3人)	0.0% (0人)	28.6% (4人)	14.3% (2人)

災害時に困ることを現在の暮らしの状況別にみると、精神障がい者では、一人で暮らしている方、家族と暮らしている方、グループホームで暮らしている方、その他の方では「投薬や治療が受けられない」が、病院に入院している方では「安全なところまで、迅速に避難することができない」が、それぞれ最も高い割合となっています。

2番目と3番目に多い回答は、「安全なところまで、迅速に避難することができない」、「避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安」、「投薬や治療が受けられない」、「紙おむつやストマ用品の入手ができなくなる」などに分かれています。災害時に困ることは、「投薬や治療が受けられない」、「安全なところまで、迅速に避難することができない」、「避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安」の3つで特に高い傾向があります。

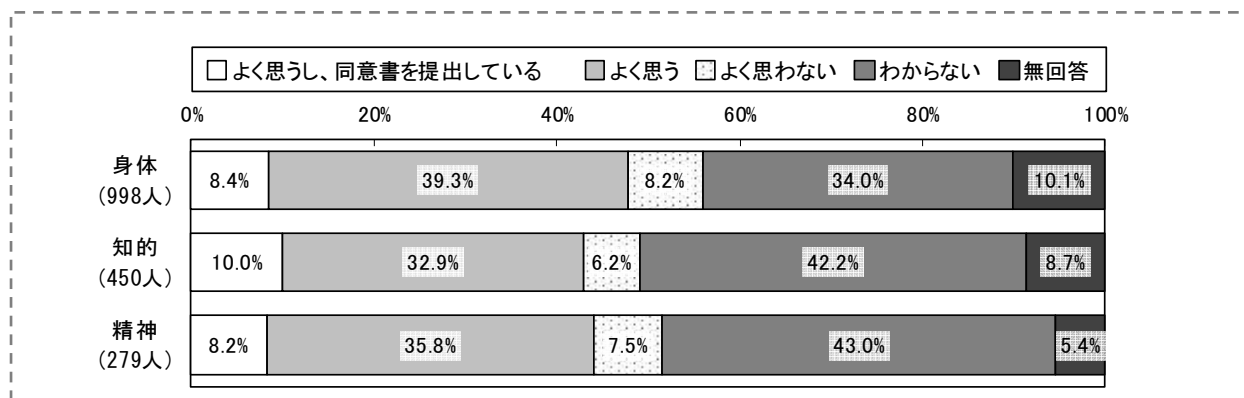
### 災害時に困ること（暮らしの状況別）

精神	回答者集数	投薬や治療が受けられない	紙おむつやストマ用品の入手ができなくなる	救助を求めることができない	安全なところまで、迅速に避難することができない	被害状況、避難場所などの情報が入手できない	周囲とコミュニケーションがとれない	避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安	停電等で在宅医療機器が使えなくなる	その他	特になし	無回答
一人で暮らしている	50人	44.0% (22人)	6.0% (3人)	22.0% (11人)	34.0% (17人)	32.0% (16人)	20.0% (10人)	34.0% (17人)	12.0% (6人)	10.0% (5人)	20.0% (10人)	4.0% (2人)
家族と暮らしている	171人	59.6% (102人)	17.5% (30人)	30.4% (52人)	49.1% (84人)	33.9% (58人)	35.7% (61人)	58.5% (100人)	12.9% (22人)	3.5% (6人)	9.4% (16人)	4.1% (7人)
グループホームで暮らしている	33人	54.5% (18人)	24.2% (8人)	24.2% (8人)	45.5% (15人)	21.2% (7人)	21.2% (7人)	33.3% (11人)	9.1% (3人)	0.0% (0人)	6.1% (2人)	9.1% (3人)
病院に入院している	13人	46.2% (6人)	23.1% (3人)	23.1% (3人)	53.8% (7人)	23.1% (3人)	38.5% (5人)	46.2% (6人)	7.7% (1人)	0.0% (0人)	7.7% (1人)	15.4% (2人)
その他	8人	62.5% (5人)	50.0% (4人)	25.0% (2人)	50.0% (4人)	37.5% (3人)	37.5% (3人)	50.0% (4人)	25.0% (2人)	25.0% (2人)	12.5% (1人)	12.5% (1人)

## (6) 避難要援護者名簿の同意

避難要援護者名簿の同意については、「よく思うし、同意書を提出している」と「よく思う」を合わせた「よく思う」が、身体障がい者で47.7% (476人)、知的障がい者で42.9% (193人)、精神障がい者で44.0% (123人)といずれも4割台となっています。一方で、同意書を提出している方については、身体障がい者で8.4% (84人)、知的障がい者で10.0% (45人)、精神障がい者で8.2% (23人)と、1割以下に止まっています。

### 避難要援護者名簿の同意



## (7) 避難要援護者名簿の同意に良く思わない理由

避難要援護者名簿の同意について良く思わない理由について、「今のところ家族等の支援があるから必要ないと考えているため」が身体障がい者と精神障がい者では最も多く、知的障がい者と精神障がい者(同率)では「個人情報を提供することに抵抗感があるため」が最も多くなっています。

2番目に多いのは身体障がい者では「個人情報を提供することに抵抗感があるため」知的障がい者では「登録した場合、どういう支援が受けられるのかわからないため」となっています。

### 避難要援護者名簿の同意に良く思わない理由

	身体 (82人)	知的 (28人)	精神 (21人)
個人情報を提供することに抵抗感があるため	30.5% (25人)	32.1% (9人)	28.6% (6人)
手続きがわずらわしいと思うから	8.5% (7人)	3.6% (1人)	9.5% (2人)
登録した場合、どういう支援が受けられるのかわからないため	12.2% (10人)	28.6% (8人)	9.5% (2人)
今のところ家族等の支援があるから必要ないと考えているため	34.1% (28人)	25.0% (7人)	28.6% (6人)
被災するリスクが少ないと思うから	2.4% (2人)	0.0% (0人)	4.8% (1人)
その他	1.2% (1人)	0.0% (0人)	9.5% (2人)
無回答	11.0% (9人)	10.7% (3人)	9.5% (2人)

## 9. その他

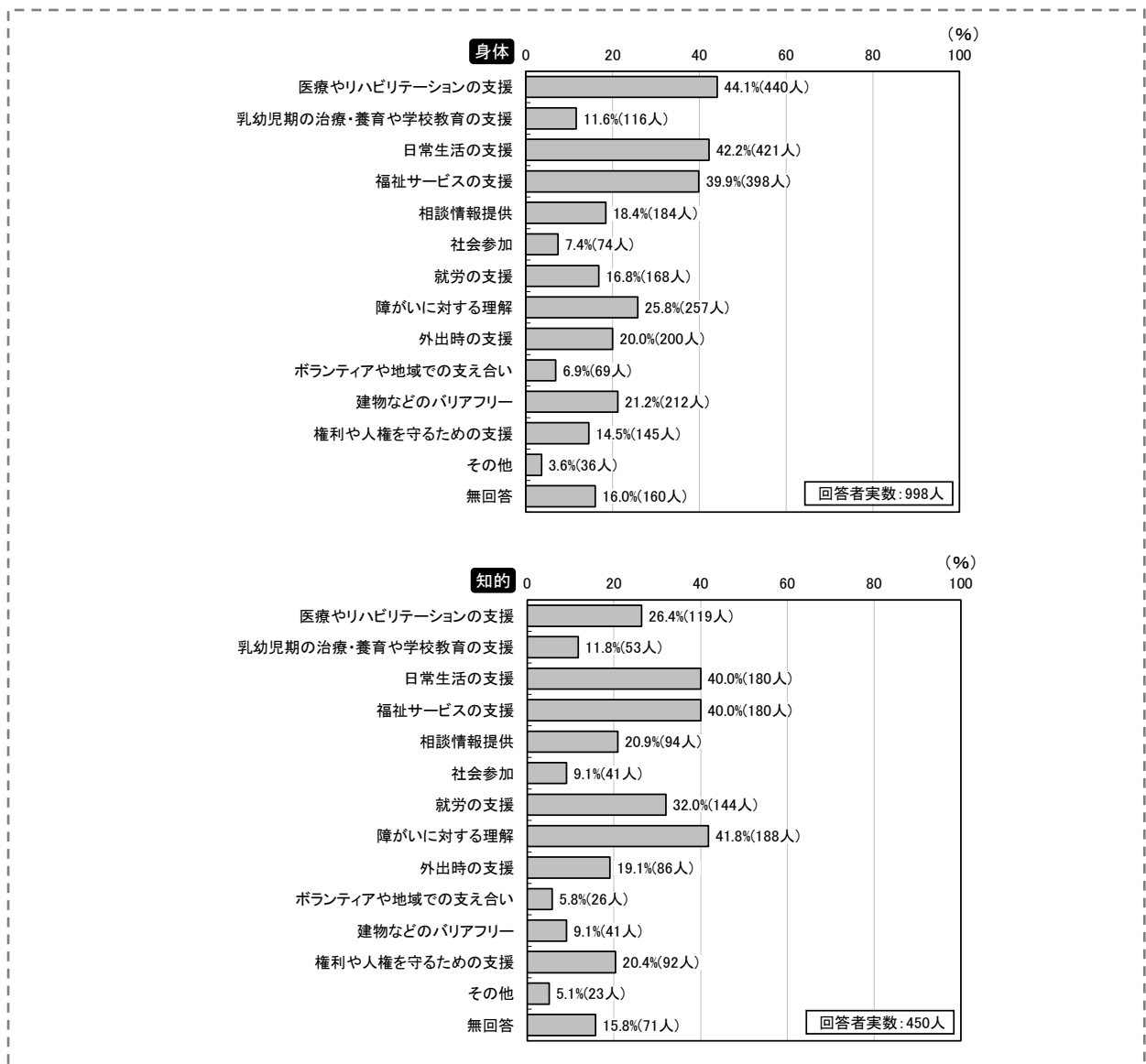
### (1) 障がい者施策として力を入れてほしいこと（複数回答）

障がい者施策として力を入れてほしいことについて、身体障がい者では「医療やリハビリテーションの支援」が44.1%（440人）で最も多く、次いで「日常生活の支援」が42.2%（421人）、「福祉サービスの支援」が39.9%（398人）の順となっています。

知的障がい者では、「障がいに対する理解」が41.8%（188人）で最も多く、「日常生活の支援」が40.0%（180人）と「福祉サービスの支援」が40.0%（180人）が同率で続きます。また、「就労の支援」が32.0%（144人）も多くなっています。

精神障がい者では、「福祉サービスの支援」が44.1%（123人）で最も多く、次いで「日常生活の支援」が43.7%（122人）、「障がいに対する理解」が35.5%（99人）の順となっています。そのほか、「医療やリハビリテーションの支援」、「就労の支援」、「相談情報提供」の3項目が2割を上回っています。

#### 障がい者施策として力を入れてほしいこと



## 障がい者施策として力を入れてほしいこと

